

令和4年（2022年）版

# 消 防 年 報



豊中市消防局

## はじめに

豊中消防は、昭和23年に地域に密着した自治体消防として発足以来、社会情勢の急速な変化に機敏に対応しつつ、地域社会の安全確保のために、組織、施設、装備など、消防防災体制の充実・強化に不断の努力を積み重ね、着実に発展を遂げてまいりました。

この年報は、本市における消防防災活動の概要をとりまとめ、消防行政の運営資料とするとともに、消防行政を広く一般に紹介することを目的として編集しております。

本年報を通じ、消防行政に対する御理解と御支援を賜りますとともに、参考資料としてご活用いただければ幸いです。

令和5年7月

豊中市消防局

# 目 次

## 豊中市・能勢町の概況

- ❖ 豊中市・能勢町の位置..... 6

## 最近の主な取組み

- ❖ 「救命力世界一」の取組みの推進..... 7

救急タグの普及啓発  
Live119（映像通信システム）  
応急手当普及啓発事業  
シニア救命講習  
ジュニア救命サポーター事業  
市民救命サポーター制度

- ❖ 消防広域連携の推進..... 9  
5市による消防通信指令事務協議会  
の設置

- ❖ 防火対策の強化 ..... 10  
住宅用火災警報器の設置対策  
住宅用火災警報器取付支援  
市内事業所への防火講話  
市内在住・在勤外国人への防火防災  
講話  
他市火災に伴う注意喚起

- ❖ 地域防災力の育成 ..... 12  
『防災訓練ハンドブック』を活用し  
た防災訓練の実施

- ❖ 防火・防災広報の取組み..... 12  
防火・防災フェスティバルの開催  
防火作品の応募と表彰式の開催  
Web 消防署見学と救命講習の実施

- ❖ 消防体制の強化 ..... 14  
実戦ポンプ操法大会の実施  
名神高速道路合同防災訓練の実施  
消防・救急救命基金

- ❖ 消防拠点の再整備 ..... 15  
北消防署能勢町分署新庁舎の運用開  
始

## 消防の現況

- ❖ 消防の概況..... 16
- ❖ 消防局・消防署・分署・出張所の配置図  
..... 17

- ❖ 消防庁舎の現況..... 18
- ❖ 消防局・消防署の組織..... 19
- ❖ 事務分掌..... 20
- ❖ 消防職員..... 23

所属別・階級別職員数  
年齢別・階級別職員数  
勤続年数別・階級別職員数  
職員研修派遣状況  
資格取得状況

- ❖ 予算..... 27  
当初予算  
消防費当初予算の内訳  
消防費財源内訳（当初予算）  
令和5年度消防施設整備費執行予定

## 災害への備え

- ❖ 消防機械..... 28  
消防自動車の配置状況  
主力機械保有台数の推移

- ❖ 特殊災害対策 ..... 30  
特殊災害対策専門班  
特殊災害対応資機材の保有状況  
特殊災害対策専門班（各署所担当）

- ❖ 避難行動要支援者対策 ..... 31  
一声訪問事業

- ❖ 応急救護所用資機材..... 32

- ❖ 飲料水兼用耐震性貯水槽設置場所資機材  
..... 32

- ❖ 災害対応用資機材 ..... 33

- ❖ 豊中市・池田市消防指令センター  
..... 34

消防防災情報システム  
消防専用無線電話装置（能勢町含む。）  
各種電話回線等  
災害通報  
携帯電話等による119番通報  
多言語サービス「通訳コンシェル1  
19」  
119番受信状況  
病院照会  
緊急通報システム『ホットラインき  
ずな』の運用

聴覚障がい者『災害受付専用 FAX』 緊急通報システム NET119・メール	
1 1 9 番通報システム	
1 1 9 救命サポートチーム	
❖ 消防水利.....	3 8
消防水利の現況	
開発にかかる新設消防水利の設置状況	
❖ 消防相互応援体制.....	3 9
消防相互応援協定等締結状況	
<b>災 害 の 概 況</b>	
❖ 火災.....	4 2
火災概況	
月別の火災件数	
時間帯別の火災件数	
❖ 火災の調査.....	4 4
主な出火原因	
出火原因別の火災件数と割合	
❖ 救急.....	4 5
救急概況	
病院収容所要時間別搬送人員	
救急救命士の活動状況	
豊中市内救急告示医療機関	
救急の高度化	
指導救命士	
❖ 救助.....	4 8
救助概況	
救助訓練	
救助隊員の訓練実施状況	
高度救助隊「HEART（ハート）」	
平成30年7月豪雨被災地への緊急 消防援助隊の派遣	
国際消防救助隊（IRT）“愛ある手” メキシコ地震に対する国際消防救助 隊（IRT-JF）への隊員派遣	
<b>災害を未然に防ぐ</b>	
❖ 火災予防思想の普及.....	5 2
普及啓発	
❖ 防火管理制度.....	5 2
防火管理講習の実施状況	
❖ 防火管理者.....	5 3
❖ 防火対象物.....	5 4
❖ 中高層対象物.....	5 5
❖ 建築確認等の同意.....	5 6
❖ 消防用設備等の審査と検査.....	5 6
消防用設備等設置状況	
❖ 危険物の規制.....	5 7
危険物安全対策	
危険物施設の現況	
少量危険物等の貯蔵・取扱いの現況	
❖ 危険物保安監督者.....	5 8
消防法に基づく届出	
仮貯蔵・仮取扱い	
危険物施設の設置許可・完成検査等	
❖ 保安3法の規制.....	5 9
保安3法の安全対策	
保安3法施設の現況	
火薬類取締法施設	
高压ガス保安法施設	
液化石油ガスの保安の確保及び取引 の適正化に関する法律施設	
❖ 保安3法施設の設置許可・完成検査等 .....	6 0
火薬類取締法	
高压ガス保安法	
液化石油ガスの保安の確保及び取引 の適正化に関する法律	
❖ 査察（立入検査）.....	6 1
防火対象物の立入検査	
危険物施設の立入検査	
火薬類取締法施設の立入検査	
高压ガス保安法施設の立入検査	
液化石油ガスの保安の確保及び取引 の適正化に関する法律施設の立入検査	
査察推進員の配置	
❖ 火災予防条例による規制.....	6 3
火災予防条例に基づく届出等受理状況	
❖ 消防訓練指導状況.....	6 3
❖ 幼児や児童に対する防火・防災教育 .....	6 4
幼年消防クラブ	
幼年消防クラブの現況	
少年消防クラブ	
少年消防クラブの現況	
こども消防隊	
❖ 地域防災力の育成.....	6 6
女性防火クラブ	
女性防火クラブの現況	
自主防災組織の訓練	
自主防災組織の訓練指導状況	
消防防災協力事業所登録制度	
消防防災協力事業所登録状況	

消防防災協力事業所等訓練指導状況

❖ 消防音楽隊.....	6 9
沿革	
出演内容	
隊員構成	

## 消 防 団

❖ 組織.....	7 3
人員・機械	
階級別団員数	
年齢別・階級別団員数	
勤続年数	
異動	
教養訓練	
災害活動	
警戒活動	
❖ 消防団員の処遇.....	7 7
報酬	
出動報酬	
退職報償金	
表彰	

## 自治体消防発足後の主要事項

.....	7 9
-------	-----

# 豊中市・能勢町の概況

## ❖ 豊中市・能勢町の位置

豊中市は、東西 6 キロメートル、南北 10.3 キロメートル、面積 36.6 平方キロメートルで、大阪府の中央部の北側、神崎川を隔て大阪市の北に位置し、東は吹田市、西は尼崎市、伊丹市、北は池田市、箕面市に接しています。地形は北東の千里山丘陵部、中央の豊中台地、西・南の低地部からなっています。

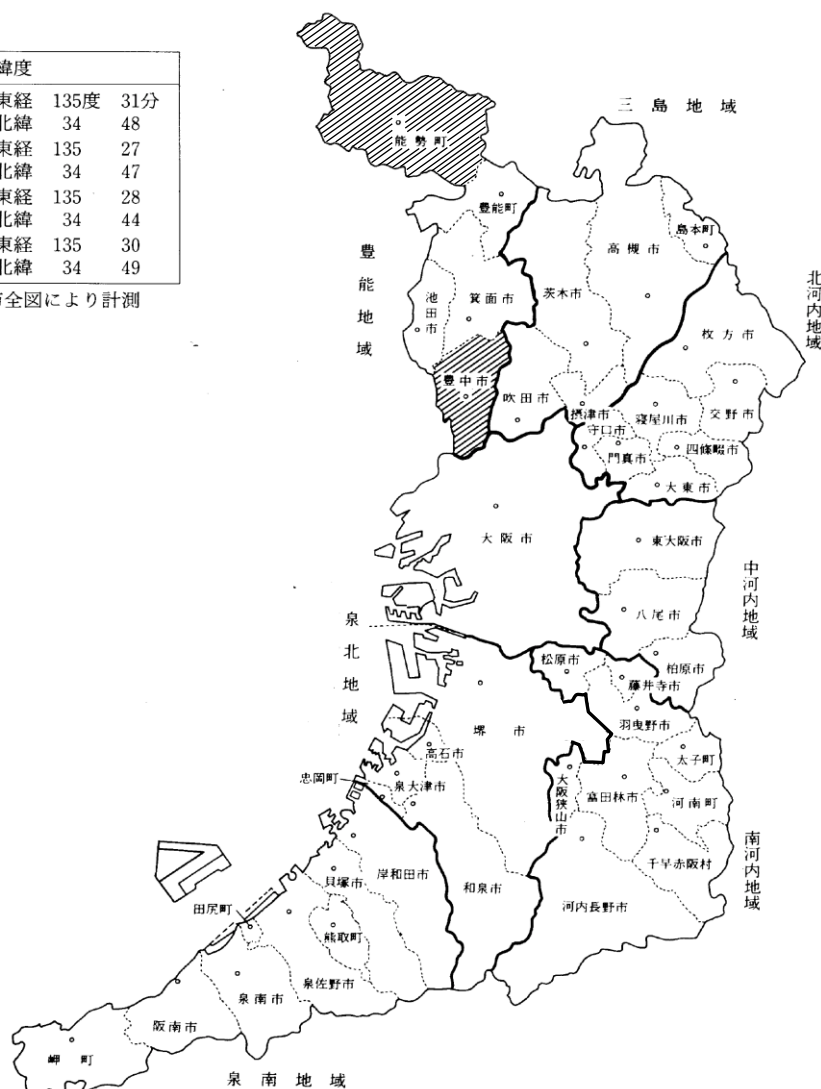
令和 5 年 4 月 1 日時点、人口は 40 万 6,931 人、世帯数は 19 万 6,796 世帯となっています。

能勢町は、面積 98.75 平方キロメートルで、大阪の最北端に位置し、府内では豊能町、兵庫県では川西市、丹波篠山市、川辺郡猪名川町、京都府では亀岡市、南丹市と接しています。

令和 5 年 4 月 1 日時点、人口は 9,205 人、世帯数は 4,541 世帯となっています。

方位	経緯度	
東 端	東経	135度 31分
	北緯	34 48
西 端	東経	135 27
	北緯	34 47
南 端	東経	135 28
	北緯	34 44
北 端	東経	135 30
	北緯	34 49

注：豊中市全区により計測



## 最近の主な取組み

消防局では、「安全で安心して暮らしができるまち」を目指して、次の事業に取り組んでいます。

### ❖ 「救命力世界一」の取組みの推進

#### 救急タグの普及啓発

救急タグは、現在あなたがかかっている病気、飲んでいる薬、アレルギーなどを「カード」と「ICチップ」に書いておくものです。救急タグを携帯していると、緊急時に救急隊が内容を参考にでき、あなたが安全な医療をすみやかに受けることにつながります。豊中市では、令和2年度から救急タグを無料で配布しており、令和4年度は、687枚配布し、令和5年3月31日時点で累計7,183枚配布しています。



救急タグ

#### Live119（映像通信システム）

消防局では、令和4年4月から「Live119（映像通信システム）」の運用を始めました。Live119とは、119番通報の際に、音声だけでは伝えきれない災害状況を、通報者がスマートフォンの動画撮影機能を活用して災害現場の状況を撮影し、動画で伝えていただくシステムです。消防指令センターのオペレーター（通信員）が、通報者が撮影した動画により正確な状況を把握でき、消防隊の迅速な活動に役立てられます。

令和4年度は、豊中市で88件、能勢町で8件の運用実績がありました。



Live119の運用イメージ



## 応急手当普及啓発事業

一人でも多くの方が、応急手当を行い、応急手当の知識が一般常識となるように、講習体制を整備し、気軽に受講できる環境づくりを行っています。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症が流行するなかでしたが、計1万8,434人が講習を受講しました。



防災研修会での救命講習

## シニア救命講習

55歳以上の方を対象に高齢者の救急事故の予防方法や119番通報要領、救急活動の流れ、自宅での心肺蘇生法の実技、AEDの取り扱い方法を学ぶシニア救命講習を令和4年度から実施しています。令和4年度は、11回実施し、212人が講習を受講しました。



シニア救命講習

## 応急手当普及啓発講習会実施状況

(令和4年度)

講習名	実施回数		受講・参加人数	
	豊中市	能勢町	豊中市	能勢町
普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	139回	2回	2,180人	16人
上級救命講習	2回	0回	38人	0人
救命入門コース(45分)	180回	6回	7,061人	109人
救命入門コース(90分)	99回	4回	7,018人	97人
一般救命講習	58回	2回	1,785人	59人
応急手当普及員講習・再講習 (他市認定等含む)	11回	0回	63人	0人
応急手当指導員講習・再講習 (他市再認定含む)	3回	0回	8人	0人
計	492回	14回	18,153人	281人

## ジュニア救命サポーター事業

本市消防局管轄区域内の小学校5年生または6年生の児童を対象に、簡易キットを使用して、命の大切さや救命手当の重要性を学ぶ「ジュニア救命サポーター事業」を実施しています。令和4年度は、27校2,505人(能勢町含む)の児童が救命手当を学びました。



小学生への救命講習



## 市民救命サポーター制度

本制度は、本市消防局管轄区域内の事業所及び市民が、日常において発生した救急事故に、いち早く駆けつけ、119番通報や負傷者などへの適切な救護活動を実施していただくことにより、安心・安全なまちづくりを推進することを目的としています。

### （市民救命サポーター・ステーション）

本市消防局管轄区域内の事業所等で、従業員の半数以上が普通救命講習を受講し、事業所周辺や地域での救急事故の救護に協力していただける事業所等を認定するもので、令和5年4月1日現在、186箇所の事業所が登録されています。



ス  
市  
テ  
民  
|  
救  
シ  
命  
ヨ  
サ  
ン  
ポ  
|  
認  
|  
定  
証  
|  
票



市  
民  
救  
命  
サ  
ポ  
ー  
タ  
ー  
・  
ほ  
ー  
む  
証  
票

### （市民救命サポーター・ほーむ）

本市消防局管轄区域内の居住者で、普通救命講習を受講し、自宅周辺や地域での救急事故の救護に協力していただける方を登録するもので、現在、女性防火クラブを中心に令和5年4月1日現在、4,355の方が登録されています。

## ❖ 消防広域連携の推進

### 5市による消防通信指令事務協議会の設置

令和6年度からの豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市の5市による、消防指令業務の共同運用に向け、令和3年1月15日、「豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会」協議書調印式を行い、令和3年2月1日に同協議会を設置しました。5市による消防指令業務の共同運用により、119番通報や災害対応状況を広域的に一元管理することができ、構成市相互の応援体制の強化、特殊車両の有効活用など災害対応力の強化が図られるほか、スケールメリットを活かしたICT等先進技術を活用した高機能なシステムを導入することができます。



5市の市長による協議書調印式

令和4年には、協議会で広域消防指令情報システム構築業務の事業者を選定し、システム構築を進めました。

## ❖ 防火対策の強化

### 住宅用火災警報器の設置対策

豊中市では、平成 23 年 6 月 1 日からすべての住宅で、住宅用火災警報器の設置が義務化されました。消防局では、研修会・講習会のほか、住宅用火災警報器設置状況調査や、各種イベントなどにより、市民のみなさんに住宅用火災警報器の設置や維持管理を呼びかけ、普及啓発に努めています。令和 5 年 4 月 1 日現在、豊中市内における住宅用火災警報器の設置率は 86.7%となっています。



住宅用火災警報器設置状況調査

### 住宅用火災警報器取付支援

豊中市では、令和 2 年度から住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の取付支援事業を実施しています。本事業は、住警器が設置されていない住宅のうち、自身で設置することが困難な方に対して、消防職員が設置の支援を行うもので、申込者自身で住宅用火災警報器を準備していただき、申込者に代わって消防職員が設置します。令和 4 年度には、3 件の申し込みがあり、3 件の住宅に設置しました。



住宅用火災警報器取付支援の様様

### 市内事業所への防火講話

昭和 47 年 5 月 13 日に発生した千日デパート火災から 50 年が経つことを機に、令和 4 年 5 月 12 日、管内にある「阪急阪神百貨店千里阪急」約 80 名の従業員を対象に防火講話を行いました。小さな異変を見逃したことで死者が 100 名を超える火災にまで至った経緯、その際の従業員の対応や当日現場に居合わせた本市職員のエピソードなどを紹介し、防火対策の徹底と防火意識の向上を呼びかけました。



防火講話の様様

## 市内在住・在勤外国人への防火防災講話

令和5年3月5日、南部コラボセンターで外国人への防火防災講話を開催し、28名の市内在住・在勤の技能実習生が参加しました。増加する市内在住・在勤外国人に対する防火防災対策を普及させるため、とよなか国際交流協会の協力をいただき実施したものです。当日は資料を通して頻発する地震の知識や対策、火災が起りやすいポイントや出火時の対応など、日常から火災予防に取り組むことの大切さを伝えました。



市内在住・在勤外国人への防火防災講話の様

## 他市火災に伴う注意喚起

- 1 令和4年4月19日、福岡県北九州市且過市場の大規模火災を受け、豊中市内の商店街（岡町、桜塚、庄内、豊南市場）に火災予防を徹底するため、防火対策の注意喚起を実施しました。



商店街への注意喚起の様

- 2 令和5年1月22日、神戸市兵庫区で中廊下式共同住宅火災が発生し、多数の死傷者が発生したことを受け、収容人員や面積等が類似した建物における火災予防を徹底するため、防火対策の注意喚起を実施しました。

### (1) 対象の防火対象物

類似防火対象物（11対象物）

### (2) 実施期間

令和5年1月25日（水）から令和5年1月31日（火）



## ❖ 地域防災力の育成

### 『防災訓練ハンドブック』を活用した防災訓練の実施

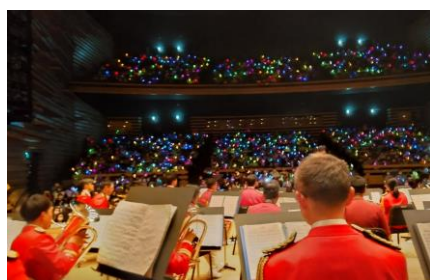
令和3年度から、『防災訓練ハンドブック』を活用して、自主防災組織や消防防災協力事業所等に対する防災訓練指導を行っています。このハンドブックは、大規模災害時の応急活動のうち、代表的な①初期消火、②救助救出、③搬送法・ファーストエイドを取り上げ、地域のみなさんが、身近にある資機材を用いた応急活動の実施方法を学ぶために作成したものです。このハンドブックを活用して地域や事業所において防災訓練を行っていただくことにより、災害時にみなさんが安全、的確に応急活動を行うことができ、災害による被害を少しでも軽減することを目指しています。



## ❖ 防火・防災広報の取組み

### 防火・防災フェスティバルの開催

令和5年3月12日、豊中市立文化芸術センターにおいて、消防音楽隊の演奏をはじめとする様々な催しを通じて、広く消防に関する広報を行うことを目的に、豊中防火安全協会主催「音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル ～豊中市消防音楽隊45周年記念演奏会～」を開催しました。フェスティバルでは近隣の5市合同消防音楽隊による演奏をはじめとした広報を行い、約1,500名の方に来場していただきました。



フェスティバルの様相

## 防火作品の応募と表彰式の開催

消防局では、毎年、豊中防火安全協会の協力のもと、秋の火災予防運動行事の一環として市内幼年消防クラブ園児や市内在住・在学の児童・生徒の皆さんから、火災予防に関する図画や習字を募集しており、令和4年度には、幼年消防クラブ176点、図画558点、習字1,750点の応募がありました。

審査の結果、消防局長表彰、消防署長表彰、防火安全協会長表彰及び金・銀・銅賞の合計70点の優秀作品が選ばれ、そのうち消防局長表彰、消防署長表彰及び防火安全協会長表彰の12作品の受賞者に対して、令和4年11月9日、市役所第二庁舎ロビーにて防火作品表彰式を開催し、表彰状の授与を行いました。



東泉丘小学校 5年

奥 朔太郎 (おく さくたろう) さん



服部幼稚園

茂木 息吹 (もてぎ いぶき) さん



関西学院千里国際中等部 9年

茶ノ前 杜姫

(ちやのまえ とき) さん



防火作品表彰式の模様

## Web消防署見学と救命講習の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年から、インターネット接続端末を利用したWeb会議システムを導入し、広報活動を実施してきました。

その先駆けとして、予防課が中心となり、市内の小学校を対象にWeb会議システムを利用した「Web消防署見学」を実施しました。その他にも、消防車両の紹介動画や各種訓練



の動画等を作成し、当市のY o u T u b eチャンネルで閲覧ができるよう、時代に沿った広報活動を展開しています。

また、救急救命課では令和3年度からW e b会議システムによる各種救命講習を実施しており、感染のリスクを抑えつつ、市民の方々へ命を守る大切さを学んでいただく機会を増やしています。



Web 消防署見学の模様



YouTube チャンネルによる消防署見学



Web 会議システムによる救命講習

## ❖ 消防体制の強化

### 実戦ポンプ操法大会の実施

令和5年2月6日から8日までの3日間にわたり、豊中市消防訓練場にて令和4年度実戦ポンプ操法大会を実施しました。

本大会は、消防職員が消火技術及び火災救助技術の構築を図り、火災活動における基本技術を回復することで、迅速・的確な技術を習得し、消防職員としての任務を遂行するために毎年度実施しています。



実戦ポンプ操法大会

## 名神高速道路合同防災訓練の実施

令和5年2月3日、兵庫県西宮市の県阪神南広域防災拠点において、名神高速道路での多重事故発生を想定した訓練を行いました。

この訓練で、兵庫県西宮市、尼崎市と豊中市の3市の消防と、兵庫県警高速隊、西日本高速道路の職員ら計約50人が訓練に臨み、高速道路事故時の連携を確認しました。

豊中市消防局は高速道路関係機関と連携し、高速道路災害に備えています。



高度救助隊による救出活動

## 消防・救急救命基金

平成28年度に創設した「消防・救急救命基金」は、豊中市を応援する個人の方や団体等からの寄附金を基金に積み立て、消防車両や資機材の整備及び火災予防・救急普及啓発等の事業に活用することにより、消防・救急救命体制の充実強化を図るものです。令和4年度は314件の寄附申込があり、合わせて7,789,909円の寄附がありました。



消防・救急救命基金ポスター

## ❖ 消防拠点の再整備

### 北消防署能勢町分署新庁舎の運用開始

令和3年4月1日、消防事務を受託している能勢町において、北消防署能勢町分署の新庁舎の運用を開始しました。新庁舎には、救助資機材や小型水槽を積載した消防ポンプ自動車1台のほか高規格救急車台を配置し、能勢町消防団と連携して能勢町内の火災、救急、救助事案に対応しているほか、査察（立入検査）などの予防業務を行っています。



北消防署能勢町分署



救助救出訓練



# 消 防 の 現 況

## ❖ 消防の概況

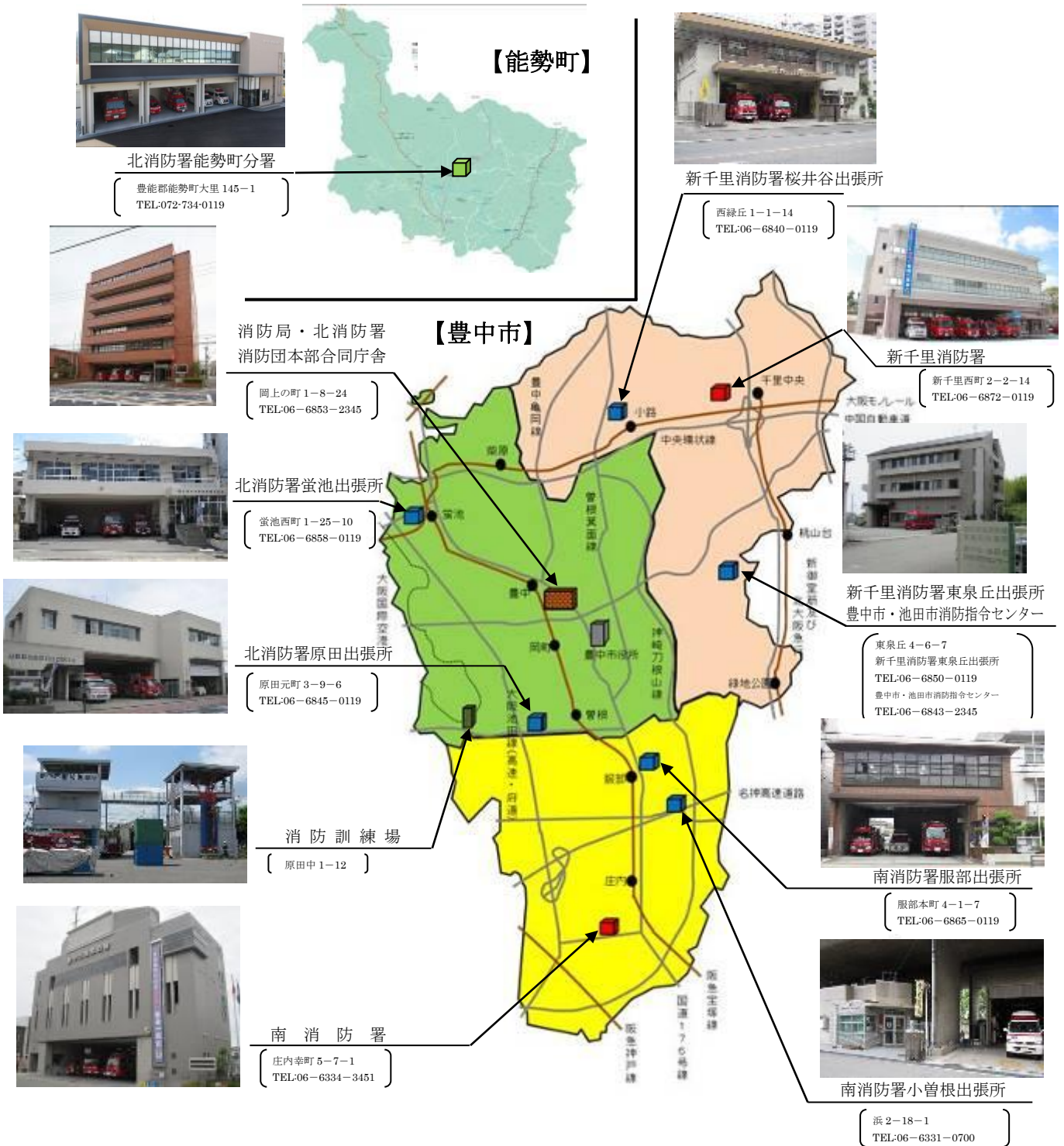
(令和5年4月1日現在)

面 積	豊中市 36.60 k m <sup>2</sup>	135.35 k m <sup>2</sup>	
	能勢町 98.75 k m <sup>2</sup>		
人 口	豊中市 406,931 人	416,136 人	
	能勢町 9,205 人		
世 帯 数	豊中市 196,796 世帯	201,337 世帯	
	能勢町 4,541 世帯		
消防局・署	消 防 局	1	
	消 防 署 数	3	
	分 署 数	1	
	出 張 所 数	6	
	消防職員定数（実員）	※実員数には再任用職員及び非常勤職員を含む。	412(426)
	消防ポンプ自動車等台数 1	豊中市	30
能勢町		1	
豊 中 市 消 防 団	消 防 団 数	1	
	消 防 分 団 数	14	
	消防団員定員（実員）	575(490)	
	消防ポンプ自動車台数	18	

1 「消防ポンプ自動車等」とは、「消防ポンプ自動車」、「水槽付消防ポンプ自動車」、「化学消防ポンプ自動車」、「はしご付消防自動車」、「はしご付消防ポンプ自動車」、「小型動力ポンプ付水槽車」、「小型動力ポンプ付積載車」及び「救助工作車」をいう。

## ❖ 消防局・消防署・分署・出張所の配置図

豊中市消防局は、豊中市内に1本部、3消防署、6消防出張所を、能勢町内に1分署を配置し、市民の生命、財産を守るため職員が24時間体制で勤務しています。



## ❖ 消防庁舎の現況

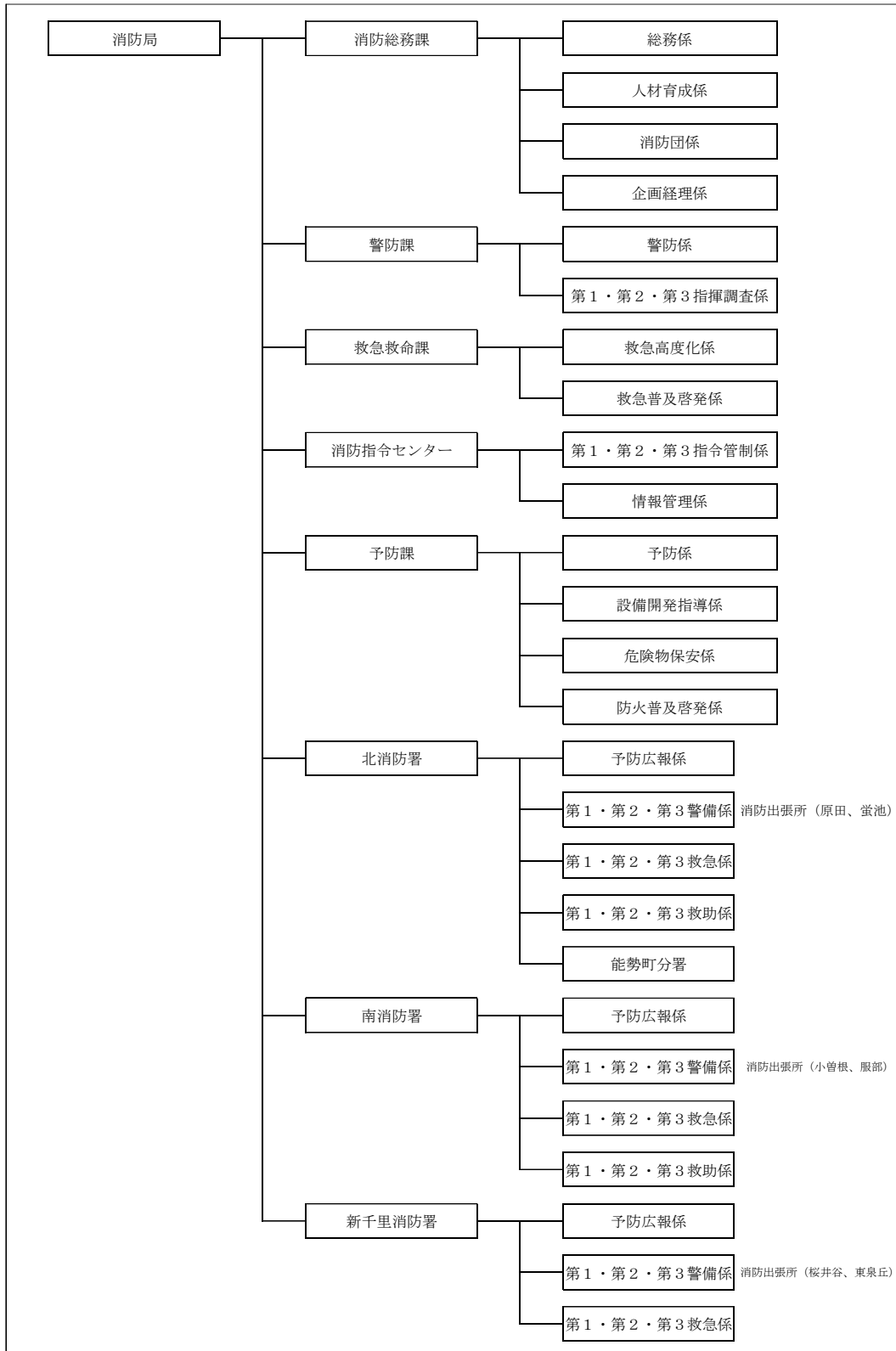
(令和5年4月1日現在)

名称	所在地	業務開始 年月	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消防局・北消防署・消防団 合同庁舎 倉庫・車庫棟	岡上の町 1-8-24	S57.6	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階建 鉄骨造平屋建	1,572.55	858.46 212.17	3,865.63 212.17
北 消 防 署	原田出張所 倉庫棟	原田元町 3-9-6	S47.3 鉄筋コンクリート造2階建 鉄筋コンクリート造	816.41	353.52 36.63	559.77 36.63
	蛭池出張所 倉庫棟	蛭池西町 1-25-10	S49.12 鉄筋コンクリート造3階建 コンクリートブロック造	1,412.97	336.16 29.28	743.64 29.28
	倉庫棟		コンクリートブロック造		26.74	26.74
能勢町分署	豊能郡能 勢町大里 145-1	R3.4	鉄筋コンクリート造2階建	1,952.63	598.20	984.30
南 消 防 署	本署	庄内幸町 5-7-1	H9.8 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階建	1,582.78	558.97	2,204.34
	付属棟		鉄骨造		38.54	38.54
	服部出張所 付属棟	服部本町 4-1-7	S61.4 鉄骨造2階建 鉄骨平屋建	743.04	299.15 62.40	587.73 62.40
	小曾根出張所 車庫棟	浜 2-18-1	S41.5 鉄筋コンクリート造平屋建2棟 鉄骨スレート葺平屋建	1,375.00	314.10 119.34	314.10 119.34
新 千 里 消 防 署	本署	新千里西町 2-2-14	H26.4 鉄筋コンクリート造3階建 鉄筋コンクリート造	1,798.15	517.00 31.9	1503.96 31.9
	防災倉庫・付属棟					
	桜井谷出張所 車庫棟	西緑丘 1-1-14	S45.8 鉄筋コンクリート造2階建 鉄骨造平屋建	1,724.12	339.27 227.95	552.93 227.95
	東泉丘出張所 (豊中市・池田市 消防指令センター) 車庫・倉庫棟 付属棟	東泉丘 4-6-7	H5.4 鉄筋コンクリート造3階建 鉄骨造2階建 鉄骨造	1,744.12	554.52 132.56 13.00	1,525.45 240.00 13.00
消防訓練場 A棟 B棟	原田中 1-12		アスファルト舗装 夜間照明設備(2基) 鉄骨造3階建 鉄骨造3階建	2,510.16		110.79 131.40

## ❖ 消防局・消防署の組織

消防局に5課（消防指令センター含む）、北消防署に1分署2消防出張所、南消防署に2消防出張所、新千里消防署に2消防出張所を配置しています。

（令和5年4月1日現在）



## ❖ 事務分掌

### 消防総務課

#### 総務係

- (1) 文書に関すること。
- (2) 公印の管守に関すること。
- (3) 法務に関すること。
- (4) 消防計画に関すること。
- (5) 応援協定等に関すること。
- (6) 消防職員委員会に関すること。
- (7) 消防長会等に関すること。
- (8) 表彰及び式典に関すること。
- (9) 労働安全衛生に関すること。
- (10) 厚生、共済事務に関すること。
- (11) 他の課、係に属しないこと。

#### 人材育成係

- (1) 人事に関すること。
- (2) 勤務規律及び服務に関すること。
- (3) 職員の分限、懲戒、その他職員の身分に関すること。
- (4) 諸手当の認定等に関すること。
- (5) 人材育成及び職員の研修に関すること。
- (6) 消防公務之証、消防職員之証等の交付に関すること。
- (7) 年金等に関すること。

#### 企画経理係

- (1) 消防施策に係る総合企画及び調整に関すること。
- (2) 予算、決算に関すること。
- (3) 職員の諸給与の支給手続きに関すること。
- (4) 庁舎の管理に関すること。
- (5) 財産の管理に関すること。
- (6) 被服及び燃料に関すること。
- (7) 消防の広域連携及び相互応援に関すること。
- (8) 消防拠点の整備に関すること。
- (9) 消防広報、広聴に関すること。

#### 消防団係

- (1) 消防団員の任免、報酬、その他身分に関すること。
- (2) 消防団員公務災害補償に関すること。
- (3) 消防協会事務に関すること。
- (4) 消防団の物品管理及び燃料に関すること。

- (5) 消防団員の教養訓練に関すること。
- (6) その他消防団員事務に関すること。

### 警防課

#### 警防係

- (1) 警防計画(救急に係る活動計画を除く。)に関すること。
- (2) 消防部隊に関すること。
- (3) 消防地理及び水利に関すること。
- (4) 車両及び機械器具に関すること。
- (5) 関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) 災害現場の指揮、火災調査等に係る活動補助に関すること。

#### 第1・第2・第3指揮調査係

- (1) 災害現場の指揮及び活動支援に関すること。
- (2) 警防活動(救急活動を除く。)に係る訓練指導に関すること。
- (3) 警防活動(救急活動を除く。)の研究分析に関すること。
- (4) 災害現場の監察に関すること。
- (5) 火災等の原因、損害調査及び研究分析に関すること。
- (6) 火災調査等に係る装備に関すること。
- (7) 関係機関との連絡調整に関すること。

### 救急救命課

#### 救急高度化係

- (1) 救急に係る活動計画に関すること。
- (2) 救急活動に係る訓練指導に関すること。
- (3) 救急活動の研究分析に関すること。
- (4) 救急業務の高度化の推進に関すること。
- (5) 救急医療機関その他関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) 救急需要対策に関すること。

#### 救急普及啓発係

- (1) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (2) 市民救命サポーター制度に関すること。
- (3) 患者等搬送事業者の指導及び認定に関すること。

- (4) 救急に係る広報広聴に関する事。

## 消防指令センター

### 第1・第2・第3指令管制係

- (1) 消防指令管制及び通信に関する事。
- (2) 災害現場への情報提供及び災害現場の情報収集に関する事。
- (3) 救急医療情報に関する事。
- (4) 気象情報等に関する事。
- (5) 緊急通報システム等に係る関係部局との連絡調整に関する事。
- (6) 消防防災情報システムの運用及び管理に関する事。
- (7) 消防救急無線の運用及び管理に関する事。

### 情報管理係

- (1) 消防指令業務の共同運用に関する事。
- (2) 消防防災情報システムの総合企画及び調整に関する事。
- (3) 消防防災情報システムの保守等に関する事。
- (4) 消防救急無線の整備等に関する事。

## 予防課

### 予防係

- (1) 火災予防対策の基本計画に関する事。
- (2) 防火対象物の査察に係る基本計画に関する事。
- (3) 防火対象物の消防法令違反処理の推進に関する事。
- (4) 査察及び消防法令等違反処理に関する事。ただし、他の係に属するものを除く。
- (5) 火災予防に係る届出等に関する事。ただし、他の係に属するものを除く。
- (6) 防火管理及び防災管理の講習に関する事。

### 設備開発指導係

- (1) 高層建築物等に係る防災計画に関する事。

- (2) 防火対象物に係る指導基準の策定に関する事。
- (3) 建築物に係る確認等の同意に関する事。
- (4) 防火対象物に係る消防用設備等の設置に関する事。
- (5) 開発行為に関する協議及び同意に関する事。

### 危険物保安係

- (1) 消防法による危険物の規制に関する事。
- (2) 火薬類取締法による許可、届出、報告、検査等に関する事。
- (3) 高圧ガス保安法による許可、届出、報告、検査等に関する事。
- (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律による許可、登録、届出、報告、検査等に関する事。
- (5) 危険物施設等の査察に関する事。
- (6) 危険物施設等の消防法令等違反処理に関する事。
- (7) 指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱いに関する事。

### 防火普及啓発係

- (1) 消防防災協力事業所登録制度の推進に関する事。
- (2) 消防防災協力事業所の指導に関する事。
- (3) 自主防災組織の指導に関する事。
- (4) 女性防火クラブ等の育成の推進に関する事。
- (5) 消防一声訪問事業に関する事。
- (6) 防火及び防災の普及に関する事。

## 北・南・新千里消防署

### 予防広報係

- (1) 署の人事に関する事。
- (2) 署の労働安全衛生に関する事。
- (3) 署の文書に関する事。
- (4) 署の公印の管守に関する事。
- (5) 署長表彰に関する事。
- (6) 査察及び消防法令等違反処理に関する事。
- (7) 防火対策及び防火思想の普及啓発に関する事。

- (8) 関係団体の育成指導の実施に関する事
- (9) 火災予防に係る届出等に関する事
- (10) 手数料の収入に関する事
- (11) 広報広聴に関する事
- (12) その他署長の定める事務の処理に関する事

**第1・第2・第3警備係**

- (1) 災害の警戒及び防除に関する事
- (2) 災害活動に係る実態調査及び計画に関する事
- (3) 火災等災害の防ぎょ訓練に関する事
- (4) 消防地理の実態調査及び消防水利の維持に関する事
- (5) 車両及び資機材の日常管理に関する事
- (6) 共同住宅等の査察に関する事
- (7) 圧縮アセチレンガス等に係る届出に関する事
- (8) 道路工事及び断水等に係る届出に関する事
- (9) 住宅防火対策に関する事
- (10) 災害時要援護者対策に関する事
- (11) 地域防災力の充実強化に関する事
- (12) 広報広聴に関する事

**第1・第2・第3救急係**

- (1) 救急活動に関する事
- (2) 救急の訓練に関する事
- (3) 車両及び資機材の日常管理に関する事
- (4) 救急に係る証明に関する事
- (5) 応急手当の普及啓発に関する事
- (6) 地域防災力の充実強化に関する事
- (7) 広報広聴に関する事

**第1・第2・第3救助係（新千里消防署除く）**

- (1) 救助活動に関する事
- (2) 救助の訓練に関する事
- (3) 車両及び資機材の日常管理に関する事
- (4) 共同住宅等の査察に関する事

- (5) 災害活動に係る実地調査及び計画に関する事
- (6) 住宅防火対策に関する事
- (7) 災害時要援護者対策に関する事
- (8) 地域防災力の充実強化に関する事
- (9) 広報広聴に関する事

**北消防署能勢町分署**

**第1・第2・第3消防係**

- (1) 分署の総括事務に関する事
- (2) 火災予防運動など防火思想の普及啓発に関する事
- (3) 査察及び消防法令違反処理に関する事
- (4) 災害の警戒及び防除に関する事
- (5) 災害活動に係る実地調査及び計画に関する事
- (6) 火災等災害の防ぎょ訓練に関する事
- (7) 救急業務に関する事
- (8) 救助業務に関する事
- (9) 火災等の原因、損害調査に関する事
- (10) 各種届出等に関する事
- (11) 広報広聴に関する事
- (12) その他署長及び分署長の定める事務の処理に関する事



◆ 消防職員

所属別・階級別職員数

令和5年4月1日 現在

区 分		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	合計	
消 防 局	消 防 局 長	1									1	
	次 長		1								1	
	消 防 総 務 課			2	1	6	2	2		1	14	
	総務省消防庁派遣職員						1				1	
	府 派 遣 職 員					1					1	
	大阪市派遣職員						1					
	初 任 教 育								7		7	
	再 任 用						1				1	
	警 防 課			4	5	10	5	1				25
	再 任 用						2				2	
	救 急 救 命 課				1	4	1	1				7
	再 任 用						3				3	
	消 防 指 令 セ ン タ ー			4	5	7	5					21
	再 任 用						4				4	
予 防 課			1	2	5	5	1				14	
再 任 用						1				1		
小 計	1	1	11	14	33	20	5	7	1		92	
再 任 用						11					11	
北 消 防 署	北 本 署		1	4	7	17	16	6	7	1	59	
	再 任 用						1				1	
	原 田 出 張 所				3	3	6	4	8		24	
	再 任 用											
	蛍 池 出 張 所				3	3	8	1	6		21	
	再 任 用						3				3	
	能 勢 町 分 署				1	8	8	1	5		23	
	再 任 用											
	小 計		1	4	14	31	38	12	26	1		127
	再 任 用						4				4	
南 消 防 署	南 本 署		1	4	4	14	16	4	9		52	
	再 任 用						1				1	
	小 曾 根 出 張 所				3	4	6	4	7		24	
	再 任 用											
	服 部 出 張 所				3	5	9	2	3		22	
	再 任 用						2				2	
	小 計		1	4	10	23	31	10	19		98	
再 任 用						3				3		
新 千 里 消 防 署	新 千 里 本 署		1	4	4	10	9	4	7		39	
	再 任 用						3				3	
	桜 井 谷 出 張 所				3	4	7	4	6		24	
	再 任 用											
	東 泉 丘 出 張 所				3	5	7	5	4		24	
	再 任 用											
小 計		1	4	10	19	23	13	17		87		
再 任 用						3				3		
合 計	1	4	23	48	106	112	40	69	2		405	
再 任 用						21					21	
実 員	426名（403名+再任用職員21名+非常勤職員2名）											

### 年齢別・階級別職員数

令和5年4月1日 現在

階級 年齢	消 防 吏 員								計
	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
18歳以上20歳未満								1	1
20歳以上25歳未満								28	28
25歳以上30歳未満						14	13	35	62
30歳以上35歳未満					4	47	19	5	75
35歳以上40歳未満					28	37	3		68
40歳以上45歳未満				3	43	7	1		54
45歳以上50歳未満			10	22	18	3	3		56
50歳以上55歳未満			5	17	11	3	1		37
55歳以上60歳未満	1	4	8	6	2	1			22
60歳以上						21			21
うち再任用短時間勤務職員数						(12)			(12)
合計	1	4	23	48	106	145	40	69	424
うち再任用短時間勤務職員数						(12)			(12)
平均年齢	56.0	56.8	51.5	49.9	42.2	39.3	33.3	25.2	39.2

### 勤続年数別・階級別職員数

令和5年4月1日 現在

階級 勤続年数	消 防 吏 員								計
	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
1年未満								8	8
1年以上5年未満						3		8	11
5年以上10年未満					1	30	25	26	82
10年以上15年未満					16	60	11		87
15年以上20年未満				3	48	11	2		64
20年以上25年未満			3	8	22	1	1		35
25年以上30年未満			6	7	5	2			20
30年以上35年未満	1	1	6	26	13	4	1		52
35年以上		3	8	4	1	22			38
うち再任用短時間勤務職員数						(12)			(12)
合計	1	4	23	48	106	145	40	42	397
うち再任用短時間勤務職員数						(12)			(12)
平均年数	31.0	36.3	30.7	28.6	19.8	16.7	10.1	4.0	17.1

## 職員研修派遣状況

(令和4年度実績)

派遣先	研修内容	回数	期間	人数	
消防大学校	総合教育 幹部科	中止	-	-	
大阪府立消防学校	初任教育	2回	175日間	6人	
	専科教育	警防科	1回	9日間	3人
		予防科防火査察課程	1回	6日間	12人
		予防科消防用設備課程	1回	6日間	4人
		予防科危険物課程	1回	6日間	1人
		火災調査科	1回	9日間	2人
		救助科	2回	18日間	6人
	幹部教育	初級幹部科	1回	9日間	4人
		中級幹部科	1回	7日間	4人
		上級幹部科	1回	1日間	2人
	特別教育	はしご車技術講習	2回	4日間	4人
		潜水士養成研修	1回	5日間	3人
		通信指令研修	1回	4日間	1人
		採用後3年目研修	4回	2日間	7人
	教育技法研修	1回	1日間	1人	
大阪市消防局 高度専門教育 訓練センター	上級救助研修	1回	8日間	2人	
	指揮研修	1回	2日間	1人	
	特殊災害研修	1回	5日間	1人	
	消火技術研修	1回	3日間	1人	
	水難救助基本技術研修	1回	2日間	3人	
	上級予防研修	危険物・保安コース	1回	3日間	1人
		建築・設備コース	1回	3日間	1人
	火災調査研修	1回	3日間	1人	
	火災調査指導者育成研修	1回	1日間	1人	
	救急救命士養成課程	1回	129日間	5人	
	指導救命士養成課程	1回	13日間	2人	
大阪市消防局	方面隊実務研修	1回	6日間	1人	
	指令情報センター研修	2回	1日間	2人	
	救助隊電気災害研修	1回	1日間	1人	
	危険物審査研修	1回	14日間	1人	
堺市消防局	指揮受託研修	1回	6日間	1人	
	救急ワークステーション研修	1回	2日間	1人	
	火災調査受託研修	1回	5日間	1人	
	特別高度救助隊研修	1回	2日間	1人	
大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター	救急救命士就業前教育病院実習	3回	31日間	7人	
大阪府済生会千里病院	救急救命士就業中再教育病院実習	197回	4・8日間	77人	
	気管挿管病院実習	2回	20・31日間	2人	
市立豊中病院	ビデオ喉頭鏡実習	3回	2日間	3人	
大阪脳神経外科病院	気管挿管病院実習	2回	28・38日間	2人	
	ビデオ喉頭鏡実習	2回	2日間	2人	
大阪大学医学部附属病院	気管挿管病院実習	1回	25日間	1人	

## 資格取得状況

令和5年4月1日 現在

階 級 資 格	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
大型第1種		4	15	30	65	58	13	6	191
大型特殊第1種			1	2		1	1		5
けん引第1種			1	1		2	1		5
大型第2種			1			1			2
中型第1種	1		1	5	45	72	25	36	185
小型船舶操縦士	1	2	6	12	15	12	1	1	50
小型移動式クレーン運転技能者			4	13	37	19	4	5	82
玉掛け技能者			3	14	38	22	4	5	86
特殊無線技士（陸上2級・3級）	1	1	8	15	35	25	10	11	106
ガス溶接作業技能者			2	6	3	3	1		15
アーク溶接作業技能者			4	4		1	1		10
酸素欠乏・硫化水素			4	4	26	15		1	50
足場の組立等作業主任者		2	1	6	6	3			18
衛生管理者			1	2	1	1			5
消防設備士甲種	1			1	2				4
消防設備士乙種	1			1	2	1			5
消防設備点検資格者						1			1
危険物取扱者甲種			1	2	2	1		1	7
危険物取扱者乙種	1		7	27	55	45	5	15	155
危険物取扱者丙種				1	1				2
潜水士		3	15	20	38	40	8	12	136
特定化学物質等作業主任者		1	1	4	2	5			13
予防技術資格者（防火査察専門員）	1	1	2	11	28	29	2		74
予防技術資格者（消防用設備等専門員）	1	1	1	7	5	4	1		20
予防技術資格者（危険物専門員）		1		2	4	2			9
救急救命士		2	5	21	38	53	8	13	140

## ❖ 予算

### 当初予算

区 分	市一般会計 【能勢町含む】 (千円)	消 防 費 【能勢町含む】 (千円)	市一般会計 に対する消 防費の割合 (%)	人口1人 あたりの 消 防 費 (円)	1 世 帯 あたりの 消 防 費 (円)	能勢町消防 負担金額 (千円)
令和 5 年度	179,074,983	5,302,608	3.0	12,989	28,862	208,819
令和 4 年度	175,159,730	5,329,555	3.0	12,773	26,615	195,642

本表における人口、世帯数は、令和 5 年 4 月 1 日の住民基本台帳を用いて算出。

【豊中市】 399,029 人 179,184 世帯 【能勢町】 9,205 人 4,541 世帯

【合計】 408,234 人 183,725 世帯

### 消防費当初予算の内訳

(単位 千円)

区 分	常備消防費	非 常 備 消 防 費	災害対策費	消防関係施設 包括管理費	消防施設 整備費
令和 5 年度	4,342,920	122,540	206,167	16,045	327,389
令和 4 年度	4,202,428	123,112	323,423	13,257	355,522

### 消防費財源内訳(当初予算)

(単位 千円)

区 分	消 防 費 ( A )	内 訳					一般財源 割 合 (B)/(A) × 1 0 0 (%)
		国 庫 支 出 金	府 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一般財源 ( B )	
令和 5 年度	5,015,061	32,830	8,693	142,100	317,722	4,513,716	90.00
令和 4 年度	5,017,742	136,083	8,146	113,200	353,832	4,406,481	87.82

### 令和 5 年度 消防施設整備費執行予定

(豊中市)

消防団屯所建替	1 箇所
高規格救急自動車	1 台更新
消防ポンプ自動車	2 台更新
災害対応ドローン	2 機購入
消防作業車	1 台更新
消防施設感染防止対策工事	1 箇所

# 災害への備え

## ❖ 消防機械

市民の安心・安全を守るため、各消防拠点には消防自動車配置されています。

### 消防自動車の配置状況

(令和5年4月1日現在)

区分 所属	車両等																			
	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車(小型水槽付含む)	はしご付消防自動車	はしご付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付水槽車	小型動力ポンプ付積載車	化学消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	救助工作車(小型水槽付含む)	調査車	予防広報車	高規格救急自動車	指揮車	消防司令車	支援車	その他の消防自動車	作業車その他の車両	原動機付自転車		
消防局		1								1	1	1	1		1			10		
北消防署	本署		1	1	1				2	1		1	2					2	1	1
	原出張所		2					1	2									1		1
	蛍出張所		1					1	2									1		1
	能勢町署								2	1			3					1	1	
南消防署	本署		2			1		1	2	1		1	2		1			2	2	1
	服部出張所	1	2						2				1					1		1
	小曽根出張所		2						2				2					1	1	1
新千里消防署	本署	1	1	1					2	1		1	1		1			1	1	1
	桜井谷出張所	1	2						2				2					1		1
	東泉丘出張所	1	1					1	2				1					3	1	1
計	4	15	2	1	1	1	3	20	4	1	4	17	1	2	1	14	17	9		



小型水槽付消防ポンプ自動車



高規格救急自動車



35m はしご付消防自動車

### 主力機械保有台数の推移

(令和5年4月1日時点)

年度	車両	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車(小型水槽付含む)	はしご付消防自動車	はしご付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ付水槽車	化学消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	救助工作車(小型水槽付含む)	調査車	予防広報車	※救急自動車	指揮車	消防司令車	支援車	その他の消防自動車等	作業車	原動機付自転車	屈折はしご付消防ポンプ自動車	屈折放水塔付消防ポンプ自動車	無線	マイクロボス	起震車	総台数(小型動力ポンプは含まない)
昭和23年		1	4																						5
昭和28年		2	4						1				1	1	1										9
昭和33年		4	5						1				1	1	1		1								13
昭和38年		4	5						1			3	1	1	1		1								16
昭和43年		4	8					2	1	1	3	4	1	1	1	5				1		1			31
昭和48年		7	12		2			2	9	1	1	4	9	1	2	9		22		1		1			74
昭和53年		7	14		2			4	16	2	1	4	9	1	2	13	1	25		1	1	1			88
昭和58年		7	12		3			4	16	2	1	4	10	1	3	10	2	20		1	1	1	2		84
昭和63年		6	13		5	1		4	16	2	2	4	10	3	3	10	5	17		1	1		3	1	91
平成5年		7	14	3	4	1		4	18	2	2	4	11	3	3	4	16	15					3	1	97
平成10年		7	14	3	4	1		4	21	2	2	4	11	3	3	3	19	14					2	1	97
平成15年		6	14	3	2	1		4	18	2	2	4	11	3	3	3	20	12					2	1	93
平成20年		6	14	2	1	1	1	3	18	3	1	3	13	2	3	1	4	22	10						90
平成25年		6	14	2	1	1	1	3	18	3	1	3	13	2	3	1	4	25	10						93
平成30年		4	16	2	1	1	1	4	20	4	1	3	17	2	3	1	14	17	9						99
令和元年		4	16	2	1	1	1	4	20	4	1	4	17	1	3	1	14	17	9						98
令和2年		4	16	2	1	1	1	4	20	4	1	4	17	1	3	1	14	17	9						98
令和3年		4	16	2	1	1	1	3	20	4	1	4	17	1	2	1	14	17	9						98
令和4年		4	15	2	1	1	1	3	20	4	1	4	17	1	2	1	14	17	9						97
令和5年		4	15	2	1	1	1	3	20	4	1	4	17	1	2	1	14	17	9						97

※ 平成11年度から救急自動車は全て、高規格救急自動車を整備しています。



## ❖ 特殊災害対策

### 特殊災害対策専門班

消防局では、テロなど有事における核物質・放射線、生物剤及び化学剤による災害（NBC 災害）や航空機災害、集団救急災害、その他の特殊な災害に備え、発災時に的確な対応を行うために、特殊災害対策専門班を設けています。

平成 30 年 6 月 1 日には、能勢町分署においても、山林災害の対策班を設置し、平成 31 年 4 月 1 日には、新千里消防署の開設に伴い、市内すべての消防出張所で担当していたそれぞれの専門班を北・南・新千里の管轄署所での担当として再編成しました。

各署所の職員は、これらの災害対応について専門的に研究するとともに、有事の際には現場指揮所において指揮支援等の災害対応を行います。



放射性物質（C）災害対応合同訓練



集団救急災害訓練

### 特殊災害対応資機材の保有状況

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

機 器 名	数 量	機 器 名	数 量
空気式救助マット	2	酸素呼吸器	10
救命索発射装置	1	硫化水素ガス除去装置	2
可搬式ウインチ（チルホール）	3	化学防護服（レベル A）	40
マット型空気ジャッキ式	4	化学防護服（レベル B）	45
大型油圧救助器具	8	防毒マスク	71
救助用支柱器具	2	耐熱服	30
空気呼吸器 本体	160	放射線防護服	66
空気呼吸器 ポンベ	297	使い捨て式簡易防護服	94

除染シャワー	1	エアテント	1
簡易除染器	5	フレームテント	2
化学ガス検知器	2	地中音響探知機	2
マルチ型ガス検知器	18	熱画像直視装置	3
検知管式有毒ガス検知器	5	夜間用暗視装置	2
個人用デジタル警報線量計	57	画像探索機Ⅰ型	2
放射線 測定器	GM式（ポケット含む）	8	画像探索機Ⅱ型
	シンチレーション式	1	危険物質同定装置（ハズマツトID）

### 特殊災害対策専門班（各署所担当）

担当署所・分署	特殊災害種別
北消防署 原田出張所 蛭池出張所	集団救急災害対策 航空機災害対策 危険物災害対策
能勢町分署	山林災害対策
南消防署 小曾根出張所 服部出張所	水災害対策 洞道等災害対策 高圧ガス災害対策
新千里消防署 桜井谷出張所 東泉丘出張所	NBC災害対策 高層建物災害対策 地下街災害対策

## ❖ 避難行動要支援者対策

### 一声訪問事業

消防局では、避難行動要支援者対策として、「一声（ひとこえ）訪問」を定期的を実施しています。本事業は、要支援者の実態を把握するため、署員が高齢者や障がい者宅を訪問して防火対策や災害時の避難方法などについて相談・指導を行うもので、訪問により得た要支援者情報を活用し、災害時に適切な救護を行える体制を構築しています。令和4年度は、北消防署管内3,285人、南消防署管内3,718人、新千里消防署管内3,409人の合計10,412人を訪問しました。

## ❖ 応急救護所用資機材

(令和5年4月1日現在)

番号	資機材名	数量
1	フレームテント	2
2	手動式人工呼吸器	10
3	血圧計	10
4	聴診器	10
5	体温計	20
6	検眼ライト	10
7	梯状副子	120
8	巻軸包帯	2,400
9	三角巾	200
10	滅菌ガーゼ	1,000
11	サージカルテープ	36
12	頸部固定用具	20
13	多目的止血帯	40
14	ネット包帯	24
15	カット絆	L400
16	カット絆	M800
17	救急包帯 大	200
18	救急包帯 小	200
19	救急包帯多頭帯 中	200
20	救急包帯多頭帯 小	200
21	保温用毛布	100
22	巻き担架	100
23	洗顔洗浄両用器	20
24	マスク	400
25	手袋	400
26	膿盆	10
27	万能はさみ	10
28	トリアージタグ	600
29	携帯用衛生袋	100
30	汎用ビニール袋	50
31	救急靴	10

32	収納箱	20
33	生理食塩水	100

## ❖ 飲料水兼用耐震性貯水槽 設置場所資機材

消防関係3箇所

(令和5年4月1日現在)

番号	資機材名	数量
1	小型動力ポンプ (C1級)	1
2	ポンプ台車	1
3	吸管 (65mm×6m)	1
4	吸管ストレナー	1
5	吸管ちりよけ籠	1
6	吸管まくら木	1
7	吸管ロープ	1
8	中継用媒介金具	1
9	吸水用媒介金具	1
10	地上式消火栓開閉金具	1
11	地下式消火栓開閉金具	1
12	水槽レンチ	1
13	管そう	1
14	ノズル	2
15	吸管スパナ	1
16	スタンドパイプ	1
17	消防用ホース (65mm×20m)	10
18	とび口	1
19	水中ポンプ	1
20	充電器	1
21	スロープ	2
22	スタンドボックス	1

(1箇所分を計上)

## ❖ 災害対応用資機材

### 北本署・南本署用

(令和5年4月1日現在)

番号	資機材名	数量	
1	携帯用発電機(一式)	1	
2	エンジンカッター(兼用タイプ)	一式1	
3	ジャッキ	10	
4	金てこ(80cm 150cm)	各10	
5	剣先スコップ	10	
6	ツルハシ	10	
7	斧	10	
8	掛矢	10	
9	ハンマー	鉄製(大ハンマー)	10
		硬質ゴム製(10ポンド用)	10
10	ノコギリ(大)	10	
11	ナタ	10	
12	とび口(1.8m)	10	
13	RCバール(ステンレス鋼・大)	10	
14	絶縁ボルトクリッパー	10	
15	燃料輸送用携行缶(20ℓ)	3	
16	携帯用拡声器	5	
17	防爆型強力ライト	3	
18	防塵マスク	40	
19	防塵メガネ	40	
20	飲料水用水筒	50	
21	収納ボックス	6	
22	ナイロンロープ(200m×12m)	一式1	
23	ヘッドライト	45	

(1箇所分を計上)

### 新千里本署・出張所(7箇所)

(令和5年4月1日現在)

番号	資機材名	数量	
		新千里 桜井谷 小曾根 服部	原田 蛍池 東泉丘
1	携帯用発電機	一式1	
2	エンジンカッター(兼用タイプ)	一式1	

3	ジャッキ	5	10	
4	金てこ(80cm 150cm)	各5	各10	
5	剣先スコップ	5	10	
6	ツルハシ	5	10	
7	斧	5	10	
8	掛矢	5	10	
9	ハンマー	鉄製(大ハンマー)	5	10
		硬質ゴム(10ポンド用)	5	5
10	ノコギリ	大	5	30
		小		30
11	ナタ	5	5	
12	とび口(1.8m)	5	10	
13	RCバール(ステンレス鋼・大)	5	10	
14	絶縁ボルトクリッパー	5	5	
15	燃料搬送用携行缶(20ℓ)	3		
16	携帯用拡声器	5	15	
17	防爆型強力ライト	3	15	
18	防塵マスク	45		
19	防塵メガネ	45		
20	飲料水用水筒	45		
21	水バケツ		30	
22	ヘルメット		30	

(1箇所分を計上)

### 消防用機械器具置場

#### コミュニティ用(23箇所)

(令和5年4月1日現在)

番号	資機材名	数量	
1	ジャッキ	3	
2	金てこ(80cm 150cm)	各6	
3	剣先スコップ	12	
4	ツルハシ	3	
5	ノコギリ	大	10
		小	10
6	ヘルメット	30	
7	携帯用拡声器	3	
8	ハンマー鉄製(大ハンマー)	5	
9	強力ライト	20	
10	水バケツ	20	

(1箇所分を計上)

## ❖ 豊中市・池田市消防指令センター

豊中市と池田市は、消防資源の効果的な活用と消防業務の効率的な運用を図るため、「豊中市・池田市消防指令センター」を開設（平成 27 年 4 月）し、消防指令業務の共同運用を行っています。



豊中市・池田市消防指令センター



消防用高所監視施設

消防防災情報システムは、次表に示す各種装置により構成されており、119 番通報から、消防車両の選別（災害種別に適した車両の中で災害発生場所に近いものを選別）、出場指令及び現場への情報提供を一貫して処理し、火災・救急・救助等の災害対応を円滑にするとともに、消防業務の電算処理化により事務処理の効率化を図っています。

### 消防防災情報システム

（令和 5 年 4 月 1 日現在）

装置等	数量	装置等	数量
指令装置（指令台一式）	4 台	順次指令装置	3 台
指揮台	1 台	音声合成装置	3 台
表示盤（総合情報表示装置）	一式	出動車両運用管理装置	2 台
無線統制台	1 台	システム監視装置	1 台
指令伝送装置	14 台	電源設備	一式
気象情報収集装置	一式	統合型位置情報通知装置	1 台
災害状況等自動案内装置	一式	消防用高所監視施設（高所監視カメラ装置）	一式

### 消防専用無線電話装置（能勢町含む。）

（令和 5 年 4 月 1 日現在）

装置等	数量	装置等	数量
基地局	3	消防系携帯型	71
消防系車載型・可搬型・卓上型	93	署活動系携帯型	232

## 各種電話回線等

(令和5年4月1日現在)

装置等	数量	装置等	数量
固定・IP119番回線	12	消防団指令用回線	30
携帯電話119番回線	4	消防団指令書出力装置用回線	18
119番転送用回線	4	消防団出場連絡用FAX回線	3
緊急通報回線	4	指令センタービジネスホン回線	4
災害状況自動案内装置用	6	署所指令用回線	13
関係機関連絡用回線	3	主力車両間通信回線	50

## 災害通報

火災・救急・救助の出場要請は、そのほとんどが119番通報です。

豊中市、池田市及び能勢町からの119番通報は、すべて豊中市・池田市消防指令センターで受け付けています。

災害通報には、119番通報のほかに警察からの通報や、直接消防署や出張所への駆け付けによる通報、避難行動要支援者から送信される緊急通報システム「ホットラインきずな」、聴覚障害者専用ファックス、メール119、緊急通報システムNET119等があります。

## 携帯電話等による119番通報

人工衛星(GPS衛星)を利用し、音声通話と併せて通報者の発信位置情報が通信事業者を経由して、自動的に消防指令センターに通知されます。

また、平成19年6月1日からは、携帯電話からの119番通報を受信した際に、発信位置情報を取得することができ、迅速な災害対応が可能となりました。

## 多言語サービス「通訳コンシェル119」

外国人の留学生や観光客など日本語でのコミュニケーションが困難な方からの119番通報を、コールセンターの通訳を介した通報者、指令員との三者通話により通報をサポートします。

## 119番受信状況

令和4年中の総受信件数は、豊中市では36,206件あり、能勢町では843件です。豊中市においては1か月当たりの件数は、約3,017件、1日当たり約99件です。能勢町においては1か月当たりの件数は、約70件、1日当たり約2件です。

### 受信状況

(令和4年中)

種別	受付件数		割合(%)	
	豊中市	能勢町	豊中市	能勢町
火災	94	9	0.3	1.1
救急	23,321	564	64.4	66.9
救助	262	8	0.7	1.0
警戒	395	13	1.1	1.5
問い合わせ	3,245	99	9.0	11.7
病院照会・相談	230	8	0.6	1.0
間違い等	4,994	77	13.8	9.1
回線テスト・通報訓練	2,480	55	6.8	6.5
他市携帯転送	755	10	2.1	1.2
その他	430	0	1.2	0.0

### 病院照会

消防指令センターは、大阪府広域災害・救急医療情報システム等による情報を参考に、市民からの病院照会の問い合わせにお応えしています。

### 緊急通報システム『ホットラインきずな』の運用

豊中市では、平成3年10月から、高齢者、身体障がい者に対する迅速な出場を可能とするため、緊急通報システム「ホットラインきずな」が設置されました。

通報装置の端末機本体の非常ボタンやペンダントの緊急ボタンを押すことにより、消防指令台の画面に利用者の情報が即座に表示され、また、指令管制室からの呼びかけもできます。

出場指令後には、あらかじめ定められた協力員に出場要請を行い、地域住民と協力して、利用者の安心・安全を守っています。

### 緊急通報の受信別状況

(令和4年中)

設置数	受信件数			機器障害等	搬送人員	出場協力員数
		緊急通報	緊急以外			
1,227	744	284	460	0	173	24



## 聴覚障がい者『災害受付専用FAX』

昭和 57 年 4 月から聴覚障がい者が緊急通報を容易に行えるよう、情報の収集と緊急時の連絡手段として、災害受付専用のファクシミリが設置され、消防車・救急車等の出場要請のほか、病院照会や相談等について、ファクシミリによる情報の交換を行っています。

(令和 4 年中)

設置現在数	緊急通報		緊急以外	
	火災	救急	相談	その他
85	0	1	0	0

## 緊急通報システムNET119・メール119番通報システム

聴覚や言語等に障がいがある方など、音声（肉声）による 119 通報が困難な方が、携帯電話やパソコン等のインターネット機能を利用して、救急車や消防車を要請できるシステムで、事前に消防局で登録することにより利用できます。

平成 27 年 4 月 1 日から運用を開始していた緊急通報システム「Web119」について、平成 29 年 12 月より新たに機能を充実させ、「NET119」と名称を変更しました。

メール 119

(令和 4 年中)

登録者数	緊急通報		緊急以外	
	火災	救急	相談	その他
17	0	0	0	0

NET119

(令和 4 年中)

登録者数	緊急通報		緊急以外	
	火災	救急	相談	その他
44	0	2	0	3

## 119救命サポートチーム

ベテラン救急救命士で構成された 119 番通報を受信する通信員「119 救命サポートチーム」は、119 番通報の内容から情報を的確に判断し、救急隊が到着するまでの間、通報者や現場に居合わせた人に口頭指導し、適切な救命手当を実施してもらうことにより、さらなる救命率の向上を目指します。

## ❖ 消防水利

消防水利には、消火栓、防火水槽、河川、池及びプール等があります。消防水利は、定期的に巡回して整備を行い、いつでも使用できるようにしています。

特に、防火水槽、消火栓の設置場所には、標示板を掲示するとともに、蓋をカラー化して所在を明確にし、消火栓の上などに違法駐車が発生しないよう努めています。

### 消防水利の現況

(令和5年4月1日現在)

水利 市町	消 火 栓			防 火 水 槽			そ の 他				合 計
	公設	私設	小計	公設	私設	小計	河川	池	その他	小計	
豊中市域	4,939	26	4,965	332	345	677	4	34	71	109	6,262
能勢町域	345	1	346	117	25	142	0	23	0	23	

### 開発にかかる新設消防水利の設置状況

開発行為等区域の面積が500㎡以上の開発行為等を行う場合、消防水利の整備について、消防との協議が義務付けられており、令和4年度の開発行為にかかる新設消防水利は防火水槽7基となっています。

(令和4年度)

消 火 栓	防 火 水 槽	合 計
0	7	7



消火栓



防火水槽

## ❖ 消防相互応援体制

### 消防相互応援協定等締結状況

消防相互応援は、豊中市及び能勢町の隣接市町や豊能地域、府内の市町及び関係機関と相互に応援協定等を結び、市町の境界線付近の災害や大規模災害、特殊災害に対応できるよう消防体制の強化を図り、被害を最小限に軽減しようとするものです。



協 定 名	協 定 機 関	協 定 年 月 日	協 定 事 項
<b>消防組織法第39条に基づく協定</b>			
<b>(一般消防応援協定)</b>			
・豊中市・吹田市消防相互応援協定	吹田市	S39.10.24 (H25.11.1)	市域間の消防・救急業務
・豊中市及び吹田市における建物火災の相互応援に係る申し合わせ	吹田市	H27.4.1	市域における建物火災初動出動態勢
・大阪市・豊中市消防相互応援協定	大阪市	S40.12.1 (H25.11.1)	市域間の消防・救急業務
・大阪市・豊中市消防相互応援協定に関する覚書	大阪市	S40.12.1	市域間の消防・救急業務
・豊中市・伊丹市消防相互応援協定	伊丹市	S41.12.10 (H25.11.1)	市域間の消防・救急業務
・大阪府豊能地域広域消防相互応援協定	池田市・箕面市・豊能町・能勢町	H27.4.1 (H28.4.1)	市町域間の消防・救急業務
・大阪府豊能地域広域消防相互応援協定に基づく覚書	池田市・箕面市・豊能町・能勢町	H27.4.1 (H28.4.1)	市町域間の消防・救急業務
・豊能町域におけるはしご付消防自動車の応援にかかる申し合わせ	箕面市	H28.4.1	はしご付消防自動車の応援業務
・尼崎市・豊中市消防相互応援協定	尼崎市	S42.12.15	市域間の消防・救急業務
・京都中部広域消防組合・能勢町・亀岡市・豊中市消防相互応援協定書	京都中部広域消防組合・能勢町・亀岡市	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
・豊中市・川西市・能勢町消防相互応援協定	川西市・能勢町	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
・豊中市・川西市・能勢町消防相互応援協定に基づく覚書	川西市・能勢町	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
・能勢町・猪名川町・豊中市消防相互応援協定	能勢町・猪名川町	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
・能勢町・猪名川町・豊中市消防相互応援協定に基づく覚書	能勢町・猪名川町	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
・篠山市・能勢町・豊中市消防相互応援協定	篠山市・能勢町	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
・篠山市・能勢町・豊中市消防相互応援協定に基づく覚書	篠山市・能勢町	H27.4.1	市町域間の消防・救急業務
<b>(高速道路関係)</b>			
・名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各IC間における消防相互応援に関する協定	尼崎市・西宮市	S39.8.31	名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各IC間の消防・救急業務
・名神高速道路内の豊中・茨木IC間における消防相互応援に関する協定	茨木市	S39.11.28 (H25.11.1)	名神高速道路内の豊中・茨木IC間の消防・救急業務
・縦貫道路茨木・宝塚IC間における消防相互応援に関する協定書	茨木市・吹田市・池田市・川西市・伊丹市・宝塚市	S54.6.7	中国縦貫自動車道路内の茨木・宝塚各IC間の消防・救急業務

<p><b>(航空機災害関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定</li> <li>大阪国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定書</li> <li>大阪国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定書に基づく覚書</li> </ul> <p><b>(大規模災害関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府下広域消防相互応援協定</li> <li>大阪府下広域消防相互応援協定に基づく覚書</li> <li>航空消防応援協定</li> </ul> <p><b>(救急関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療相談業務に係る応援協定</li> </ul> <p><b>(予防関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定</li> <li>市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定</li> <li>市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定</li> </ul> <p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はしご付消防自動車共同運用に係る消防応援協定</li> <li>豊中市・池田市消防指令業務共同運用に係る消防応援協定</li> <li>豊中市・池田市消防指令業務共同運用に係る消防応援協定に基づく経費に関する覚書</li> <li>豊中市・池田市消防指令業務共同運用に係る消防応援協定に基づく消防指令業務に従事する消防職員的身分取扱い等に関する覚書</li> </ul>	<p>大阪市・堺市・東大阪市・池田市・吹田市・八尾市・松原市・柏原羽曳野藤井寺消防組合・高石市・尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市・川西市</p> <p>関西エアポート株式会社・伊丹市・池田市</p> <p>関西エアポート株式会社・伊丹市・池田市</p>	<p>S62.8.12 (H26.1.31)</p> <p>H28.3.29</p> <p>H28.3.29</p>	<p>大阪市 15 市の区域内で航空機の墜落等による大規模な災害が発生した場合における消防相互応援協定</p> <p>大阪国際空港内等における航空機等に関する火災等に対する消火救難活動</p> <p>大阪国際空港内等における航空機等に関する火災等に対する消火救難活動</p>
	府下常備市町村	S63.9.1 (H27.4.1)	大阪府域内において大規模な災害が発生した場合における消防相互応援
	府下消防本部	S63.9.1 (H28.4.1)	大阪府域内において大規模な災害が発生した場合における消防相互応援
	大阪市	S45.10.1 (H22.4.1)	回転翼航空機による消防・救急業務
	大阪市	H22.12.1	市民の安心感の確保と救命力の向上を図る。
	大阪市	S53.12.20	市域境界線上に位置する消防対象物の取扱い
	池田市	S59.6.1	市域境界線上に位置する消防対象物の取扱い
	吹田市	H24.5.1	市域境界線上に位置する消防対象物の取扱い
	箕面市	H24.5.18	はしご付消防自動車の共同運用
	池田市	H27.2.23 (R 元.12.27)	消防指令業務の共同運用
池田市	H27.2.23	消防指令業務の共同運用	
池田市	H27.2.23 (R 元.12.27)	消防指令業務の共同運用	
<p><b>消防組織法第39条に基づく協定以外</b></p> <p><b>(高速道路関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>阪神高速道路ならびに中央環状線道路の消防出動に関する覚書</li> <li>縦貫道路吹田・宝塚 IC 間における消防相互応援に関する協定</li> </ul> <p><b>(航空機災害関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際空港に係る航空機災害等に係る防災相互無線局の運用に関する確認書</li> </ul>	<p>池田市</p> <p>吹田市</p> <p>関西エアポート株式会社・伊丹市・池田市・大阪国際空港周辺都市消防関係連絡協議会代表市大阪市</p>	<p>S45.3.10 (H10.4.2)</p> <p>S48.8.1</p> <p>H28.3.29</p>	<p>阪神高速道路及び中央環状線道路における消防・救急業務</p> <p>中国縦貫自動車道路内の吹田・宝塚各 IC 間の消防・救急業務</p> <p>大阪国際空港に係る航空機災害等に係る防災相互無線局の運用</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際空港に係わる防災相互無線局運用要領</li> </ul>	<p>関西エアポート株式会社・伊丹市・池田市・大阪国際空港周辺都市消防関係連絡協議会代表市大阪市</p>	H28.3.29	大阪国際空港に係る航空機災害等に係わる防災相互無線局の運用
<p><b>(救急関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士に対する医師の具体的な指示に関する協定</li> </ul>	<p>大阪大学医学部附属病院・高槻市・吹田市・茨木市・箕面市・池田市・摂津市・島本町・豊能町・能勢町</p>	H14.3.15	救急救命士に対する医師の具体的な指示
<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士派遣研修に関する協定</li> </ul>	<p>社会福祉法人<sup>財団</sup>大阪府済生会千里病院・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町</p>	H18.4.1	救急救命士派遣研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士に対する医師の具体的な指示に関する協定</li> </ul>	<p>社会福祉法人<sup>財団</sup>大阪府済生会千里病院・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町</p>	H20.4.1	救急救命士に対する医師の具体的な指示
<ul style="list-style-type: none"> <li>救急車同乗研修に係る覚書</li> </ul>	<p>陸上自衛隊第3後方支援連隊衛生隊</p>	H25.3.1 (R元.11.1)	救急車同乗研修の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>救急車同乗実習に関する協定</li> </ul>	<p>社会医療法人純幸会関西メディカル病院</p>	R3.7.1	救急車同乗実習の実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府救急医療情報システム(ORION)への情報提供に関する協定書</li> </ul>	<p>大阪府健康医療部部長</p>	H26.5.1	救急搬送に関する情報の大阪府救急医療情報システム(ORION)への提供
<p><b>(大規模災害関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急消防援助隊</li> </ul>	<p>全国消防本部</p>	H7.8.18	日本国内における大規模災害の発生に際し、災害が発生した市町村の属する都道府県内の消防力では対処できない場合に実施する消防の相互応援
<p><b>(予防関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際空港における予防事務の取扱いに関する協定</li> </ul>	<p>池田市・伊丹市</p>	R3.7.28	大阪国際空港内における予防事務
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際空港における予防事務の取扱いに関する協定に基づく覚書</li> </ul>	<p>池田市・伊丹市</p>	R3.7.28	大阪国際空港内における予防事務
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際空港における予防事務処理基準</li> </ul>	<p>池田市・伊丹市</p>	R3.7.28	大阪国際空港内における予防事務
<ul style="list-style-type: none"> <li>保安3法事務連携機構おおさかの設立に関する協定</li> </ul>	<p>府下消防本部</p>	H24.3.22 (R3.1.22)	保安3法事務に係る消防本部間の連携のあり方
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府建築物データベースシステムに係る能勢町の建築物データの取扱いに関する覚書</li> </ul>	<p>能勢町</p>	H27.6.4	能勢町の建築物データの取扱いについて
<p><b>(鉄道関係)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道事故時の安全対策に関する覚書</li> </ul>	<p>北大阪急行電鉄株式会社</p>	H16.2.13	鉄道災害が発生した場合の相互連絡・協力体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道事故時の安全対策に関する申し合わせ</li> </ul>	<p>大阪高速鉄道株式会社</p>	H16.3.1	鉄道災害が発生した場合の相互連絡・協力体制
<p><b>(その他)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>能勢町と豊中市との間における消防事務の委託に関する協定</li> </ul>	<p>能勢町</p>	H27.4.1	消防事務の委託
<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府下自動車電話・携帯電話からの119番通報に関する申し合わせ</li> </ul>	<p>大阪府下消防本部</p>	H9.11.20	自動車電話・携帯電話からの119番通報の受入れ
<ul style="list-style-type: none"> <li>警察・消防相互応援協定</li> </ul>	<p>豊中警察署</p>	S29.12.7	警察・消防相互応援協定
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガス漏れ及び爆発事故等の防災対策に関する申し合わせ</li> </ul>	<p>大阪瓦斯株式会社淀川支社</p>	S56.7.28	ガス漏れ及び爆発事故等の防止及び被害の軽減を図るための相互連絡・協力体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語コールセンターサービス覚書</li> </ul>	<p>日本電気株式会社</p>	H27.4.1	119番通報時の通訳業務などによる多言語サービス

# 災 害 の 概 況

## ❖ 火災

令和4年(2022年)中の火災件数は、80件で、4.6日に1件の割合で火災が発生したことになります。豊中市は72件で前年に比べ7件(10.8%)増加し、8年連続で100件を下回り、能勢町は8件で前年に比べ9件(52.9%)減少しました。火災による死者は、豊中市は、3人で前年に比べ2人増加しました。能勢町は、死者はなく前年に比べ1人減少しました。

### 火災概況

(令和4年中)

区 分	令和4年			令和3年			増減数 (A)-(B)	増減率 (%)	
	(A)	豊中市	能勢町	(B)	豊中市	能勢町			
<b>火災件数(件)</b>	<b>80</b>	<b>72</b>	<b>8</b>	<b>82</b>	<b>65</b>	<b>17</b>	<b>-2</b>	<b>-2.4%</b>	
建物	43	41	2	48	43	5	-5	-10.4%	
林 野	2		2				2	—	
車 両	13	12	1	3	3		10	333.3%	
船 舶									
航空機									
その他	22	19	3	31	19	12	-9	-29.0%	
<b>焼損棟数 ※1(棟)</b>	<b>48</b>	<b>46</b>	<b>2</b>	<b>71</b>	<b>62</b>	<b>9</b>	<b>-23</b>	<b>-32.4%</b>	
全 焼	5	5		9	6	3	-4	-44.4%	
半 焼	1	1		3	3		-2	-66.7%	
部分焼	16	15	1	16	14	2	0	0.0%	
ぼ や	26	25	1	43	39	4	-17	-39.5%	
<b>建物焼損床面積(m<sup>2</sup>)</b>	<b>855</b>	<b>855</b>		<b>1,055</b>	<b>895</b>	<b>160</b>	<b>-200</b>	<b>-19.0%</b>	
<b>建物焼損表面積(m<sup>2</sup>)</b>	<b>56</b>	<b>53</b>	<b>3</b>	<b>271</b>	<b>254</b>	<b>17</b>	<b>-215</b>	<b>-79.3%</b>	
<b>林野焼損面積(a)</b>	<b>31</b>		<b>31</b>				<b>31</b>	<b>—</b>	
<b>死 者(人)</b>	<b>3</b>	<b>3</b>		<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>50.0%</b>	
<b>負傷者(人)</b>	<b>18</b>	<b>17</b>	<b>1</b>	<b>16</b>	<b>16</b>		<b>2</b>	<b>12.5%</b>	
<b>り災世帯(世帯)</b>	<b>39</b>	<b>38</b>	<b>1</b>	<b>55</b>	<b>54</b>	<b>1</b>	<b>-16</b>	<b>-29.1%</b>	
全 損	5	5		17	16	1	-12	-70.6%	
半 損	3	3		4	4		-1	-25.0%	
小 損	31	30	1	34	34		-3	-8.8%	
<b>り災人員(人)</b>	<b>64</b>	<b>61</b>	<b>3</b>	<b>136</b>	<b>133</b>	<b>3</b>	<b>-72</b>	<b>-52.9%</b>	
<b>損害額 ※2(千円)</b>	<b>157,413</b>	<b>157,362</b>	<b>51</b>	<b>116,525</b>	<b>92,544</b>	<b>23,981</b>	<b>40,888</b>	<b>35.1%</b>	
建物	建物	86,153	86,150	3	67,831	63,132	4,699	18,322	27.0%
	収容物	66,115	66,115		48,418	29,177	19,241	17,697	36.6%
林 野	3		3				3	—	
車 両	5,041	5,011	30	135	135		4,906	3634.1%	
船 舶									
航空機									
その他	101	86	15	69	28	41	32	46.4%	
爆 発				72	72		-72	-100.0%	

※1 焼損棟数は、火元建物のほか類焼建物も含む。

※2 損害額は、令和5年1月末日現在の推定額。



建物火災



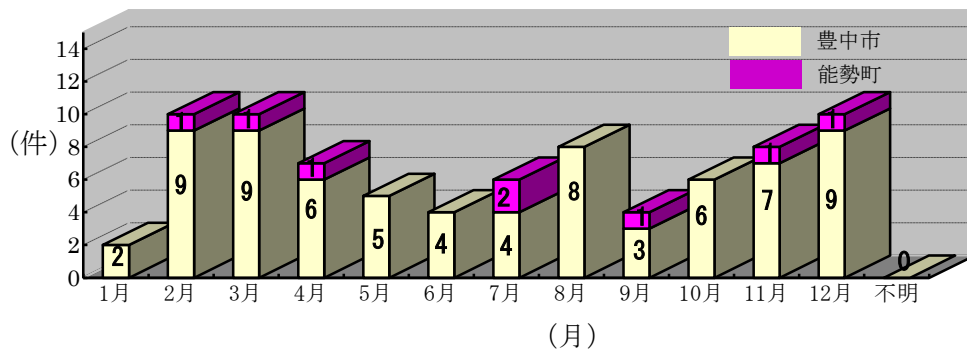
その他の火災



車両火災

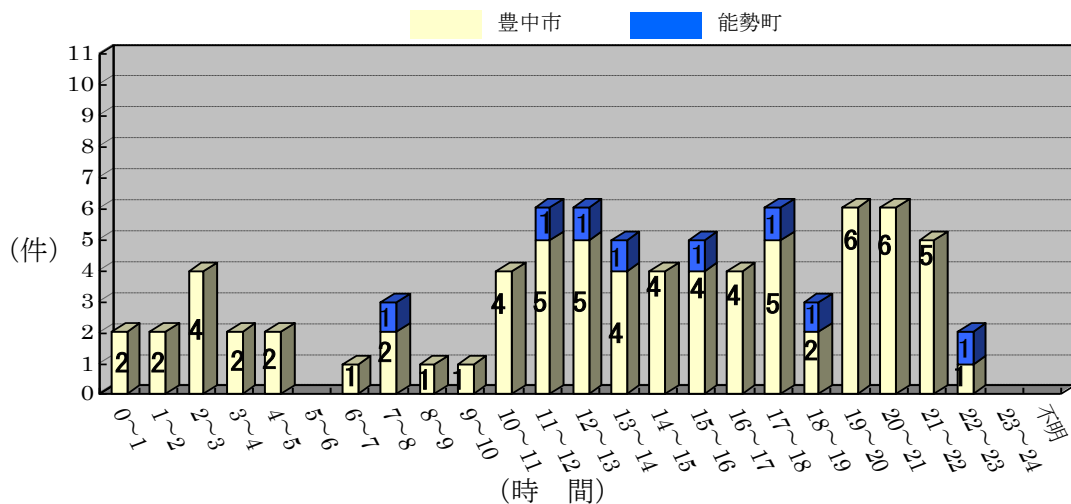
### 月別の火災件数

令和4年（2022年）中の火災件数を月別にみると、豊中市で2月、3月及び12月が多くなっています。（令和4年中）



### 時間帯別の火災件数

令和4年（2022年）中の火災件数を時間帯別にみると、豊中市で19時～20時、20時～21時の時間帯が多くなっています。（令和4年中）





## ❖ 火災の調査

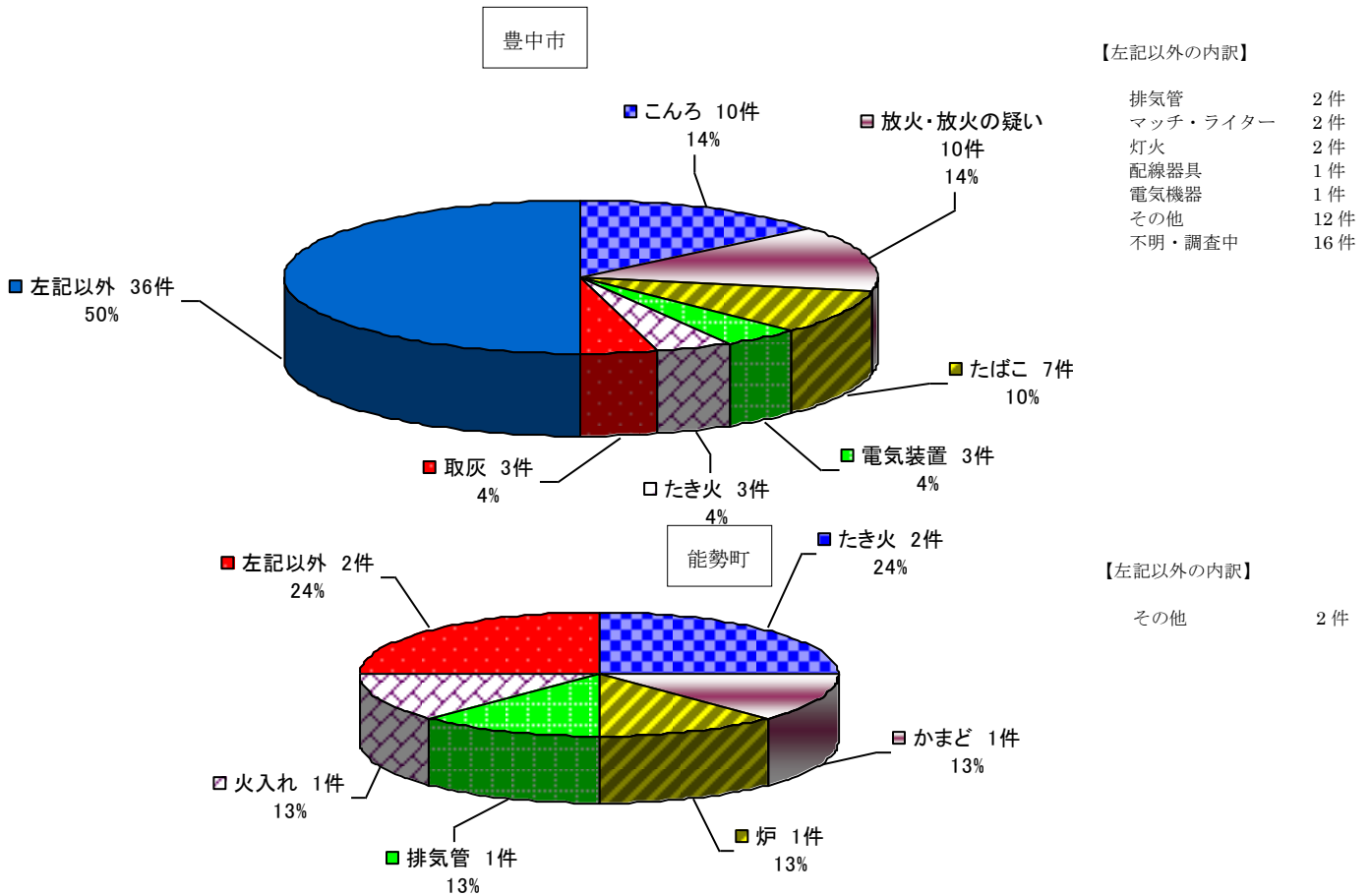
### 主な出火原因

(令和4年中)

	こんろ	放火・ 放火の疑い	たばこ	たき火	電気装置・ 取灰	左記以外
豊中市	10	10	7	3	各3	36
能勢町	0	0	0	2	0	6
合計	10	10	7	5	6	42

### 出火原因別の火災件数と割合

(令和4年中)



建物火災の原因調査



## ❖ 救急

令和4年中の救急件数は26,847件で、搬送人員は22,535人でした。豊中市は、救急件数が26,199件、搬送人員が21,933人、能勢町は、救急件数が648件、搬送人員が602人で前年に比べ救急出場件数が合わせて4,338件増加、搬送人員は合わせて2,481人増加しました。

### 救急概況

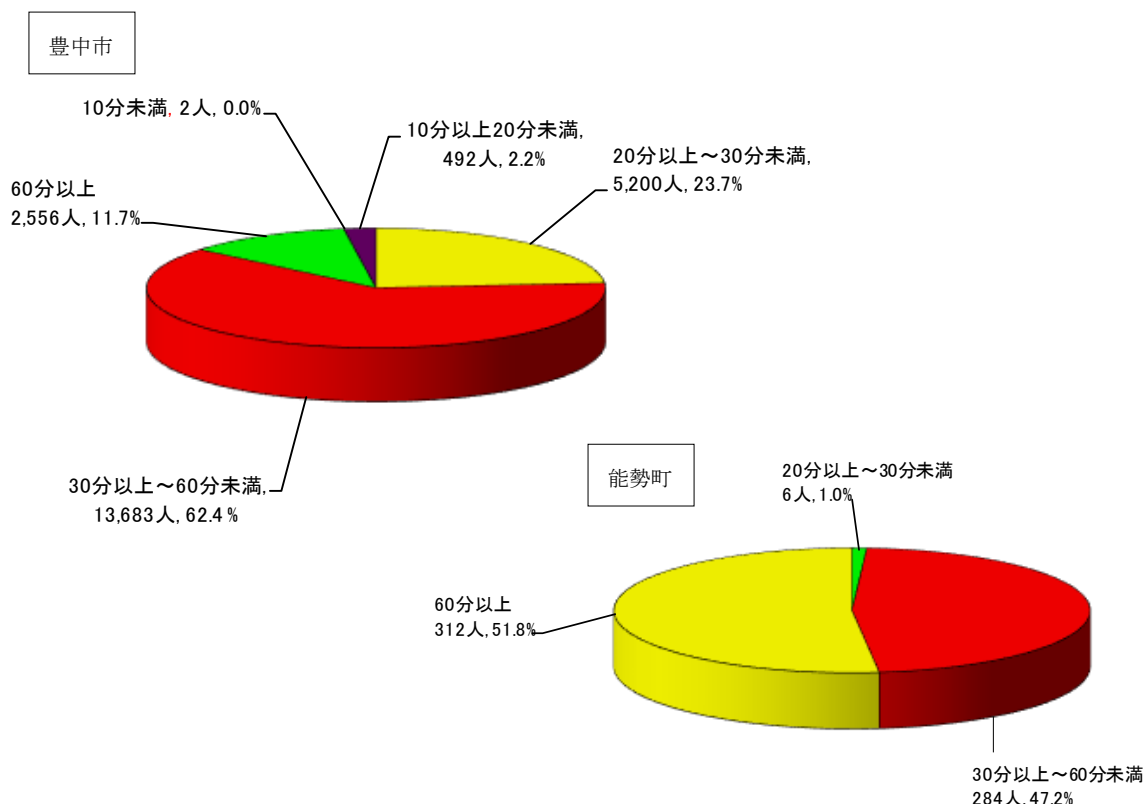
(令和4年中)

区分	令和4年			令和3年			増減数 (A)-(B)	増減率 (%)
	(A)	豊中市	能勢町	(B)	豊中市	能勢町		
<b>救急件数(件)</b>	<b>26,847</b>	<b>26,199</b>	<b>648</b>	<b>22,509</b>	<b>21,937</b>	<b>572</b>	<b>4,338</b>	<b>19.3</b>
火災	61	60	1	65	64	1	▲4	▲6.2
自然災害	0	0	0	3	3	0	▲3	
水難	1	1	0	5	4	1	▲4	▲80.0
交通	1,497	1,445	52	1,339	1,301	38	158	11.8
労働災害	137	123	14	114	103	11	23	20.2
運動競技	110	103	7	99	93	6	11	11.1
一般負傷	4,453	4,332	121	3,782	3,658	124	671	17.7
加害	100	98	2	95	92	3	5	5.3
自損行為	213	204	9	185	184	1	28	15.1
急病	18,814	18,395	419	15,254	14,902	352	3560	23.3
転院	1,387	1,364	23	1,522	1,487	35	▲135	▲8.9
その他	74	74	0	46	46	0	28	60.9
<b>事故種別搬送人員(人)</b>	<b>22,535</b>	<b>21,933</b>	<b>602</b>	<b>20,054</b>	<b>19,513</b>	<b>541</b>	<b>2481</b>	<b>12.4</b>
火災	19	18	1	16	16	0	3	18.8
自然災害	0	0	0	2	2	0	▲2	
水難	0	0	0	1	1	0	▲1	
交通	1,294	1,244	50	1,222	1,181	41	72	5.9
労働災害	136	122	14	113	102	11	23	20.4
運動競技	108	101	7	102	96	6	6	5.9
一般負傷	3,896	3,777	119	3,374	3,253	121	522	15.5
加害	63	62	1	67	64	3	▲4	▲6.0
自損行為	146	141	5	116	116	0	30	25.9
急病	15,472	15,090	382	13,522	13,198	324	1950	14.4
転院	1,374	1,351	23	1,519	1,484	35	▲145	▲9.5
その他	27	27	0	0	0	0	27	
年齢区分※								
新生児	17	17	0	16	16	0	1	6.3
乳幼児	1,400	1,386	14	1,055	1,041	14	345	32.7
少年	895	866	29	710	684	26	185	26.1
成人	6,267	6,114	153	5,943	5,804	139	324	5.5
高齢者	13,956	13,550	406	12,330	11,968	362	1626	13.2
傷病程度								
死亡	221	216	5	219	210	9	2	0.9
重症	291	257	34	307	281	26	▲16	▲5.2
中等症	8,411	8,125	286	8,053	7,781	272	358	4.4
軽症	13,612	13,335	277	11,475	11,241	234	2137	18.6

※ 新生児とは、生後28日未満の者、乳幼児とは、生後28日以上満7歳未満の者、少年とは、満7歳以上満18歳未満の者、成人とは、満18歳以上満65歳未満の者、高齢者とは、満65歳以上の者

## 病院収容所要時間別搬送人員

(令和4年中)



## 救急救命士の活動状況

令和4年4月1日時点の救急救命士の数は132人で、令和4年中、救急救命士が取り扱った心肺停止状態（CPA）の傷病者は396人となっています。

救急救命士が実施した救急救命処置は、除細動の実施が41人、静脈路確保のための輸液が280人、器具を用いた気道確保が298人（気管挿管185人、気管挿管以外113人）、薬剤投与が110人となっています。

脈拍又は呼吸が再開した人は59人で、このうち、生存退院した人は14人となっています。

区分 年	救急 件数	心肺停止 状態の 傷病者数	救急救命処置実施状況				結果		
			除細動	輸液	器具を用いた気道確保		薬剤 投与	心拍が 再開 した者	うち生 存退院
					気管 挿管	気管挿 管以外			
令和4年	26,847	396	41	280	185	113	110	59	14
令和3年	22,509	383	34	269	160	128	129	75	18
令和2年	22,659	371	37	282	162	126	134	59	9
令和元年	25,025	351	35	246	143	122	98	61	16
平成30年	24,808	404	37	366	177	195	111	55	13

## 豊中市内救急告示医療機関

(令和5年4月現在)

番号	医療機関名	所在地	電話番号	救急診療科目
1	小西病院	曾根東町 2-9-14	06-6862-1701	外科
2	さわ病院	城山町 1-9-1	06-6865-1211	精神科（輪番制）
3	関西メディカル病院	新千里西町 1-1-7-2	06-6836-1199	内科、外科、整形外科
4	市立豊中病院	柴原町 4-14-1	06-6843-0101	内科、外科、小児科 （小児科は輪番制）
5	上田病院	稲津町 1-7-1	06-6151-3650	外科、整形外科
6	大阪脳神経外科病院	庄内宝町 2-6-23	06-6333-0080	脳神経外科
7	小曾根病院	豊南町東 2-6-4	06-6332-0135	精神科（輪番制）
8	豊中若葉会病院	東豊中町 5-13-18	06-6856-9550	内科、整形外科
9	豊中敬仁会病院	少路 1-8-12	06-6853-1700	消化器内科,消化器外科
10	千里山病院	東寺内町 5-25	06-6385-2395	内科

## 救急の高度化

世界最高の救命力を目指して救急業務の高度化を推進し、救急救命士に対する医師の指示体制、救急救命士を含む救急隊員に対する指導・助言体制の充実強化を図っています。

また、救急活動の医学的観点からの事後検証体制及び救急救命士が行う処置拡大等に迅速に対応できるよう、救急隊員の教育、訓練により、救急の高度化を推進しています。

令和4年12月には、救急隊員が自発的かつ主体的に課題解決に取り組むことで、救急隊員の問題提議力及び問題解決能力の向上を図ることを目的とし、救急環境改善をテーマに各救急隊がプレゼンテーション形式で「プレホスピタル・セミナー発表会」を行いました。



プレホスピタル・セミナー発表会の模様



救急隊への指導救命士研修

## 指導救命士

指導救命士は、消防における救急業務全般の質の向上を目的として、救急業務に携わる消防職員の教育指導を地域メディカルコントロールの医師の協力を得て実施します。また、指導救命士自らも病院前医療に必要な医学的な知識と技能の維持向上に努め、人命に携わる者として資質の向上を図っています。

## ❖ 救助

令和4年における救助出場件数は562件、救助活動件数は335件、救助人員は199人でした。豊中市は救助出場件数が553件で前年に比べ69件の増加、救助活動件数が330件で同29件の増加、救助人員は194人で同28人の増加となりました。能勢町は、救助出場件数が9件、救助活動件数が6件、救助人員は5人でした。

### 救助概況

(令和4年中)

区 分	令和4年			令和3年			増減数 (A)-(B)	増減率 (%)
	(A)	豊中市	能勢町	(B)	豊中市	能勢町		
<b>出場件数 (件)</b>	<b>562</b>	<b>553</b>	<b>9</b>	<b>506</b>	<b>484</b>	<b>22</b>	<b>56</b>	<b>11.1%</b>
火 災	28	27	1	28	24	4	0	0.0%
交通事故	25	21	4	27	22	5	▲2	▲7.4%
水難事故	1	1		6	4	2	▲5	▲83.3%
風水害等自然災害事故				1	1		▲1	▲100.0%
機械による事故	4	4		2	2		2	100.0%
建物等による事故	229	227	2	203	199	4	26	12.8%
ガス及び酸欠事故	2	1	1	4	4		▲2	▲50.0%
破裂事故								
その他の事故	273	272	1	235	228	7	38	16.2%
<b>活動件数 (件)</b>	<b>336</b>	<b>330</b>	<b>6</b>	<b>316</b>	<b>301</b>	<b>15</b>	<b>20</b>	<b>6.3%</b>
火 災	12	12		12	11	1	0	0.0%
交通事故	6	4	2	17	13	4	▲11	▲64.7%
水難事故	1	1		6	4	2	▲5	▲83.3%
風水害等自然災害事故				1	1		▲1	▲100.0%
機械による事故	2	2		1	1		1	100.0%
建物等による事故	223	221	2	195	191	4	28	14.4%
ガス及び酸欠事故	2	1	1	1	1		1	100.0%
破裂事故								
その他の事故	90	89	1	83	79	4	7	8.4%
<b>被救助者 (人)</b>	<b>199</b>	<b>194</b>	<b>5</b>	<b>178</b>	<b>166</b>	<b>12</b>	<b>21</b>	<b>11.8%</b>
火 災	7	7		5	5		2	40.0%
交通事故	6	4	2	17	13	4	▲11	▲64.7%
水難事故	1	1		5	3	2	▲4	▲80.0%
風水害等自然災害事故				2	2		▲2	▲100.0%
機械による事故	2	2		1	1		1	100.0%
建物等による事故	151	150	1	130	127	3	21	16.2%
ガス及び酸欠事故	2	1	1	1	1		1	100.0%
破裂事故								
その他の事故	30	29	1	17	14	3	13	76.5%

## 救助訓練

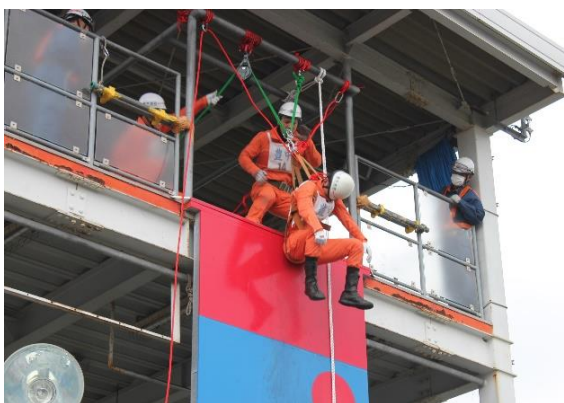
複雑多様化する各種災害に的確に対応し、人命救助を行うため、救助隊は、日頃から様々な災害を想定した救助訓練を行っています。北消防署能勢町分署では、山や崖などの急傾斜地における事故に備え、山岳救助訓練等を行い、救助技術の向上を図っています。



山岳救助訓練



ほふく救出訓練



引揚救助訓練



障害突破訓練

## 救助隊員の訓練実施状況

(令和4年中)

訓練種別	区分	実施延回数 (回)	実施延人数 (人)	1回当たり 参加人員 (人)	実施延時間 (時間)	1回当たり 実施時間 (時間)
体力練成		1,059	4,371	4.1	1,064	1.0
ロープ基本・応用訓練		550	2,253	4.0	901	1.6
検索・救助訓練		365	1,515	4.1	620	1.6
救助器具取扱訓練		775	3,208	4.1	1,275	1.6
救助事象想定訓練		238	968	4.0	338	1.4
その他の訓練		1,141	4,739	4.1	1,687	1.4
計		4,128	17,054	4.1	5,885	1.4



## 高度救助隊「HEART（ハート）」

高度救助隊は北消防署に配置され、市内の火災や交通事故等の災害に出場するとともに、放射線、生物・化学物質によるNBC災害にも対応します。

隊の愛称は「HEAVY RESCUE TEAM（ヘビー・レスキュー・チーム）、略称「HEART（ハート）」です。「ヘビー・レスキュー・チーム」は、救助隊の能力の国際格付けがライト・ミディアム・ヘビーとなっていることから、重度の災害に対応できる装備と能力を備えた救助隊を表し、略称「ハート」には、救い出す「生命（いのち）」、人命救助にかける「熱いハート」の意味が込められています。



高度救助隊「HEART」



高度救助隊「HEART」エンブレム

## 平成30年7月豪雨被災地への緊急消防援助隊の派遣

平成30年7月に西日本を中心とした大雨により多数の土砂災害等が発生し、本市消防局からは、緊急消防援助隊大阪府隊として、7月6日から、救助隊3隊14名、消火隊8隊35名、救急隊4隊12名、後方支援隊3隊8名の計18隊、延べ69名が出場し、広島県東広島市及び広島市安芸区・安芸郡方面において人命検索・救助活動及び救急活動を行いました。



東広島市及び安芸郡坂町における緊急消防援助隊の活動

## 国際消防救助隊（IRT）“愛ある手”

消防局では、平成 13 年 4 月 1 日から国際消防救助隊（略称“IRT - JF” 愛称“愛ある手”）に救助隊員 6 名を登録しており、消防庁長官の要請があれば直ちに海外の被災国に派遣し、救助活動を展開します。



国際消防救助隊登録隊員



IRT-JF エンブレム

## メキシコ地震に対する国際消防救助隊（IRT-JF）への隊員派遣

平成 29 年 9 月 20 日 3 時 14 分頃（日本時間）に発生したメキシコ地震災害に対して、日本政府が派遣した国際緊急援助隊・救助チーム（総員 72 名）の一員として、本市消防局は国際消防救助隊（IRT-JF）に登録している救助隊員 1 名を派遣しました。メキシコに派遣された国際消防救助隊は東京消防庁のほか 7 消防本部の救助隊員 17 名で構成され、9 月 21 日（日本時間）に出発し、現地に到着した後、直ちに活動を始め、同月 26 日に活動を終了するまで、首都メキシコシティ中心部の被災地 3 箇所において、検索・救助活動を実施しました。



メキシコ地震における国際緊急援助隊の活動

# 災害を未然に防ぐ

## ❖ 火災予防思想の普及

### 普及啓発

火災予防運動での各種イベントをはじめ、幼年消防クラブ、小・中学生を対象とした防火作品の募集等を実施し、火災予防の普及啓発、防火意識の高揚に努めています。

(令和4年度)

種 別	回数	摘 要
文化財防火デー	1	1月26日
春の火災予防運動	1	3月1日～3月7日
車両火災予防運動	1	3月1日～3月7日(春の火災予防運動期間中)
危険物安全月間	1	6月1日～6月30日(危険物安全週間を含む)
秋の火災予防運動	1	11月9日～11月15日
歳末火災予防運動	1	12月20日～12月31日
防火作品	1	応募数 幼年図画 176点、小・中学生図画 558点、 小・中学生習字 1,750点 合計 2,484点
印刷物等	随時	火災予防普及啓発用資材として、チラシ、ポスター等を作成し、 事業所、自治会に配布
防火広報	随時	春、秋、歳末火災予防運動期間中や気象状況等に応じて適宜車 両等で実施
住宅用火災警報器 設置対策広報	随時	チラシ、ケーブルテレビ、消防訓練、各種行事において実施

## ❖ 防火管理制度

防火管理者は、不特定多数の人(映画館、百貨店、ホテル等で収容人員が30人以上《ただし、自力避難困難者が入所する施設は10人以上》)又は、多数の人(学校、銀行、市役所等で収容人員が50人以上)が出入し、勤務し、居住する建造物に必要であり、消防計画の作成及び計画に基づく消火、通報及び避難訓練の実施、消防用設備等の点検整備、火気の使用又は取扱いに関する監督等、防火管理上必要な業務を行います。

防火管理者は、消防機関等の行う防火管理講習を受講すること等により資格が付与されます。豊中市内の防火管理講習の実施状況は次表のとおりです。

### 防火管理講習の実施状況

(令和4年度)

回	数	日	数	受 講 者 数
7回		14日		1,008人

※ 豊中市内の防火管理講習は、豊中防火安全協会が運営し、日本防火・防災協会が実施しています。



## ❖ 防火管理者

令和5年4月1日現在の豊中市の要防火管理者〔敷地単位で延べ面積に関係なく、  
 収容人員（10人、30人又は50人以上）による〕対象物数は2,787件、防火管理者選  
 任防火対象物数は2,693件、消防計画届出防火対象物数は2,654件となっています。

能勢町の要防火管理者対象物数は80件、防火管理者選任防火対象物数は78件、消  
 防計画届出防火対象物数は78件となっています。

（令和5年4月1日現在）

		選任が必要 となる収容 人員（人）	要防火管理者 防火対象物数		防火管理者 選任防火 対象物数		消防計画届出 防火対象物数	
			豊中市	能勢町	豊中市	能勢町	豊中市	能勢町
(一) 項	イ ロ	30	2	0	2	0	2	0
		30	112	10	111	10	110	10
(二) 項	イ ロ ハ ニ	30	0	0	0	0	0	0
		30	12	0	12	0	12	0
		30	0	0	0	0	0	0
		30	2	0	2	0	2	0
(三) 項	イ ロ	30	0	0	0	0	0	0
		30	108	6	104	6	102	6
(四) 項		30	183	6	175	5	178	5
(五) 項	イ ロ	30	17	5	17	5	17	5
		50	968	0	949	0	919	0
(六) 項	イ ロ ハ ニ	30	40	2	40	2	40	2
		10	128	7	126	7	126	7
		30	101	6	97	6	97	6
		30	26	1	25	1	25	1
(七) 項		50	91	2	85	2	86	2
(八) 項		50	4	1	4	1	4	1
(九) 項	イ ロ	30	0	0	0	0	0	0
		50	6	0	5	0	5	0
(十) 項		50	0	0	0	0	0	0
(十一) 項		50	46	4	45	4	45	4
(十二) 項	イ ロ	50	44	5	44	5	44	5
		50	0	0	0	0	0	0
(十三) 項	イ ロ	50	0	0	0	0	0	0
		50	0	0	0	0	0	0
(十四) 項		50	10	0	10	0	10	0
(十五) 項		50	122	12	115	12	115	12
(十六) 項	イ ロ	30	605	12	572	11	564	11
		50	156	1	149	1	147	1
(十六の二) 項		30	1	0	1	0	1	0
(十七) 項		50	3	0	3	0	3	0
計			2,787	80	2,693	78	2,654	78

## ❖ 防火対象物

令和5年4月1日現在の豊中市の防火対象物〔棟単位で延面積150㎡以上のもの。ただし、(16の2)、(17)、(18)項は除く。〕は11,302件、能勢町の防火対象物は308件となっています。

(令和5年4月1日現在)

用途		防火対象物の種類	防火対象物数	
			豊中市	能勢町
(一) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場 公会堂、集会場	3	0
	ロ		118	11
(二) 項	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの 遊技場又はダンスホール 性風俗関連特殊営業を営む店舗その他これに類するもの カラオケボックス、個室形態の業務を営む店舗で総務省令で定めるもの	0	0
	ロ		12	0
	ハニ		0	0
(三) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの 飲食店	0	0
	ロ		103	11
(四) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	251	11
(五) 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの 寄宿舎、下宿又は共同住宅	18	10
	ロ		5,576	9
(六) 項	イ	病院、診療所又は助産所 自力避難困難者が入所している社会福祉施設等 (六)項ロを除く社会福祉施設等 幼稚園、又は特別支援学校	106	4
	ロ		144	9
	ハ		153	12
	ニ		47	2
(七) 項		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校その他これらに類するもの	316	8
(八) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	1
(九) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0	0
	ロ		7	0
(十) 項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	10	0
(十一) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	112	36
(十二) 項	イ	工場又は作業場 映画スタジオ又はテレビスタジオ	960	50
	ロ		0	0
(十三) 項	イ	自動車車庫又は駐車場 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	386	0
	ロ		0	0
(十四) 項		倉庫	349	34
(十五) 項		前各号に該当しない事業場	727	55
(十六) 項	イ	複合用途防火対象物のうち、一部が特定防火対象物の用途であるもの イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	978	24
	ロ		890	19
(十六の二) 項		地下街	1	0
(十七) 項		重要文化財等の建造物	21	2
(十八) 項		延長50メートル以上のアーケード	7	0
計			11,302	308

## ❖ 中高層対象物

令和5年4月1日現在の豊中市内の地上4階以上の中高層対象物は、3,483棟あります。  
能勢町の地上4階以上の中高層対象物は、10棟あります。

(令和5年4月1日現在)

用途	階数	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上
		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階以上
(一)項	イ ロ	3	2			1								
(二)項	イ	3	1	1										
	ロ ハ ニ	1												
(三)項	イ ロ	3	1											
(四)項		6	1	1	2									
(五)項	イ	3	0	4	3	4				1				
	ロ	(1) 555 (3)	632	307	185	114	83	75	58	30	37	27	20	6
(六)項	イ	8	11	5	2		1							
	ロ ハ ニ	28 (1) 8 2	14 2	8		1								
(七)項		86	17	8	7	1								
(八)項		3												
(九)項	イ ロ													
(十)項														
(十一)項		6 (1)	1											
(十二)項	イ	38	13	7	1									
	ロ		(1)	0										
(十三)項	イ ロ	4	3	1										
(十四)項		22	6	2										
(十五)項		78 (1)	40	14	4	4		4	1	1			2	
(十六)項	イ	226 (1)	116	52	33	8	9	15	4	2	3	3	2	6
	ロ	176	109 (1)	42	19	9	6	7	1		1			
(十六の二)項														
(十七)項														
(十八)項														
計		1,259 (8)	969 (2)	452	256	142	99	101	64	34	40	31	24	12

( ) 内は、能勢町における数値 (内数) - 55 -

## ❖ 建築確認等の同意

建築物の新築、増築、改築、用途変更等について、許可、認可又は確認をする建築主事に対し、消防長又は消防署長は建築物の計画が、消防関係法令や火災予防条例などの防火の規定に適合するか否かを審査し、防火上支障がなければ同意します。

(令和4年度)

申請旨	同意件数	不同意件数	不同意の理由				総計
			構造	設備	避難	その他	
新築	245 (8)	0 (0)		0 (0)			245 (8)
増築	21 (6)						21 (6)
改築							
移転							
大規模修繕							
大規模模様替							
用途変更	4 (0)						4 (0)
その他							
合計	270 (14)						270 (14)

( ) 内は、能勢町における数値(内数)

## ❖ 消防用設備等の審査と検査

建築物に設置が義務付けられている消防用設備等については、工事着手前にその計画が消防法令の技術基準に適合しているかどうかを審査し、工事完了後に検査を行います。

### 消防用設備等設置状況

(令和5年4月1日現在)

区分	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備等	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	ガス漏れ火災警報設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯	消防用水備	排烟設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備	無線通信補助設備	計
豊中市	945	336	873	56	30	5,207	75	749	400	2,207	3,123	5,153	38	43	22	917	218	4	20,396
能勢町	33	15	4	4	3	205	4	2	39	57	14	168	2	0	1	1	0	0	552

## ❖ 危険物の規制

### 危険物安全対策

危険物は、その取扱い方法を誤ると大きな災害につながる恐れがあるため、危険物施設の許可や位置・構造・設備の検査のほか、危険物の性状ごとに安全な取扱いについて指導を行い、災害の発生防止に努めています。

### 危険物施設の現況

(令和5年4月1日現在)

区分	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	計
豊中市	5	57	2	14	60	0	20	1	49	4	45	257
能勢町	0	0	0	1	10	0	15	0	12	0	2	40
計	5	57	2	15	70	0	35	1	61	4	47	297

### 少量危険物等の貯蔵・取扱いの現況

(令和5年4月1日現在)

区分	少量危険物	指定可燃物	計
豊中市	430	48	478
能勢町	57	4	56
計	482	52	534



危険物施設の査察を行う消防職員

## ❖ 危険物保安監督者

消防法別表に定める危険物は、いずれも火災になりやすく、しかも消火が困難な物品であるため、一定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う危険物施設には、危険物保安監督者、危険物取扱者を置くことが義務づけられ、危険物の取扱作業に関して保安の監督をしなければなりません。

### 消防法に基づく届出

(令和4年度)

区 分	危険物保安監督者		危険物取扱責任者	
	選 任	解 任	選 任	解 任
豊 中 市	32	31	26	23
能 勢 町	2	2	5	5
計	34	33	31	28

区 分	品名・数量 数倍変 更	譲渡・ 引渡	廃 止	関係住 者の氏 名変 更	火気 使用 工事	軽微な 変 更	管理権 委 託	休 止	再使用	災 害 発 生	取 下 書
豊中市	2	3	6	107	2	93	31	2	0	5	1
能勢町	0	1	0	3	0	1	1	0	0	0	0
計	2	4	6	110	2	94	32	2	0	5	1

### 仮貯蔵・仮取扱い

(令和4年度)

区 分	仮 貯 蔵	仮 取 扱 い	計
豊 中 市	0	5	5
能 勢 町	0	0	0

### 危険物施設の設置許可・完成検査等

(令和4年度)

区 分	許 可		完 成 検 査		タンク 検 査	仮 使 用	廃 止 出 出
	設 置	変 更	設 置	変 更			
製 造 所 等 の 別							
製 造 所		11(0)		10(0)		8(0)	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2(0)	1(0)	2(0)		2(0)	
	屋 外 タンク貯蔵所						
	屋 内 タンク貯蔵所						
	地 下 タンク貯蔵所	3(0)	1(0)	3(0)		2(0)	3(0)
	簡 易 タンク貯蔵所						
	移 動 タンク貯蔵所	1(0)		2(0)			6(0)
取 扱 所	屋 外 貯 蔵 所						
	給 油 取 扱 所		16(0)		15(0)	14(0)	2(0)
	販 売 取 扱 所						
一 般 取 扱 所		2(0)	1(0)	2(0)		1(0)	1(0)
他 市 設 置 タンク					56(0)		
計	1(0)	34(0)	5(0)	32(0)	56(0)	27(0)	12(0)

( ) 内は、能勢町における数値 (内数)

## ❖ 保安3法の規制

### 保安3法の安全対策

消防局では、「火薬類取締法」「高圧ガス保安法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」（保安3法）に基づき、各施設の状況に応じた安全な取扱いについて指導を行い、災害の発生防止に努めています。

### 保安3法施設の現況（令和5年4月1日現在）

豊 中 市	234 施設
能 勢 町	35 施設
計	269 施設



高圧ガス施設

### 火薬類取締法施設（令和5年4月1日現在）

種 別	件 数
火 薬 庫	15 (15)
庫 外 貯 蔵 庫	4 (1)
販 売 事 業 者	4 (0)
計	23 (16)

（ ）内は、能勢町における数値（内数）

### 高圧ガス保安法施設

（令和5年4月1日現在）

種 別	件 数
高 圧 ガ ス 製 造 者（一 種）	7(0)
高 圧 ガ ス 製 造 者（二 種）	32(1)
高 圧 ガ ス 製 造 者（一 種 冷 凍）	8(0)
高 圧 ガ ス 製 造 者（二 種 冷 凍）	52(0)
高 圧 ガ ス 貯 蔵 所（一 種）	3(0)
高 圧 ガ ス 貯 蔵 所（二 種）	24(2)
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 事 業 所	5(0)
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 者	71(3)
容 器 検 査 所	2(0)
計	204(6)

（ ）内は、能勢町における数値（内数）

### 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施設（令和5年4月1日現在）

液 化 石 油 ガ ス 販 売 事 業 者	12 (4)
液 化 石 油 ガ ス 保 安 機 関	11 (4)
特 定 液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 事 業 者	18 (5)
液 化 石 油 ガ ス 特 定 供 給 設 備	1 (0)
計	42(13)

（ ）内は、能勢町における数値（内数）

## ❖ 保安3法施設の設置許可・完成検査等

消防局では、保安3法施設の設置許可、完成検査等を次の各表のとおり実施しました。

### 火薬類取締法

(令和4年度)

区 分	許 可	認 可	指 示	保安検査	届 出
火 薬 庫	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	46 (44)
庫 外 貯 蔵 所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
販 売 事 業 所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
譲 受 ・ 譲 渡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
消 費 者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	50 (44)

( ) 内は、能勢町における数値 (内数)

### 高圧ガス保安法

(令和4年度)

区 分	許可(登録)	完成検査	保安検査	届 出
高圧ガス製造者 (一種)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	18 (0)
高圧ガス製造者 (二種)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (1)
高圧ガス製造者 (一種冷凍)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)
高圧ガス製造者 (二種冷凍)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
高圧ガス貯蔵所 (一種)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
高圧ガス貯蔵所 (二種)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (2)
特定高圧ガス消費事業者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
高圧ガス販売事業者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (0)
容 器 検 査 所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
計	4 (0)	4 (0)	1 (0)	72 (3)

( ) 内は、能勢町における数値 (内数)

### 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律

(令和4年度)

区 分	認 定	認 可	完成検査	届 出
液化石油ガス販売事業者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (3)
液化石油ガス保安機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (3)
液化石油ガス特定供給設備	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特定液化石油ガス設備工事事業者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)
計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (6)

( ) 内は、能勢町における数値 (内数)



## ❖ 査察（立入検査）

消防局・消防署では、局、各署所に配置されている査察推進員を中心に、防火対象物の消防用設備等の設置及び維持管理状況、防火管理体制の状況、危険物施設や保安3法施設の維持管理の状況などについて査察（立入検査）を行い、火災予防上必要があると認められる場合や、火災が発生したとき人命に危険があると認められる場合には、所有者等に不備事項の是正を指導し、火災の未然防止に努めています。

### 防火対象物の立入検査

（令和4年度）

	防 火 対 象 物	検 査 延 回 数	検 査 延 人 数
豊 中 市	11,302	2,487	5,381
能 勢 町	308	90	268
合 計	11,610	2,577	5,649

### 危険物施設の立入検査

（令和4年度）

	検 査 回 数	検 査 延 人 員
豊 中 市	279	574
能 勢 町	38	83
合 計	317	657

### 火薬類取締法施設の立入検査

（令和4年度）

	検 査 回 数	検 査 延 人 員
豊 中 市	5	10
能 勢 町	15	45
合 計	20	55

### 高圧ガス保安法施設の立入検査

（令和4年度）

	検 査 回 数	検 査 延 人 員
豊 中 市	50	100
能 勢 町	2	4
合 計	52	104

### 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施設の立入検査

（令和4年度）

	検 査 回 数	検 査 延 人 員
豊 中 市	15	30
能 勢 町	7	14
合 計	22	44



高圧ガス施設の査察

## 査察推進員の配置

令和2年度から、消防局、3消防署、6出張所及び能勢町分署に計34名の査察推進員を配置し、査察推進体制の強化により防火対象物の防火安全の確保に努め、安心安全なまちづくりを目指しています。査察推進員は、原則として「予防技術資格者」に認定された職員により構成され、査察の中核を担うとともに、所属職員の査察技術を向上させるため、査察に関する指導助言を行います。

予防技術資格者に認定された職員には、「予防技術資格者章」のワッペンが貸与され、予防に関する専門的な知識を有することを証しています。ワッペンには、防火査察・消防用設備等・危険物の3つの資格区分取得数に応じて、金・銀・白の3種類があります。



資格者章の交付を受ける消防職員



予防技術資格者章

## 予防技術資格者認定職員数

(令和5年4月1日現在)

資格区分	職員数
防火査察	74人
消防用設備等	17人
危険物	9人

## ❖ 火災予防条例による規制

火災予防条例の規定に基づき、火を使用する設備の位置、構造また少量危険物等の貯蔵・取り扱いの基準をはじめ、火災予防上必要な指導を行い、火災の未然防止に努めています。

### 火災予防条例に基づく届出等受理状況

(令和4年度)

区 分	件 数	
	豊中市	能勢町
喫煙・裸火の使用・危険物の持込み	58	6
防火対象物使用開始	323	2
炉・厨房設備・温風暖房機等設置、変更	23	3
サウナ設備設置、変更	0	0
発電・変電・蓄電池設備設置、変更	71	5
ネオン管灯設備設置、変更	0	0
水素ガスを充てんする気球の設置	0	0
催物開催	1	0
工事現場における事務所の設置	36	0
少量危険物貯蔵・取扱い、変更、廃止	49	4
指定可燃物貯蔵・取扱い、変更、廃止	8	0
少量危険物等タンク水張等検査	0	0
露店等の開設	83	1
指定洞道	1	0
計	653	21

## ❖ 消防訓練指導状況

消防法では、一定規模以上の防火対象物の管理について権限を有する者は、防火管理者を定め、消防計画を作成し、当該消防計画に基づく消火、通報及び避難訓練を行うことが定められています。

火災等の災害に的確に対応するため、防火管理者とともに消火や避難等の訓練を行っています。

(令和4年度)

区 分	消火訓練	避難訓練	通報訓練	総合訓練	計
訓練回数	348 (4)	499 (19)	111 (6)	1,379 (82)	2,337 (111)
参加人員	10,712 (36)	33,157 (759)	5,574 (94)	53,480 (2980)	102,923 (3,869)
指導消防職員数	16 (0)	11 (0)	0 (0)	179 (14)	206 (14)

( ) 内は、能勢町における数値 (内数)

## ❖ 幼児や児童に対する防火・防災教育

消防局では、幼児や児童に対し、火災や地震の怖さの理解、災害時の身の安全の確保、初期消火や応急救護など、年齢に応じた防火・防災意識の普及啓発を行っています。

### 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼稚園・こども園ごとに組織され、令和5年4月1日現在、39クラブ、6,726名の園児が、各種行事等を通して防火・防災についての大切さを学んでいます。

幼年消防クラブでは、次代を担う健全な子どもを通じて、火災予防思想の普及高揚を図るため、消防知識の習得、施設見学などの活動を自主的に行っています。

消防署では、資料の提供、指導者の育成など側面から指導助言をしています。

### 幼年消防クラブの現況

(令和5年4月1日現在)

	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	結 成 年 月 日
1	熊野田幼稚園ぞうさん消防クラブ	273	S59. 5. 15
2	東邦幼稚園幼年消防クラブ	138	S61. 6. 19
3	豊中愛光幼稚園消防クラブ	68	S62. 5. 26
4	くりのみ幼稚園幼年消防クラブ	236	S62. 7. 8
5	庄内こどもの社幼稚園幼年消防クラブ	187	S63. 5. 19
6	豊中稲荷学園宮山幼稚園幼年消防クラブ	265	S63. 5. 29
7	ほうなん子ども園ファイヤーキッズ幼年消防クラブ	105	H元. 5. 31
8	緑ヶ丘幼稚園幼年消防クラブ	185	H元. 6. 23
9	あけぼの幼年消防クラブ	270	H2. 6. 14
10	超光寺幼稚園幼年消防クラブ	58	H3. 5. 17
11	ラ・サンテ幼稚園幼年消防クラブ	117	H3. 5. 29
12	おぞね幼稚園幼年消防クラブ	136	H4. 6. 1
13	蛭池文化幼稚園消防クラブ	177	H4. 6. 16
14	服部幼稚園ぞうさん幼年消防クラブ	167	H5. 5. 28
15	仏光幼稚園幼年消防クラブ	131	H5. 6. 28
16	こうづしま幼稚園幼年消防クラブ	149	H6. 5. 31
17	春日荘聖マリア幼稚園消防クラブ	77	H6. 6. 14
18	東豊中幼稚園消防クラブ	351	H7. 5. 19
19	ほづみあそびまなびの森ファイヤークラブ	88	H7. 6. 2
20	とよなか文化幼稚園幼年消防クラブ	201	H8. 5. 14
21	おんがくようちえんしょうぼうクラブ	244	H8. 5. 23
22	豊中みどりようちえん幼年しょうぼうクラブ	180	H9. 5. 22
23	庄本幼稚園ドリームキッズ幼年消防クラブ	62	H9. 6. 24
24	とねやまようねんしょうぼうクラブ	88	H10. 5. 22
25	しんどう幼年消防クラブ	289	H10. 6. 2
26	アソカ・ファイヤーキッズクラブ	106	H11. 5. 17
27	てしまこども園幼年消防クラブ	140	H11. 6. 11
28	しんでん幼年消防クラブ	146	H12. 5. 26
29	せんりひじり幼年消防クラブ	371	H12. 6. 22
30	箕面自由学園幼稚園幼年消防クラブ	224	H13. 6. 8
31	服部みどり幼稚園幼年消防クラブ	203	H13. 6. 14

32	のばたけこども園幼年消防クラブ	145	H14. 6. 13
33	てらうちこども園幼年消防クラブ	97	H14. 6. 13
34	ゆたかこども園幼年消防クラブ	160	H14. 6. 13
35	豊中幼稚園幼年消防クラブ	113	H15. 5. 22
36	曾根幼稚園幼年消防クラブ	95	H15. 6. 3
37	梅花幼稚園小梅組幼年消防クラブ	135	H20. 6. 3
38	追手門学院幼稚園幼年消防クラブ「フォー」	337	H20. 6. 20
39	みくま幼稚園幼年消防クラブ	212	H22. 6. 21
	合 計	6,726	



園児への防火・防災教育の様様

### 少年消防クラブ

各小学校区に設置されている「地域子ども教室」で組織され、令和5年4月1日現在、3クラブ、1,548名の児童が、防火・防災に関する知識及び技能の習得など、地域の防火・防災力の向上にむけて活発な活動を行っています。



水消火器による初期消火訓練の様様

### 少年消防クラブの現況

(令和5年4月1日現在)

	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	結 成 年 月 日
1	とねやま地域子ども教室少年消防クラブ	730	H 25. 9. 7
2	みなさくこども教室少年消防クラブ	818	H 25. 10. 1
3	くまっこ遊び広場少年消防クラブ	休会中	H 25. 12. 1
	計	1,548	

## こども消防隊

令和5年の消防出初式において、30名の市内在住・在園・在学の幼児や児童たちが、子ども用の現場外套や制服等を着用して入場行進を行いました。

行進に参加した子どもたちだけでなく、ご家族や保護者の方々に対しても、広く火災予防に関する啓発を行うことができました。



消防出初式における行進の様様

## ❖ 地域防災力の育成

### 女性防火クラブ

我が家の防火管理者・我が家の救急救命士を目標に組織され、令和5年4月1日現在、35クラブ、2,602名のクラブ員が防火に関する知識や技術の習得、応急手当の訓練など、それぞれの家庭・地域で活発な活動を行っています。

令和4年12月1日には、16名の女性防火クラブ員が集まり、大阪市立阿倍野防災センターにおいて合同研修会を実施しました。研修会では、消火器の取扱訓練や地震体験を行い、防火防災意識の向上に努めました。



大阪市立阿倍野防災センターにおける研修会の様様

### 女性防火クラブの現況

(令和5年4月1日現在)

	ク	ラ	ブ	名	ク	ラ	ブ	員	数	結	成	年	月	日	
1	熊	野	田	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ			
									108	H	5.	4.	8		
2	刀	根	山	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ			
									休	会	中	H	5.	4.	8
3	箕	輪	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				
									317	H	5.	4.	8		
4	庄	内	女	性	防	火	ク	ラ	ブ						
									110	H	5.	4.	8		
5	庄	内	南	女	性	防	火	ク	ラ	ブ					
									174	H	5.	4.	8		
6	南	桜	塚	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ			
									138	H	6.	4.	14		
7	寺	内	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				
									休	会	中	H	6.	4.	14
8	緑	地	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				
									休	会	中	H	6.	4.	14
9	千	成	女	性	防	火	ク	ラ	ブ						
									137	H	6.	4.	14		
10	豊	島	地	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				
									74	H	6.	4.	14		
11	豊	島	北	女	性	防	火	ク	ラ	ブ					
									休	会	中	H	6.	4.	14
12	桜	塚	校	区	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				
									177	H	7.	7.	7		



13	原田校区女性防火クラブ	休会中	H 7. 7. 7
14	東豊台校区女性防火クラブ	37	H 7. 7. 7
15	島田校区女性防火クラブ	36	H 7. 7. 7
16	小曾根校区女性防火クラブ	149	H 7. 7. 7
17	中豊島校区女性防火クラブ	休会中	H 7. 7. 7
18	庄内西女性防火クラブ	229	H 8. 7. 7
19	上野校区女性防火クラブ	357	H 9. 5. 28
20	豊島西女性防火クラブ	83	H 9. 7. 6
21	豊南女性防火クラブ	33	H 10. 2. 1
22	若北女性防火クラブ	休会中	H 10. 5. 17
23	北緑丘校区女性防火クラブ	休会中	H 10. 10. 24
24	桜井谷女性防火クラブ	156	H 11. 10. 18
25	野畑女性防火クラブ	50	H 13. 3. 25
26	南町女性防火クラブ	33	H 13. 9. 2
27	大池女性防火クラブ	26	H 14. 11. 1
28	上新田女性防火クラブ	52	H 20. 4. 29
29	克明校区女性防火クラブ	24	H 21. 11. 15
30	野田校区女性防火クラブ	27	H 22. 7. 24
31	高川女性防火クラブ	24	H 23. 11. 27
32	蛭池女性防火クラブ	10	H 25. 4. 24
33	北丘校区女性防火クラブ	12	H 25. 5. 18
34	西丘校区女性防火クラブ	9	H 26. 3. 28
35	東泉丘校区女性防火クラブ	20	H 27. 11. 29
	計	2,602	

## 主な活動実績

(令和4年度)

実施年月日	活動内容
令和4年5月16日～17日	住宅用火災警報器設置状況調査
令和4年12月1日	女性防火クラブ合同研修会

## 自主防災組織の訓練

地震や風水害等、防災関係機関の対応力を上まわる大規模な災害が発生した時には、地域住民による初期消火や救出救護活動が不可欠です。地域防災力の向上のため、定期的に自主防災組織とともに消防防災訓練を実施しています。令和5年4月1日現在、市内で162組織が活動を行っています。



自主防災組織の訓練

## 自主防災組織の訓練指導状況

(令和4年度)

区分	消火訓練	救急訓練	総合訓練	その他	計
指導回数	5回	1回	21回	83回	110回
参加人員	275人	45人	77人	3,537人	3,934人

## 消防防災協力事業所登録制度

消防防災協力事業所登録制度とは、地震などの大規模災害発生時において、消防力では対応できない場合に、事業所の自主的な判断により保有する人員・資機材等を活用して人命救助活動や消火活動に協力していただくことを目的としています。令和5年4月1日現在、市内308の事業所が登録されています。

## 消防防災協力事業所登録状況

(令和5年4月1日現在)

事業所	人員
308事業所	9,641名

## 消防防災協力事業所等訓練指導状況

(令和4年度)

研修名	参加事業所数	参加人員
合同研修会	61事業所	104名
防災研修会	39事業所	59名
各事業所向け訓練	2事業所	10名
合計	102事業所	173名



消防防災協力事業所合同研修会



消防防災協力事業所登録証・表示マーク

## ❖ 消防音楽隊

豊中市消防音楽隊は、昭和 52 年（1977 年）4 月、豊中中央ライオンズクラブから寄贈を受けた楽器及び制服一式をもとに発足しました。

音楽隊員は、令和 5 年 4 月 1 日現在、火災や救急などの災害に対応する交替制勤務の職員や、予防などの事務に携わる毎日勤務の職員計 20 名と、自分の職業を持ちながらも、郷土愛護と奉仕の精神のもと、「地域の安全は自分たちで守る」を合言葉に集まった消防団員 11 名の合計 31 名で構成されています。

### 沿 革

昭和 50 年 4 月 1 日	「豊消音楽クラブ」発足（クラブ員 22 名）
昭和 51 年 5 月	豊中中央ライオンズクラブから楽器一式寄贈
昭和 52 年 4 月 1 日	「豊中市消防音楽隊」と改称 「豊中市消防音楽隊設置規程」を公布 北消防署の所管・全隊員を桜井谷出張所に配置 初代隊長 中津勝美就任（隊員 21 名）
昭和 52 年 7 月 25 日	常任講師 岨秀樹氏委嘱
昭和 54 年 3 月 11 日	「豊中市消防の歌」を発表
昭和 58 年 10 月 20 日	第 2 代隊長 明原茂雄就任（隊員 26 名）
平成 3 年 4 月 1 日	常任講師 井町昭氏委嘱
平成 5 年 3 月 5 日	楽器搬送車導入
平成 5 年 4 月 1 日	隊員を蛸池・東泉丘の 2 出張所両部に配置 常任講師 守山俊吾氏委嘱
平成 6 年 3 月 19 日	第 1 回全国消防音楽隊マチング・フェスティバル（京都市）に参加
平成 9 年 4 月 1 日	第 3 代隊長 脇康清就任（隊員 28 名）
平成 10 年 2 月 21 日	20 周年記念演奏会開催（アクア文化ホール）
平成 10 年 7 月 1 日	女性消防団員（10 名）音楽隊活動に参加
平成 10 年 7 月 3 日	豊中市消防音楽隊設置規程を改正（消防本部に設置・消防団員を任命）
平成 12 年 8 月 1 日	豊中市消防音楽隊出演要綱を施行
平成 13 年 4 月 1 日	第 4 代隊長 辻幸雄就任（職員 21 名・団員 7 名） 三交替制勤務施行により隊員(職員)を全署所(第 1 部)に配置
平成 15 年 4 月 1 日	第 5 代隊長 小山泰正就任（職員 19 名・団員 13 名）
平成 15 年 6 月 7 日	第 1 回ウイークエンド・ミニコンサート開催（服部緑地）
平成 16 年 4 月 1 日	第 6 代隊長 阿草一郎就任（職員 22 名・団員 12 名）
平成 17 年 4 月 1 日	第 7 代隊長 菅野喜三郎就任（職員 19 名・団員 12 名）
平成 18 年 2 月 12 日	北摂 4 市消防音楽隊合同演奏会開催（豊中市市民会館大ホール）
平成 18 年 4 月 1 日	第 8 代隊長 阿草一郎就任（職員 20 名・団員 11 名） 消防音楽隊設置規程改正（副隊長新設）
平成 19 年 4 月 1 日	第 9 代隊長 小東史明就任（職員 21 名・団員 11 名）

豊中市消防音楽隊出演要綱を改正

平成 20 年 2 月 17 日	30 周年記念演奏会開催（豊中市民会館大ホール）
平成 20 年 4 月 1 日	第 10 代隊長 岩間東二就任（職員 22 名・団員 11 名）
平成 22 年 2 月 21 日	北摂 4 市消防音楽隊合同演奏会開催（豊中市民会館大ホール）
平成 22 年 10 月 10 日	第 6 回全国消防音楽隊フェスティバル（奈良市）に参加
平成 23 年 4 月 1 日	第 11 代隊長 鈴木猛史就任（職員 22 名・団員 10 名）
平成 23 年 8 月 20 日	東日本大震災応援きやらばん隊として被災地で演奏
平成 24 年 2 月 26 日	第 1 回このまちいいなコンサート開催（アクア文化ホール）
平成 25 年 2 月 17 日	第 2 回このまちいいなコンサート開催（アクア文化ホール）
平成 26 年 2 月 9 日	第 3 回このまちいいなコンサート開催（アクア文化ホール）
平成 26 年 4 月 1 日	第 12 代隊長 片岡邦恭就任（職員 27 名・団員 11 名）
平成 29 年 3 月 18・19 日	第 7 回全国消防音楽隊フェスティバル開催（大阪府営服部緑地公園、千里中央駅、豊中市立文化芸術センター）
平成 30 年 4 月 1 日	第 13 代隊長 乾文雄就任（職員 25 名・団員 9 名）
平成 31 年 4 月 1 日	第 14 代隊長 寺岡洋就任（職員 24 名・団員 11 名）
令和 4 年 4 月 1 日	第 15 代隊長 高橋信一就任（職員 23 名・団員 12 名）
令和 5 年 3 月 12 日	音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル開催（豊中市立文化芸術センター）



音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル  
～豊中市消防音楽隊 45 周年記念演奏会～

## 出演内容

(令和4年度)

No	日程	行事名	演奏場所	聴衆者数	参加 隊員数
1	4月 9日(土)	交通安全フェア in とよなか	せんちゅうパル南広場	200人	28人
2	5月 9日(月)	新田小学校芸術鑑賞会	市立新田南小学校	1,000人	21人
3	5月 12日(木)	豊中中央ライオンズクラブ CN60周年記念式典	千里阪急ホテル	120人	24人
4	6月 23日(木)	第62回老人クラブ大会	アクア文化ホール	200人	25人
5	7月 2日(土)	第37回大阪の消防大賞	大東市立総合文化センター	100人	10人
6	9月 10日(土)	救急の日コンサート	せんちゅうパル南広場	200人	28人
7	9月 18日(日)	豊中南部フェスティバル 2022	野田中央公園	200人	28人
8	9月 28日(水)	第112回初任教育修業式実科査閲	大阪府立消防学校	700人	5人
9	10月 23日(日)	幸せを運ぶピアノコンサート ～豊中の魅力と触れ合おう!～	ふれあい緑地芝生広場 2	600人	29人
10	11月 6日(日)	野田公民分館主催文化祭	市立野田小学校	100人	20人
11	11月 12日(土)	新千里消防署開放デー	新千里消防署	500人	29人
12	11月 12日(土)	吹田市豊中市消防音楽隊合同演奏会 ～火災予防フェスティバル～	EXPOCITY 空の広場	1,000人	27人
13	11月 20日(日)	能勢町分署開放デー	北消防署能勢町分署	100人	23人
14	11月 23日(水)	第30回豊中ボランティアフェスティバル	服部緑地野外音楽堂	200人	25人
15	12月 23日(金)	豊中中央ライオンズクラブ クリスマス家族例会	千里阪急ホテル	100人	26人
16	1月 8日(日)	消防出初式	大門公園	3,200人	23人
17	3月 5日(日)	火災予防フェスタ	せんちゅうパル南広場	200人	29人
18	3月 9日(木)	消防記念日表彰式	消防局	70人	19人
19	3月 12日(日)	音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル	市立文化芸術センター 大ホール	1,500人	31人
20	3月 28日(火)	第113回初任教育修業式実科査閲	大阪府立消防学校	700人	2人
合 計				10,990人	452人

## 隊員構成

(令和5年4月1日現在)

職名・楽器名	消 防 吏 員							消 防 団 員				合計
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	部長	班長	団員	小計	
隊長	1						1					1
副隊長		(1)					(1)					(1)
楽長			(1)				(1)					(1)
副楽長			(2)				(2)					(2)
指揮者				(1)			(1)					(1)
フルート												0
オーボエ								1			1	1
クラリネット		1	2	1		1	5			1	1	6
テナーサクソ		1					1	(1)				1
アルトサクソ			1				1			2	2	3
バリトンサクソ			1				1					1
トランペット		1		1		1	3		1	1	2	5
ホルン			1		1		2			(1)		2
トロンボーン			1	1	2		4			1	1	5
ユーフォニウム										1	1	1
チューバ					1		1			1	1	2
パーカッション			1				1			2	2	3
合計	1	3	7	3	4	2	20	1	1	9	11	31

( ) は各奏者と兼任を示します。



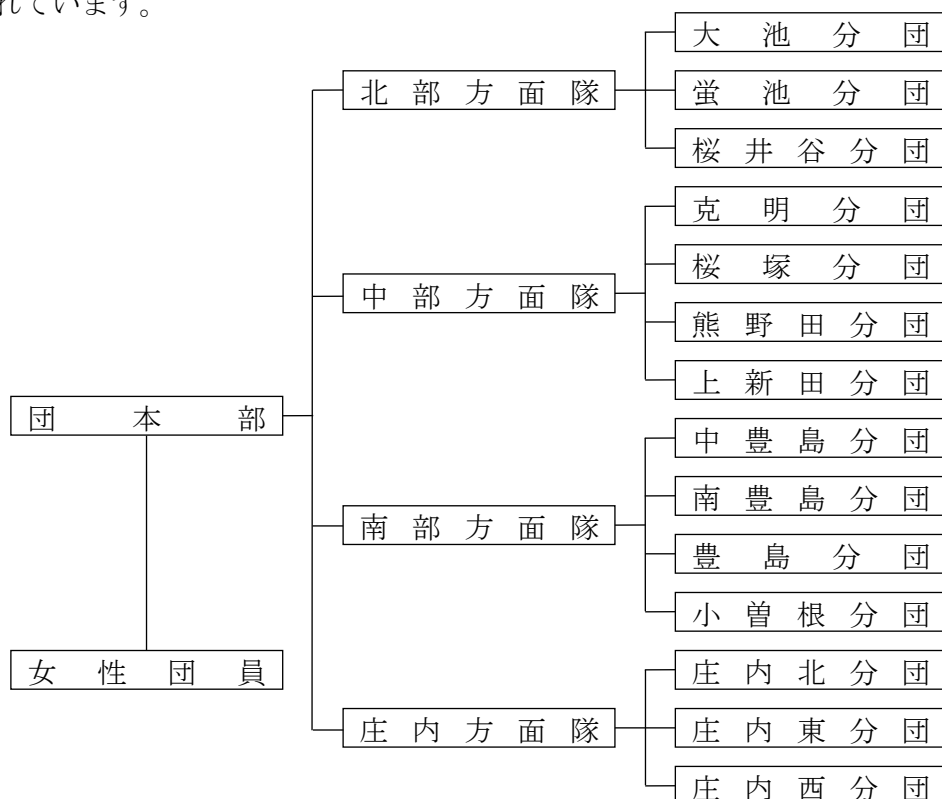
# 消 防 団

消防団は、郷土愛護と社会奉仕の精神に支えられ、火災をはじめとする各種災害の防除に従事し、地域の安全に寄与している団体であり、住民組織でもあります。

消防団員は、一定の職業をもちながら消防防災活動に従事し、災害発生時に出動し地域住民の生命と財産を保護しています。

## ❖ 組織

消防団の組織は、団本部の下に、北部・中部・南部・庄内の4方面隊14分団が組織されています。





人員・機械

(令和5年4月1日現在)

区 分	人 員									機 械			携 帯 無 線	車 載 無 線
	定 員	実 員	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	普通消防ポンプ自動車	その他の車両	小型動力ポンプ		
計	575	490 (13)	1	4	14	15	66 (1)	76 (2)	314 (10)	18	2	22	137	18
団本部		18 (13)	1	4			1 (1)	2 (2)	10 (10)		2	1	12	
克分 明 分 団	35	19			1	1	3	4	10	1		1	7	1
桜分 塚 分 団	35	24			1	1	3	4	15	1		1	7	1
大分 池 分 団	35	22			1	1	4	4	12	1		1	7	1
蛭分 池 分 団	35	32			1	1	4	5	21	1		1	7	1
桜井谷 分 団	40	36			1	1	5	6	23	1		2	9	1
熊野田 分 団	35	33			1	1	5	5	21	1		1	7	1
上新田 分 団	35	27			1	1	3	4	18	1		1	7	1
中豊島 分 団	50	25			1	1	3	4	16	2		1	10	2
南豊島 分 団	32	33			1	1	5	5	21	2		2	12	2
豊島 分 団	33	35			1	1	5	6	22	1		3	11	1
小曾根 分 団	60	49			1	2	6	7	33	1		5	16	1
庄内北 分 団	50	43			1	1	6	6	29	2		1	10	2
庄内東 分 団	50	51			1	1	7	7	35	1		1	7	1
庄内西 分 団	50	43			1	1	6	7	28	2			8	2

( ) 内は女性消防団員数

### 階級別団員数

(令和5年4月1日現在)

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	4	14	15	66	76	399	575
実員	1	4	14	15	66(1)	76(2)	314(10)	490(13)

( )内は女性消防団員数

### 年齢別・階級別団員数

(令和5年4月1日現在)

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20才未満							1	1
20～24							14	14
25～29				1		2	23	26
30～34						4	17	21
35～39					5	5	23	33
40～44			1	1	6	14	52	74
45～49			1	3	14	17	53	88
50～54		1	5	5	29	20	35	87
55～59		1	3	4	16	5	37	66
60～64		2	4	1	3	5	33	47
65才以上	1				3	2	26	32
計	1	4	14	15	66	76	314	490
平均年齢	66.0	56.9	53.1	48.9	50.5	49.3	47.2	47.2

### 勤続年数

(令和5年4月1日現在)

階級 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
5年未満						4	82	86
5～9年			1	2	7	28	63	101
10～14年			2	2	17	20	39	80
15～19年			2	4	20	10	38	74
20～24年		2	4	5	10	9	42	70
25～29年		3	2	1	7	1	24	38
30年以上	1	1	3	1	5	4	26	41
計	1	4	14	15	66	76	314	490
平均年数	39.0	29.8	22.9	19.8	17.9	12.8	13.1	14.3

## 異動

(令和4年度)

区 分	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 長	部 長	班 長	団 員
入 団	25							25
退 団	38		1			3	1	33

## 教養訓練

(令和4年度)

種 別	回 数	出 動 人 員
ポンプ操法訓練	11	424
幹部教養訓練	11	496
歳末警戒	3	576
地水利調査	1	285
規律訓練	3	258
消防出初式	1	195
豊能地区支部総合訓練大会	1	60
大阪府消防大会	1	4
大阪府消防表彰式	1	1
豊能地区支部教養訓練	6	57
資機材等取扱訓練	243	1942
防災訓練	0	0
消防団フェア	0	0
予防広報活動	57	549
幹部研修	30	37
合 計	369	4884

## 災害活動

(令和4年中)

区 分	件 数	延べ出場台数	延べ出場人員
火災出場	40	89	630
警備等	20	48	323
計	60	137	953

## 警戒活動

(令和4年度)

区 分	日 数	時 間	人 員
歳末警戒	3	12	576

## ❖ 消防団員の処遇

### 報酬

豊中市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例（昭和 41 年条例第 20 号）に基づき、報酬を支給しています。

（令和 5 年 4 月 1 日現在）

区 分	月 額 報 酬 ( 円 )	年 額 ( 円 )
団 長	11,600	139,200
副 団 長	8,950	107,400
分 団 長	7,150	85,800
副 分 団 長	6,950	83,400
部 長	5,950	71,400
班 長 及 び 団 員	5,750	69,000

※ 消防用機動車の整備並びに運転に従事する団員には、月額 1,800 円を団員報酬に加給しています。

### 出勤報酬

消防団員が災害、警戒、訓練等の職務に従事する場合には、豊中市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例（昭和 41 年条例第 20 号）に基づき出勤報酬を下記区分に応じて支給しています。

- (1) 大規模災害の場合 1 日につき 8,000 円（当該職務に従事する時間が 4 時間未満の場合にあつては 4,000 円）
- (2) 前号に掲げる場合以外の場合 1 回につき 3,500 円

### 退職報償金

消防団員が 5 年以上勤務して退職した場合、豊中市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例（昭和 36 年条例第 25 号）に基づき、20 万円から 97 万 9 千円の範囲内で退職報償金を支給しています。なお、支払責任の共済制度である消防団員等公務災害補償等共済基金に加入しています。

### 表彰

表彰には、国が行う叙位・叙勲・褒章のほかに「消防表彰規程」に基づく各種表彰があります。このほか大阪府、日本消防協会、大阪府消防協会においても毎年定期的に表彰を行っています。消防団及び消防団員に対する表彰は精神的な報酬とも言えます。

### 個人表彰

（令和 4 年度）

区 分	摘 要	受 章 者 数
消 防 庁 長 官	勤 続 功 労 章	3
大 阪 府 知 事	消 防 勤 続 功 労 章	3

	消 防 功 勞 章	8
日 本 消 防 協 會 賞	功 績 章	0
	精 績 章	1
	勤 続 章	6
大 阪 府 消 防 協 會 長	功 績 章	1
	永 年 勤 続 章	8
	勤 続 章	15
	勤 功 章	14
	精 勤 章	15
豊 能 地 区 支 部 長	優 良 団 員 表 彰	4
豊 中 市 消 防 団 長	優 良 団 員 表 彰	14

## 自治体消防発足後の主要事項

### 昭和23年

- ◇消防組織法（昭和22年法律第226号）の施行により消防本部・消防署発足
- ◇消防団令（勅令第185号）の廃止により消防組織法に基づく消防団発足（克明・桜塚・大池・麻田・桜井谷・熊野田・中豊島・南豊島・小曾根の9分団）
- ◇初代消防長兼消防署長 別宮 誉就任
- ◇消防団長 小寺憲一（昭和22年12月1日就任）
- ◇池田市・庄内町及び箕面町外2か村消防組合と消防相互応援について協定する。
- ◇消防職員33名・消防団員450名
- ◇普通消防ポンプ自動車9台・水槽付消防ポンプ自動車1台・手引動力ポンプ14台

### 昭和24年

- ◇豊南車庫（豊南町東5-1）開設、消防職員6名、普通消防ポンプ自動車1台配置
- ◇市場出火。同市場462㎡、店舗付住宅3棟17戸498㎡焼失
- ◇火災17件

### 昭和25年

- ◇服部出張所（服部本町4丁目1番7号）開設、消防職員13名、普通消防ポンプ自動車2台配置
- ◇克明、大池小学校をはじめとする放火事件発生
- ◇ジェーン台風襲来
- ◇救急業務開始
- ◇大阪府消防協会 竿頭綬を受章
- ◇日本消防協会 竿頭綬を受章
- ◇消防職員64名・消防団員450名
- ◇普通消防ポンプ自動車9台・水槽付消防ポンプ自動車2台・救急自動車1台
- ◇火災30件・救急48件

### 昭和26年

- ◇工場出火。1,010㎡焼失、り災人員135名、重軽傷者3名
- ◇火災22件・救急168件

### 昭和27年

- ◇放火事件続発のため特別警戒実施。少年（16才）補導される。昭和25年の放火事件も同人と判明する。
- ◇消防職員66名・消防団員450名
- ◇火災36件・救急195件

### 昭和28年

- ◇三島郡新田村大字上新田（3.96k㎡）を編入。消防団は熊野田分団に編入。消防団員20名、手引動力ポンプ1台配置
- ◇消防本部・署庁舎新築第1期工事着工
- ◇消防職員72名 消防団員410名
- ◇火災34件・救急220件

### 昭和29年

- ◇消防本部・署庁舎新築第1期工事完工。業務開始
- ◇曾根市場全焼
- ◇消防士 富田繁吉（48才）4月8日殉職、同日付消防士長に昇進、4月27日公葬執行
- ◇普通消防ポンプ自動車11台・水槽付消防ポンプ自動車2台・救急自動車1台
- ◇火災29件・救急294件

### 昭和30年

- ◇庄内町（4.5k㎡）合併、庄内町消防本部・署を廃し、庄内出張所に改める。消防職員20名、普通消防ポンプ自動車2台配置、消防団は庄内北・庄内東・庄内西の3分団に編成する。
- ◇消防長兼消防署長 別宮 誉退任、後任に中村藤太郎就任
- ◇消防職員84名・消防団員560名
- ◇普通消防ポンプ自動車14台、水槽付消防ポンプ自動車3台・救急自動車1台
- ◇火災48件・救急295件

### 昭和31年

- ◇消防団長 小寺憲一退任、後任に森田年宝就任

- ◇消防士 豊田慶幸(30才)12月20日殉職、同日付消防士長に昇進、翌年1月19日公葬執行
- ◇消防職員 88名・消防団員 560名
- ◇普通消防ポンプ自動車 15台・水槽付消防ポンプ自動車 4台・救急自動車 1台
- ◇火災 49件・救急 249件

### 昭和32年

- ◇消防本部・署庁舎第2期工事着工完成
- ◇日航機雲仙号不時着炎上。乗員4名、乗客51名のうち重軽傷者7名
- ◇火災 49件・救急 299件

### 昭和33年

- ◇自治体消防発足10周年記念
- ◇日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
- ◇大阪府知事 優良消防団として団体表彰
- ◇普通消防ポンプ自動車 17台・水槽付消防ポンプ自動車 3台・救急自動車 1台
- ◇火災 57件・救急 306件

### 昭和34年

- ◇工場(野田町)から出火。豊南町(火元から500メートル)及び庄内東町(火元から300メートル)の2か所へ飛火。異常乾燥、強風注意報発令下西の風11メートル、気温21度、湿度53%、実行湿度59%と気象条件が悪く、消火活動は困難を極める。焼失面積1,700㎡
- ◇火災件数 90件・救急 444件

### 昭和35年

- ◇豊南車庫を豊南出張所に改める。
- ◇国家消防本部長 竿頭綬を受章
- ◇消防職員 95名・消防団員 560名
- ◇火災 117件・救急 446件

### 昭和36年

- ◇消防長兼消防署長 中村藤太郎退任、後任に石原朝太郎就任
- ◇消防団 大阪府知事 表彰旗を受章
- ◇消防職員 100名・消防団員 560名
- ◇火災 134件・救急 576件

### 昭和37年

- ◇普通消防ポンプ自動車 16台・水槽付消防ポンプ自動車 4台・救急自動車 1台
- ◇火災 170件・救急 600件

### 昭和38年

- ◇熊野田分団を分割して上新田分団(分団員35名)を新設
- ◇名神高速道路の消防救急業務開始、尼崎市と名神高速道路上の消防相互応援協定締結
- ◇救急業務法制化
- ◇消防職員 106名・消防団員 575名
- ◇火災 136件・救急 811件

### 昭和39年

- ◇名神高速道路に関する尼崎市との消防相互応援協定に西宮市も加わる。
- ◇吹田市と市域相互間の消防相互応援協定締結
- ◇茨木市と名神高速道路に関する消防相互応援協定締結
- ◇消防長兼消防署長 石原朝太郎退任、後任に西口増夫就任
- ◇屈折はしご付消防ポンプ自動車及び無線付救急自動車各1台配置
- ◇消防職員 122名・消防団員 575名
- ◇普通消防ポンプ自動車 17台・水槽付消防ポンプ自動車 4台・屈折はしご付消防ポンプ自動車 1台・救急自動車 2台
- ◇火災 194件・救急 1,133件

### 昭和40年

- ◇大阪市と市域相互間の消防相互応援協定締結
- ◇商店街店舗(庄内駅前)出火。10店舗及びアパート 631㎡焼失、死者4名、り災者64名
- ◇消防庁長官から防災思想の普及、消防施設整備、災害対策等優秀につき表彰旗を授与された。
- ◇第9回大阪府消防操法大会優勝(ポンプ車操法の部)
- ◇第9回大阪府消防操法大会優勝(手引きポンプの部)
- ◇化学消防ポンプ自動車1台配置



- ◇消防職員 125 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 18 台・水槽付消防ポンプ自動車 5 台・屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台・化学消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 2 台
- ◇火災 192 件・救急 1,605 件

#### 昭和 4 1 年

- ◇伊丹市と市域相互間の消防相互応援協定締結
- ◇住友生命保険相互会社から救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
- ◇大池小学校運動会で仕出し弁当により集団食中毒事故発生。患者数 1,098 名（うち入院患者 188 名・死者 1 名）
- ◇第 10 回大阪府消防操法大会優勝（ポンプ車軽量吸管の部）
- ◇豊南出張所を廃して小曾根出張所を開設し、消防職員 20 名、屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台・普通消防ポンプ自動車 1 台を配置
- ◇消防職員 137 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 19 台・水槽付消防ポンプ自動車 5 台・屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台・化学消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 4 台
- ◇火災 212 件・救急 2,248 件

#### 昭和 4 2 年

- ◇庄内出張所新築移転。鉄筋コンクリート造 3 階建一部平屋建、消防職員 31 名、化学消防ポンプ自動車 1 台・水槽付消防ポンプ自動車 1 台・普通消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 1 台配置
- ◇8 月 10 日 池田市、伊丹市との間で大阪国際空港内における危険物規制事務の協定を締結する。
- ◇8 月 16 日 池田市、伊丹市との間で大阪国際空港内における建築物の確認申請に対する同意事務の協定を締結
- ◇12 月 15 日 尼崎市と市域間の消防・救急業務の応援協定を締結
- ◇消防職員 154 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 21 台・水槽付消防ポンプ自動車 5 台・屈折はしご付消防ポン

- プ自動車 1 台・化学消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 5 台
- ◇火災 311 件・救急 2,530 件

#### 昭和 4 3 年

- ◇自治体消防発足 20 周年
- ◇1 消防本部・2 消防署制実施。消防長兼消防署長 西口増夫消防正監に昇任、消防長の職務に専任。初代北消防署長に消防監 立石善高就任。初代南消防署長に消防司令長 井上一郎就任
- ◇豊中南ライオンズクラブから救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
- ◇消防職員 169 名・消防団員 575 名
- ◇火災 298 件・救急 2,974 件

#### 昭和 4 4 年

- ◇北消防署新千里出張所（新千里南町 2 丁目 7 番 1 号）開設。消防職員 20 名、普通消防ポンプ自動車 1 台・水槽付消防ポンプ自動車 1 台配置
- ◇麻田分団を蛭池分団に改称
- ◇消防本部次長兼北消防署長 立石善高退任、後任に消防監 井上一郎就任。南消防署長に消防司令長 中津勝美就任
- ◇日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、赤バイ 2 台の寄贈を受け、万国博消防署（吹田市）に配置
- ◇消防職員 8 名を吹田市（万国博消防署）へ派遣
- ◇消防職員 204 名・消防団員 575 名
- ◇火災 334 件・救急 3,395 件

#### 昭和 4 5 年

- ◇北消防署桜井谷出張所（大字少路 54 番地の 3）開設。消防職員 22 名、普通消防ポンプ自動車 1 台・水槽付消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 1 台配置
- ◇消防職員 7 名を吹田市（万国博消防署）へ派遣
- ◇南豊島分団を分割して豊島分団を新設、分団員 33 名
- ◇豊中ライオンズクラブから小型動力ポンプ積載車（トヨタミニエース）1 台の寄贈を受ける。

- ◇生命保険協会から救急自動車 1 台を、日本万国博消防対策本部を通じて寄贈を受ける。
- ◇日本万国博消防対策本部から派遣職員 15 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、赤パイ 2 台が帰属した。
- ◇大阪府救急医療情報センターと情報交換のため、消防本部に設置した救急医療無線局の整備及び運用等に関し大阪府と協定を締結
- ◇10 月 1 日 大阪市と回転翼航空機による消防救難業務の協定を締結
- ◇中国縦貫自動車道及び近畿自動車道における消防救急業務の取扱いについて、関係消防本部消防長（池田市・吹田市・茨木市・摂津市・守口市門真市消防組合）間において覚書を交換する。
- ◇アクリライト合成樹脂ネオン広告塔及び同事務所（延面積 349 ㎡・高さ 51 メートル）全焼
- ◇消防職員 227 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 26 台・水槽付消防ポンプ自動車 6 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 2 台・化学消防ポンプ自動車 2 台・救急自動車 7 台
- ◇火災 327 件・救急 3,822 件
- ◇消防士 伊藤二郎（23 才）12 月 28 日殉職、同日付消防士長に昇進、翌年 2 月 2 日公葬執行

#### 昭和 46 年

- ◇消防長 西口増夫退任、後任に消防本部次長兼北消防署長 井上一郎就任。消防本部次長兼北消防署長に消防監 中津勝美、南消防署長に消防司令長 川俣秀夫就任
- ◇大阪国際空港、伊丹市及び池田市と大阪国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定を締結
- ◇柴原浄水場において塩素ガス流出事故が発生。中毒患者 348 名
- ◇救助工作車（空気呼吸器、アクアラング用ボンベ充てん装置を装備）1 台をはじめ消防用車両を整備
- ◇消防職員 251 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 26 台・水槽付消防ポンプ自動車 6 台・はしご付（屈折はしご

含む）消防ポンプ自動車 2 台・化学消防ポンプ自動車 2 台・救助工作車 1 台・救急自動車 9 台

- ◇火災 273 件・救急 4,439 件

#### 昭和 47 年

- ◇北消防署原田出張所（原田元町 3 丁目 9 番 6 号）開設。消防職員 22 名、普通消防ポンプ自動車 1 台・水槽付消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 1 台配置
- ◇豊中中央ライオンズクラブ及び(社)大阪府モーターボート競走会から各 1 台ずつ救急自動車の寄贈を受ける。
- ◇全国消防長会第 2 回広報特別委員会を豊中市市民会館において開催
- ◇第 16 回大阪府消防操法大会優勝（ポンプ車操法の部）
- ◇消防職員 263 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 25 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 2 台・化学消防ポンプ自動車 2 台・救助工作車 1 台・救急自動車 9 台
- ◇火災 311 件・救急 5,074 件

#### 昭和 48 年

- ◇北消防署蛭池出張所建設着手
- ◇40 メートル級はしご付消防ポンプ自動車 1 台・普通消防ポンプ自動車 2 台・消防無線・消防水利（防火水槽・消火栓）等を整備する。
- ◇消防救急無線周波数再編成計画（昭和 45 年 12 月 1 日郵波陸第 483 号郵政省電波管理局長通達）に基づく消防波 2 波、府内共通波、全国共通波各 1 波の 4 チャンネル及び救急波復信（1 ペア）の組み入れによる基地局及び全移動局の整備事業完了
- ◇吹田市・池田市・兵庫県川西市・伊丹市・宝塚市と中国縦貫自動車道吹田・宝塚インターチェンジ間の消防相互応援協定を締結
- ◇第 17 回大阪府消防操法大会 2 位（ポンプ車操法の部）
- ◇消防職員 276 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご

- ◇含む) 消防ポンプ自動車 3 台・化学消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 9 台
- ◇火災 377 件・救急 5,886 件

### 昭和 49 年

- ◇川西市と市域間の特定防火対象物の消防・救急業務の応援協定を締結
- ◇北消防署蛭池出張所（蛭池西町 1 丁目 25 番 10 号）開設。消防職員 22 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台・普通消防ポンプ自動車 1 台・救急自動車 1 台配置
- ◇屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）・救助工作車・救急自動車各 1 台・消防無線・消防水利（防火水槽・消火栓）を整備
- ◇日本損害保険協会寄贈の救急自動車 1 台を消防庁から配車される。
- ◇消防職員 299 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・化学消防ポンプ自動車 2 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台
- ◇1 月 5 日 商店街店舗（岡町南）出火。焼失面積 1,140 m<sup>2</sup>、損害額約 1 億 3,000 万円
- ◇9 月 9 日 消防士 向井 茂殉職、同日付消防士長に昇進。10 月 5 日公葬執行
- ◇第 18 回大阪府消防操法大会優勝（ポンプ車操法の部）全国大会出場
- ◇11 月 9 日 工場（走井）出火。焼失面積約 1 万 3,694 m<sup>2</sup>、損害額約 6 億 2,000 万円
- ◇火災 306 件・救急 5,840 件
- ◇兵庫県川西市と消防特別相互応援協定締結

### 昭和 50 年

- ◇化学消防ポンプ自動車（Ⅲ型）・普通消防ポンプ自動車各 1 台・消防水利（防火水槽・消火栓）・無線を整備
- ◇消防団に携帯無線機 19 機配備
- ◇春日町・宮山町・永楽荘・千里園・柴原町・刀根山の地域に連続放火事件発生し、特別警戒を実施する。
- ◇消防団長 森田年宝退任、後任に平尾 力就任
- ◇消防職員 335 名・消防団員 575 名

- ◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 3 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台
- ◇消防本部次長（総務、予防担当）兼予防課長に梶田榮二就任、消防本部次長（警備担当）兼警備課長に高橋政治就任
- ◇火災 317 件・救急 6,291 件

### 昭和 51 年

- ◇住友生命保険相互会社から救急自動車 1 台、豊中中央ライオンズクラブから吹奏楽器 19 点等、豊中北ライオンズクラブから人員搬送車 1 台、東京海上火災保険株式会社から防災用ジープ 1 台の寄贈を受ける。
- ◇消防音楽隊発足準備
- ◇市制 40 周年記念行事の一環として一日消防長を実施
- ◇消防職員 335 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 27 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 3 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台
- ◇火災 290 件・救急 6,385 件

### 昭和 52 年

- ◇普通消防ポンプ自動車 3 台・小型動力ポンプ 1 台・超短波無線電話（移動局 2 機・携帯型 7 機）・防火水槽 2 箇所整備
- ◇消防音楽隊発足
- ◇豊中南ライオンズクラブから三菱ジープ HJ58 型 1 台の寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから音楽隊演奏服及び隊旗の寄贈を受ける。
- ◇第 21 回大阪府消防操法大会 2 位（ポンプ車操法の部）
- ◇消防職員 335 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 29 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消

防ポンプ自動車 3 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台

◇火災 293 件・救急 7,014 件

### 昭和 5 3 年

◇普通消防ポンプ自動車 3 台・救急自動車・無線車・司令車・作業車各 1 台更新・小型動力ポンプ 4 台・超短波無線電話・防火水槽等整備

◇豊中中央ライオンズクラブからレサシアンネ（人口呼吸訓練人形）、担架等の寄贈を受ける。

◇自治体消防 30 周年記念式典（於東京）に消防長・消防団長出席

◇救助隊が第 7 回全国消防救助技術大会において、「高所人命救助の部」で入賞を果たした。

◇消防職員 347 名・消防団員 575 名

◇普通消防ポンプ自動車 30 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・救助工作車 2 台・救急自動車 9 台

◇市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定を大阪市と締結

◇火災 326 件・救急 7,365 件

### 昭和 5 4 年

◇普通消防ポンプ自動車 3 台・水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車・司令車・作業車各 1 台更新、小型動力ポンプ 3 台・超短波無線電話・防火水槽等整備

◇消防本部・北消防署合同庁舎建設用地として隣接民有地及び市土地開発公社所有地 743.85 m<sup>2</sup>取得

◇茨木市・吹田市・池田市・兵庫県川西市・伊丹市・宝塚市と中国縦貫自動車道茨木（J1203.4）・宝塚インターチェンジ間における消防相互応援協定を締結（昭和 4 8 年締結の協定は廃止し、茨木市を加えて新たに締結したもの）

◇南消防署長に警備担当次長兼警備課長 高橋政治就任

◇消防職員 347 名・消防団員 575 名

◇普通消防ポンプ自動車 29 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・救助工作車 2 台・救急自動車 9 台

◇火災 304 件・救急 7,677 件

### 昭和 5 5 年

◇普通消防ポンプ自動車 4 台・救急自動車 2 台・調査車 1 台更新、小型動力ポンプ 2 台・超短波無線電話・防火水槽等整備

◇（株）豊中石油から査察車 1 台の寄贈を受ける。

◇豊中ロータリークラブからビデオテープレコーダー一式、豊中中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器及び器材 11 点の寄贈を受ける。

◇日本消防協会主催消防百年記念消防団全国大会（於東京後楽園スタジアム）に消防長、消防団長、副団長が参加

◇消防本部・北消防署合同庁舎建設に伴い竣工までの間、前水道局分室（北桜塚 2-2-1）に庁舎の仮移転を行い消防業務にあたる。なお、仮移転に際し、北桜塚自治会住民に対し、協力依頼のための説明会を豊中勤労青少年ホームにて開催した。

◇消防本部・北消防署合同庁舎の着工にあたって、岡上の町自治会住民に対し協力依頼のための説明会を岡上の町会館において開催した。

◇第 24 回大阪府消防操法大会 2 位（ポンプ車操法の部）

◇消防職員 347 名・消防団員 575 名

◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・救助工作車 2 台・救急自動車 9 台

◇火災 264 件・救急 7,935 件

### 昭和 5 6 年

◇消防長 井上一郎退任。後任に消防本部次長兼予防課長 梶田榮二就任。消防本部次

長に消防監 下倉史郎（総務課長兼務）就任。

- ◇当市消防団長 平尾 力氏から消防旗 4 本（本部旗 1・署旗 2・団旗 1）・複写機 2 台・放送設備一式の寄贈を受ける。
- ◇故阪本光造氏（前桜井谷農業協同組合長）のご遺志を受け、当市北消防署勤務阪本祥造氏から消防隊員搬送用マイクロバス、消防用資機材搬送車各 1 台の寄贈を受ける。
- ◇大阪府共済農業協同組合連合会から救急自動車 1 台の寄贈を受ける。  
（社）大阪府モーターボート競走会から救急自動車 2 台の寄贈を受ける。
- ◇消防職員 351 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台
- ◇火災 274 件・救急 8,100 件

## 昭和 57 年

- ◇消防本部・北消防署合同庁舎での業務開始、合同庁舎 4 月 30 日完工、5 月 13 日に竣工式を挙行、6 月 1 日仮庁舎から移転。新合同庁舎は、消防防災体制の科学化、近代化を図るため、総工費 14 億 2,900 万円をかけ、昭和 56 年 2 月から建設を進めてきたもので、コンピュータと連動した最新鋭の消防指令管制システムを導入。また非常災害対策用として自家給油取扱所を設置するなど、防災拠点としての機能を充実させた。

（庁舎概要）

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
	地下 1 階地上 6 階（但し塔屋含む）
敷地面積	1,631.71 m <sup>2</sup>
建築面積	853.46 m <sup>2</sup>
延面積	本館 3,865.63 m <sup>2</sup>
	車庫・倉庫 212.17 m <sup>2</sup>

- ◇日本消防協会 竿頭授受章
- ◇消防職員 351 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 3 台・屈折放水塔

車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台

- ◇火災 277 件・救急 8,577 件

## 昭和 58 年

- ◇消防長 梶田榮二死亡退職により、同日付豊中市助役 林 實消防長事務取扱に、その後、中津勝美就任
- ◇消防本部・消防署の機構改革  
消防本部については、警備課の組織を「警備計画係」「防災救急係」「第 1・第 2 管制係」「機械係」に改め、調査及び救助隊の実戦部隊は、消防署に置き、また、予防課の組織を「予防係」「危険物係」「設備係」に改め、分掌事務の改正を行った。  
消防署については、課制を廃し、副署長制を採用、これに伴い「課長」を「副署長」に「課長補佐」を「副主幹」に改めた。  
消防本部、消防署に主幹を置いた。
- ◇北消防署長 中津勝美が消防長に就任、兼ねて北消防署長事務取扱
- ◇市制モニター発足 市民から公募した 100 名の市制モニターが、「消防問題」を主要テーマに 1 年間モニター活動を行った。
- ◇消防本部次長 下倉史郎兼ねて北消防署長に就任
- ◇（社）日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車、（社）大阪府モーターボート競走会から救急自動車、（社）日本消防協会から指令広報車各 1 台の寄贈を受ける。
- ◇第 27 回大阪府消防操法大会 2 位（ポンプ車操法の部）
- ◇消防職員 351 名・消防団員 575 名
- ◇普通消防ポンプ自動車 28 台・水槽付消防ポンプ自動車 7 台・はしご付（屈折はしご含む）消防ポンプ自動車 4 台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・救助工作車 2 台・救急自動車 10 台
- ◇火災 291 件・救急 8,254 件
- ◇自治体消防 35 周年記念式典（於東京日本武道館）に消防長、消防団長、副団長が出席
- ◇豊中中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器など 3 点の寄贈を受ける。

## 昭和59年

- ◇消防団が優良消防団として、(財)日本消防協会長から「まとい」を受け、特別表彰された。
- ◇大黒町3丁目の文化住宅全焼、幼女3名を含む死者4名、原因は石油ストーブ
- ◇救助隊が消防救助技術近畿地区指導会において、「引揚救助」で3位入賞を果たす。
- ◇三栄化学工業(株)から小型動力ポンプ付水槽車1台、三國製薬工業(株)から消防用自動車1台、豊中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器など5点の寄贈を受ける。
- ◇桜井谷出張所に車庫建設  
鉄筋造平屋建 227.95㎡、総工費 98,539,008円(用地購入費含む。)
- ◇10月から年末にかけて、小雨のための異常渇水により、淀川第2次取水制限の措置がとられたため、火災に備え、水槽付消防ポンプ自動車の第1出場時増車など必要な対応を行った。
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇普通消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付(屈折はしご含む)消防ポンプ自動車 4台・屈折放水塔車(ブレイクスクアート車) 1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台
- ◇火災 220件・救急 8,217件

## 昭和60年

- ◇北消防署服部出張所改築工事着工
- ◇豊中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器及び複写機、豊中北ライオンズクラブから人員搬送車の寄贈を受ける。
- ◇救助隊が第14回全国消防救助技術大会において、「引揚救助」に2チーム出場し、1チームが入賞を果たした。
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇普通消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 4台・はしご付(屈折はしご含む)消防ポンプ自動車 4台・屈折放水塔車(ブレイクスクアート車) 1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水

槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台

- ◇火災 210件・救急 8,916件

## 昭和61年

- ◇服部出張所竣工  
4月1日業務開始、職員 22名、普通消防ポンプ自動車 1台、救急自動車 1台配置(庁舎概要)

構造	鉄骨造	地上 2階建
敷地面積		743.04㎡
建築面積		庁舎棟 299.15㎡
付属棟		62.40㎡
延面積		650.13㎡
- ◇7月15日 消防士 吉岡喜良殉職、同日付消防司令補に昇任、9月12日公葬執行
- ◇救助隊が第15回消防救助技術近畿地区指導会において、「引揚救助」の部で第2位、全国大会に出場
- ◇第30回大阪府消防操法訓練大会において、消防団がポンプ車の部で優勝、全国消防操法大会に出場
- ◇南消防署長 高橋政治退任、後任に津留秋男就任
- ◇市制発足 50周年
- ◇(社)大阪府モーターボート競走会から救急自動車 1台、大阪北生活協同組合からマイクロバス(29人乗り) 1台の寄贈を受ける。
- ◇ファクシミリ装置各署所に導入
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇普通消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 5台・屈折放水塔車(ブレイクスクアート車) 1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台・起震車 1台
- ◇火災 198件・救急 8,543件

## 昭和62年

- ◇2月7日 共同住宅(宝山町)出火。焼失面積 1,410㎡、損害額約 6,988万円、死者 2名、重軽傷者 4名、り災者 92名
- ◇消防長 中津勝美退任、豊中市助役 林 實消防長事務取扱



- ◇消防本部次長兼北消防署長 下倉史郎消防長に就任、消防本部次長に消防監 山本仁士（総務課長兼務）、北消防署長に消防監 前村昌市就任
- ◇第2回「大阪の消防大賞」において、消防大賞を蛍池分団 土山 豊、特別賞を故吉岡喜良消防司令補が受賞
- ◇大規模航空機災害に備え『「大阪国際空港周辺」都市航空機災害消防相互応援協定並びに同協定に基づく覚書』を締結
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇普通消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 5台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台・起震車 1台
- ◇火災 211件・救急 8,922件

### 昭和63年

- ◇（社）大阪府モーターボート競走会から救急自動車 1台、豊中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器及びワープロの寄贈を受ける。
- ◇9月3日 工場（利倉）中2階床崩壊事故発生。死者1名、重軽傷者5名
- ◇府下の消防本部を設置する全市町と大阪府下広域消防相互応援協定を締結
- ◇12月15日 遊技場（玉井町）出火。焼失面積 546㎡、損害額 1億 4,856万円
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇普通消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 5台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台・起震車 1台
- ◇火災 220件・救急 9,733件

### 平成元年（昭和64年）

- ◇南消防署小曾根出張所増改築工事着工
- ◇北消防署長 前村昌市、南消防署長 津留秋男退任、北消防署長に消防監 乃一平八、南消防署長に消防監 木村俊郎就任
- ◇（社）大阪府モーターボート競走会から救急自動車 1台、（財）航空公害防止協会か

- ら化学消防ポンプ自動車整備助成金 2,000万円の寄贈を受ける。
- ◇第4回「大阪の消防大賞」において、「鋼材加工工場床崩壊事故救助小隊」として職員 13名が消防大賞を受賞
- ◇11月12日 店舗付共同住宅（本町3-4-2）出火。死者2名、負傷者4名、焼失面積 30㎡、損害額 2,112万円
- ◇第33回大阪府消防操法大会3位（ポンプ車の部）
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 4台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台・起震車 1台
- ◇火災 190件・救急 10,145件

### 平成2年

- ◇南消防署小曾根出張所増改築工事竣工（増築庁舎棟）  
構造 鉄筋コンクリート造平屋建  
面積 162㎡  
概要 仮眠室、会議室兼訓練室（改築庁舎棟）
- ◇南消防署の事務室、仮眠室全面改修及び陸屋根全面防水
- ◇豊中防火安全協会から体力練成器具一式、豊中中央ライオンズクラブから楽器、（社）大阪府モーターボート競走会から救急自動車 1台の寄贈を受ける。
- ◇2月3日 工場（上津島）出火。負傷者1名、焼失面積 888㎡、損害額 1億 3,254万円
- ◇消防職員 351名・消防団員 575名
- ◇消防ポンプ自動車 29台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 4台・屈折放水塔車（ブレイクスクアート車）1台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 10台・起震車 1台
- ◇火災 176件・救急 10,628件

### 平成3年

#### ◇新消防指令管制システム運用開始

昭和57年度に導入した消防指令管制システムの機器を更新するとともに、機能の拡充を行い、新消防指令管制システムの運用を開始、新機能として「発信地表示システム」、「車両動態管理システム」、「消防団指令システム」、「コンピューターの2重化」及び高齢者を災害から守るための緊急通報システム「ホットラインきずな」を導入

#### ◇消防本部・消防署の機構改革

消防本部総務担当次長及び防災担当次長の2次長制とし、更に「指令管制課」を新設し、「警備課」を「警防課」に名称変更、消防署については、予防広報課を新設するとともに、第1、第2警防課を第1、第2警備課に名称変更、この機構改革により、消防本部は4課13係、消防署は3課8係となった。

#### ◇桜井谷出張所、原田出張所の増改築工事に着工するとともに、蛍池出張所の改修工事並びに平成2年度につづき南消防署の改修工事に着工

#### ◇10月2日 大阪大学基礎工学部（待兼山1-1）出火。死者2名、負傷者6名、焼失面積49㎡、損害額1億1,727万円

#### ◇消防職員351名・消防団員575名

#### ◇消防ポンプ自動車29台・水槽付消防ポンプ自動車6台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車2台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車10台・起震車1台

#### ◇火災181件・救急10,889件

#### ◇総務担当次長兼総務課長に山本仁士、防災担当次長兼指令管制課長に藤澤利則就任

### 平成4年

#### ◇救助隊のシンボルマークを制定

#### ◇救急救命士を養成するため、東京・救急救命中央研修所へ1名、府立消防学校 救急救命士養成課程へ2名を派遣

#### ◇9月10日 庄内東町2-1-3先にて電車下敷き事故発生。阪急電車の下敷きとなった女性を救出する。

#### ◇第36回大阪府消防操法大会3位（ポンプ車操法の部）

#### ◇消防職員385名・消防団員575名

#### ◇消防ポンプ自動車29台・水槽付消防ポンプ自動車6台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車2台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車10台・起震車1台

#### ◇火災170件・救急10,751件

### 平成5年

#### ◇1月18日 大阪府立千里救命救急センターが、ドクターカー運用開始。

#### ◇1月30日 共同住宅（大島町）出火。焼損面積2,066㎡、損害額207,259千円、負傷者2名

#### ◇2月5日 工場（原田中）出火。焼損面積1,924㎡、損害額206,555千円、負傷者1名

#### ◇救急救命士のシンボルマークを制定

#### ◇自治体消防発足45周年

#### ◇（社）日本損害保険協会より高規格救急自動車1台の寄贈を受ける。

#### ◇高規格救急自動車運用開始式を挙げる。大阪府下衛星都市で初めての救急救命士による高規格救急自動車（2台）の運用を開始する。

#### ◇北消防署東泉丘出張所（東泉丘4-6-7）開設。消防職員34名、普通消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、はしご付消防自動車1台、高規格救急自動車1台配置。

#### ◇管轄区域の変更

東泉丘出張所の開設により、北消防署の管轄区域であった服部出張所を南消防署に繰り入れる。

#### ◇第8回「大阪の消防大賞」において、「電車下敷き事故救助小隊」として職員8名が消防大賞を受賞

#### ◇豊中市総合防災訓練実施

#### ◇消防団長 平尾 力死亡、後任に副団長 井関正和就任

#### ◇消防職員401名・消防団員575名

#### ◇消防ポンプ自動車30台・水槽付消防ポンプ自動車7台・はしご付消防ポンプ自動車

4台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車11台・起震車1台

◇火災179件・救急11,318件

◇防災担当次長兼指令管制課長に乃一平八就任、北消防署長に木村俊郎、南消防署長に藤澤利則就任

## 平成6年

◇消防団長 井関正和退任、後任に副団長 奈須正好就任

◇第9回「大阪の消防大賞」において、心臓停止した女性に特定行為（ラリングアル、CPR、静脈路確保）を施し、社会復帰させた功績により、北本署救急隊が消防大賞を受賞

◇阪神高速道路消防協議会発足  
大災害発生時の支援体制等研究・検討を目的として、大阪府内12、兵庫県内6、計18消防本部で発足

◇市北・中部に局地的集中豪雨発生  
9月6日深夜から翌7日未明にかけての雨量は295.5ミリと驚異的なものであり、7日10時災害救助法が適用され、「豊中市災害対策本部」を設置し災害救助を行った。

(被害状況)

- ・半焼（落雷） 1世帯
- ・床上浸水 609世帯
- ・事業所浸水 385事業所
- ・医療機関浸水 10機関
- ・床下浸水 1,629世帯
- ・道路冠水 81か所
- ・道路陥没等 37か所
- ・公共施設被害 26施設

◇消防職員401名・消防団員575名

◇消防ポンプ自動車30台・水槽付消防ポンプ自動車7台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車11台・起震車1台

◇火災201件・救急11,488件

## 平成7年

◇阪神・淡路大震災発生

1月17日午前5時46分頃、兵庫県南部において震度7、マグニチュード7.2という大規模な地震が発生、阪神地方は壊滅的な打撃を被った。当市でも公表値（震度4）よりも大きな揺れがあったものと推定され、同日午前6時に災害救助法が適用となり、災害対策本部を設置し、被災者対策をはじめ、道路の復旧、ガレキ処理など緊急対策にあたった。

(被害状況（平成8年1月31日時点）)

- ・死者 8名（豊中市内）
- ・重傷者 101名
- ・軽傷者 2,395名
- ・全壊 657棟 3,027世帯 5,503人
- ・半壊 4,248棟 12,723世帯 25,945人
- ・一部損壊 30,256棟 50,073世帯 64,032人

(震災時の消防事故)

- ・火災 5件  
建物火災 部分焼3件、ぼや1件 計4件  
その他の火災1件  
(火災による死者なし、負傷者1名)
- ・救急 92件  
搬送人員72名、傷病程度は死者1名、重傷3人（数日後病院で2人死亡）、中等症20人、軽傷48人
- ・救助 12件（11名救出）  
建物倒壊 4件出場で5人救出（死者1名、軽症4名）  
エレベーター閉じ込め 3件（3人救出）  
ドア開放 5件（3名救出）
- ・その他の事故 519件  
ガス漏れ 270件  
落下物等の排除 87件  
被害状況調査 53件  
避難地区パトロール 26件  
給水活動 25件等

◇消防記念日式典中止

◇高規格救急自動車2台更新（5台運用）

◇2月8日 梅花学園（上野西1-5-30）出火。  
焼損面積633㎡、損害額158,048千円

◇4月1日 工場（穂積）出火。焼損面積290㎡、損害額169,378千円

- ◇8月3日 工場（今在家町）出火。死者1名、焼損面積246㎡、損害額38,094千円
- ◇第10回「大阪の消防大賞」において、阪神・淡路大震災で倒壊建物から4名救出した消防本部救助中隊17名が消防大賞を受賞。
- ◇救助隊が第24回消防救助技術近畿地区指導会において、「斜めブリッジ救助」第1位、「ほふく救出」第2位で、全国大会に出場し入賞を果たした。
- ◇第39回大阪府消防操法大会2位（ポンプ車操法の部）
- ◇消防職員401名・消防団員575名
- ◇消防ポンプ自動車30台・水槽付消防ポンプ自動車7台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車11台・起震車1台
- ◇火災192件・救急12,949件
- ◇総務担当次長兼総務課長山本仁士退任、後任に乃一平八就任、防災担当次長兼指令管制課長に木村俊郎就任。北消防署長に藤澤利則、南消防署長に松本力就任

## 平成8年

- ◇高規格救急自動車（災害対応型）1台更新（6台運用）
- ◇消防長 下倉史郎退任、後任に木村俊郎就任。北消防署長 藤澤利則退任、後任に野田雅彰就任。南消防署長 松本力が防災担当次長兼指令管制課長に就任、後任に大塚善成就任。消防団長 奈須正好退任、後任に村岡慰詮就任。
- ◇第11回「大阪の消防大賞」において、福井県を旅行中、民家の火災現場に飛び込み、2才の女の子を救出した後、応急処置を施し一命を取りとめた功績により、北本署第1救急救助係 迫田武也消防士長が消防大賞を受賞
- ◇救助隊が第25回消防救助技術近畿地区指導会において「ほふく救出」第1位、「斜めブリッジ救助」第2位で、全国大会に出場し2年連続入賞を果たした。
- ◇豊中防火安全協会からテント7張の寄贈を受ける。

- ◇11月25日 従業員寮（上津島）出火。焼損面積124㎡、損害額27,818千円、死者3名、負傷者1名
- ◇三國製菓工業（株）から消防資機材搬送車1台及び事務用輪転機2台の寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器、音楽隊員演奏服及び譜面台の寄贈を受ける。
- ◇消防職員401名・消防団員575名
- ◇消防ポンプ自動車30台・水槽付消防ポンプ自動車7台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車11台・起震車1台
- ◇火災193件・救急12,400件

## 平成9年

- ◇高規格救急自動車1台更新（7台運用）
- ◇人員搬送車を災害対応消防人員搬送車に更新。
- ◇総務担当次長 乃一平八退任、後任に松本力就任。警防課長 中村 清が防災担当次長兼指令管制課長に就任。北消防署長 野田雅彰退任、後任に大塚善成就任。南消防署長に上村秀久就任。
- ◇4月20日 共同住宅（立花町）出火。焼損面積362㎡、損害額7,777千円、死者2名
- ◇4月27日 工場（中桜塚）出火。焼損面積721㎡、損害額41,049千円
- ◇第12回「大阪の消防大賞」において、救急事案に出場し、病者を車内へ収容後、呼吸及び脈拍の停止した病者に対して、特定行為等の適切な救急措置を実施、呼吸を再開させ救命し、社会復帰させた功績により、北消防署新千里出張所救急隊が消防大賞を受賞。
- ◇救助隊が、第26回消防救助技術近畿地区指導会において「ほふく救出」第1位及び第3位、「斜めブリッジ救助」第2位で3チーム全国大会に出場し、3年連続入賞を果たした。
- ◇阪神・淡路大震災で被害を受け建築中であった南消防署新庁舎が完成し、8月7日竣工式を挙行、業務を開始する。この庁舎は、地上3階地下1階建、延べ面積2,200.96

m<sup>2</sup>、地階には講堂兼訓練室、1階は受付・車庫、2階は仮眠室・食堂、3階に事務所・会議室等があり、21世紀に向け地域住民と一体となった南部地域の防災の拠点としての役割を果たすことが可能となった。

- ◇消防職員 401名・消防団員 575名
- ◇消防ポンプ自動車 31台・水槽付消防ポンプ自動車 7台・はしご付消防ポンプ自動車 4台・はしご付消防自動車 3台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 11台・起震車 1台
- ◇火災 176件・救急 13,167件

### 平成10年

- ◇2月21日 消防音楽隊発足20周年記念演奏会をアクア文化ホールに於いて実施した。
- ◇豊中央ライオンズクラブから音楽隊用楽器等の寄贈を受ける。
- ◇高規格救急自動車1台更新(8台運用)
- ◇総務担当次長 松本 力退任、後任に中村清就任。北消防署長 大塚善成が防災担当次長兼指令管制課長に就任。南消防署長 上村秀久が北消防署長に就任。南消防署長に森山秀明就任。
- ◇女性消防吏員1名採用、女性消防吏員合計1名、女性消防団員15名を任用。
- ◇4月2日 阪神高速道路延伸に伴い、池田市、伊丹市、川西市との間の相互応援協定の一部改正を行った。
- ◇5月15日 消防訓練場(原田中1-43-1、敷地面積2,510.16m<sup>2</sup>)を開設。照明灯を設置し夜間訓練可能。
- ◇第42回大阪府消防操法大会3位(ポンプ車操法の部)
- ◇消防職員 401名・消防団員 575名
- ◇消防ポンプ自動車 31台・水槽付消防ポンプ自動車 7台・はしご付消防ポンプ自動車 4台・はしご付消防自動車 3台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 11台・起震車 1台
- ◇火災 134件・救急 14,583件

### 平成11年

- ◇高規格救急自動車1台更新(9台運用)。全救急隊(9隊)が高規格救急自動車を運用することとなる。
- ◇4月1日 消防防災情報システム完成  
平成3年4月に導入した2代目消防指令管制システムの機器を更新し、機能の拡充を図り、前システムの機能を踏襲しつつ、新たにカーロケーションシステム、地図情報システム、消防職・団員召集システムを導入した。
- ◇4月7日 共同住宅・商店街(庄内栄町)出火。焼損面積1,300m<sup>2</sup>、損害額45,230千円、死者2名。
- ◇4月12日 機構改革により総務課が消防総務課に、職員係が総務係に統合され、警防課機械係が警備計画係に統合、また予防課危険物係、設備係が指導係となり、署については、予防広報課が廃止となり、予防係と業務係を統合した予防広報係に改められた。
- ◇消防職員実数400名となる。
- ◇(株)フクトから消防本部玄関ホール展示ショーケースの寄贈を受ける。
- ◇豊中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器等の寄贈を受ける。
- ◇7月30日 共同住宅(庄内幸町)全焼。焼損面積576m<sup>2</sup>、損害額18,000千円、死者9人、負傷者6人。(年間の焼死者16名となる)
- ◇原田訓練場に消防訓練塔(A棟)が完成。訓練塔は、鉄骨造3階建、延床面積110.79m<sup>2</sup>、市内で発生するあらゆる災害に的確に対応し、市民の安心・安全を確保するための実災害に即した主体的な訓練が可能となった。
- ◇大阪府消防協会 竿頭綬を受章
- ◇消防職員 401名・消防団員 575名
- ◇消防ポンプ自動車 31台・水槽付消防ポンプ自動車 7台・はしご付消防ポンプ自動車 4台・はしご付消防自動車 3台・化学消防ポンプ自動車 4台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 2台・救急自動車 11台・起震車 1台
- ◇火災 157件・救急 14,820件

◇消防本部次長に中村清、次長兼指令管制課長に大塚喜成就任

### 平成12年

- ◇高規格救急自動車1台更新(10台運用)
- ◇消防吏員5名採用(うち1名女性消防吏員、女性消防吏員合計2名となり、消防職員398名)
- ◇消防団長 村岡慰詮退任、後任に西田 勇就任
- ◇7月1日 欠員補助のため2名採用(消防職員数397名となる)
- ◇7月16日 第15回「大阪の消防大賞」において、救急事案に出場し、呼吸及び心拍が停止した病者に対して、特定行為を実施しながらドクターカーの協力を得て、心拍を再開させ社会復帰させた功績により南消防署本署救急隊が消防大賞を受賞する。
- ◇8月28日 高規格救急自動車1台更新(11台全て高規格救急自動車となる)
- ◇12月23日 豊中央ライオンズクラブから消防音楽隊にマーチング用横断幕及び女性隊員用制服等の寄贈を受ける。
- ◇消防職員401名・消防団員575名
- ◇消防ポンプ自動車31台・水槽付消防ポンプ自動車7台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車11台・起震車1台
- ◇火災171件・救急15,897件

### 平成13年

- ◇消防長 木村俊郎退任、後任に中村 清就任、次長兼消防総務課長に上村秀久、次長兼指令管制課長に梅田幸治、北消防署長に森山秀明、南消防署長に脇 康清就任。
- ◇消防吏員13名採用(うち女性消防吏員1名採用、女性消防吏員合計3名となる。消防職員398名)
- ◇消防署、指令管制課指令管制係の交替制勤務を2交替制から3交替制に変更する。また、消防署の組織にグループ制を採用、大規模災害時に瞬時に対応できる体制とし、同時に近年の救急需要の増加に対応する

ため、救急隊全隊(9隊)の専任化を図った。

- ◇4月1日 国際消防救助隊に救助隊員8名登録
- ◇原田消防訓練場に、訓練塔(B棟)鉄骨造3階建、延床面積131.40㎡が完成。これまでの訓練に加え、消防用設備等を活用した訓練などが可能となった。
- ◇高規格救急自動車(災害対応型)1台更新
- ◇消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に1台更新
- ◇小型動力ポンプ2台更新
- ◇9月7日 大阪府・豊能地区3市2町合同防災訓練を実施。(服部緑地公園にて)
- ◇10月23日 新千里出張所改修工事着工
- ◇第45回大阪府消防操法大会3位(ポンプ車操法の部)
- ◇消防職員401名・消防団員575名
- ◇消防ポンプ自動車31台・水槽付消防ポンプ自動車7台・はしご付消防ポンプ自動車4台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車2台・救急自動車11台・起震車1台
- ◇火災157件・救急16,468件

### 平成14年

- ◇豊中央ライオンズクラブから消防音楽隊用の楽器等の寄贈を受ける。
- ◇消防吏員6名採用(消防職員398名)
- ◇高規格救急自動車(災害対応型)2台更新
- ◇消防ポンプ自動車を災害対応特殊ポンプ自動車に1台更新
- ◇藤田元衛氏より救急訓練用資機材(外部心臓マッサージ教育用マネキン等)及び救急活動用資機材(半自動除細動器具血中酸素飽和度測定センサー等)の寄贈を受ける。
- ◇豊中南ライオンズクラブから応急手当普及啓発車の寄贈を受ける。
- ◇第17回「大阪の消防大賞」受賞(女性消防団員)
- ◇小型動力ポンプ3台更新
- ◇消防職員401名・消防団員575名
- ◇消防ポンプ自動車31台・水槽付消防ポンプ自動車6台・はしご付消防ポンプ自動車5台・化学消防ポンプ自動車4台・小型動

力ポンプ付水槽車 1 台・救助工作車 2 台・救急自動車(高規格救急自動車) 11 台・起震車 1 台

◇火災 176 件・救急 16,745 件

### 平成 15 年

◇消防吏員 8 名採用(うち女性消防吏員 1 名採用、女性消防吏員合計 4 名)

◇(定数)消防職員 399 名、消防団員 575 名

◇高規格救急自動車(災害対応型) 2 台更新

◇指揮車 1 台更新

◇消防ポンプ自動車 1 台更新

◇小型動力ポンプ 2 台更新

◇一声訪問事業を実施

市域内の高齢者や重度障害者など災害時要援護者に対して、具体的で効果的な避難誘導を行うため定期的な訪問を開始する。

◇6 月 19 日 市民救命サポーター制度発足救急隊が到着するまでの病院前救護体制として、市内 31 の給油所に市民救命サポーターを委嘱した。

◇7 月 19 日 第 18 回「大阪の消防大賞」において、救急事案で出場し、心疾患により心肺停止状態に陥った病者に対して、高度救命処置を行い、心拍を再開し社会復帰させた功績により、北消防署本署救急隊が消防大賞を受賞する。

◇第 32 回消防救助技術近畿地区指導会において、「引揚救助」で第 2 位となり、全国大会に出場し入賞した。

◇3 月 5 日 NBC 特殊災害対策専門班発足 蛭池出張所に N(RI)災害対策、新千里出張所に B(バイオ・生物剤)災害対策、服部出張所に C(毒劇物・化学剤)災害対策班を発足させ、それぞれの出張所が NBC 災害に対して専門的な知識を習得し、あらゆる特殊災害に備える体制を構築。

◇自治体消防発足 55 周年

◇日本消防協会 表彰旗を受章

◇消防ポンプ自動車 31 台・水槽付消防ポンプ自動車 6 台・はしご付消防ポンプ自動車 3 台・はしご付消防自動車 2 台・化学消防ポンプ自動車 4 台・小型動力ポンプ付水槽車 1 台・救助工作車 2 台・救急自動車(高規格救急自動車) 11 台・起震車 1 台

◇火災 140 件・救急 17,288 件

◇次長兼消防総務課長上村秀久退任、次長兼指令管制課長に森山秀明、北消防署長に脇康清、南消防署長に辻幸雄就任

### 平成 16 年

◇消防吏員 17 名採用(うち女性消防吏員 1 名採用、女性消防吏員合計 5 名)

◇高規格救急自動車(災害対応型) 1 台増強

◇指揮車、司令車各 1 台更新

◇消防ポンプ自動車 1 台更新

◇小型動力ポンプ 2 台更新

◇調査係の一元化

北・南署へ配置していた調査係を、指令管制課へ配置し、本部機構として一元化を図るとともに、指令管制課を指令情報課に改めた。

◇豊中中央ライオンズクラブから消防音楽隊用楽器搬送車の寄贈を受ける。

◇第 33 回消防救助技術近畿地区指導会において、「はしご登はん」(個人)で第 2 位となり、全国大会に出場し入賞した。

◇緊急消防援助隊として初の出場

台風 23 号による集中豪雨により、兵庫県豊岡市で円山川が決壊、周辺流域に住民約 800 名が孤立したため、緊急消防援助隊の大阪府隊(計 44 隊)として 10 月 21 日・22 日の両日 2 隊 10 名(ポンプ隊、救助工作車)が出場し救助活動を行った。

◇(社)日本外交協会を通じ、ボリヴィア共和国へはしご車(15m級)1 台を寄贈。

◇消防ポンプ自動車 31 台・水槽付消防ポンプ自動車 6 台・はしご付消防ポンプ自動車 1 台・はしご付消防自動車 3 台・化学消防ポンプ自動車 3 台・小型動力ポンプ付水槽車 1 台・救助工作車 2 台・救急自動車(高規格救急自動車) 12 台・起震車 1 台

◇火災 153 件・救急 18,022 件

◇次長兼消防総務課長に寺西平四郎就任、北消防署長脇康清退任、後任に辻幸雄、南消防署長に菅野喜三郎就任

### 平成 17 年

◇次長兼指令情報課長森山秀明退任、南消防署長菅野喜三郎 次長兼予防課長に就任、南消防署長に阿草一郎就任、北消防署長辻幸雄退任、後任に芝本真児就任



- ◇消防職員 条例定数 398 名、実員 396 名
- ◇消防吏員 12 名採用（うち女性消防吏員 2 名採用、女性消防吏員合計 7 名）
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇消防作業車 2 台更新
- ◇小型動力ポンプ（台車付）1 台更新
- ◇高度救助用資機材購入（画像探索機Ⅰ型・画像探索機Ⅱ型・地中音響探知機・熱画像直視装置・夜間用暗視装置）
- ◇緊急消防援助隊として出場  
兵庫県尼崎市 J R 福知山線列車脱線事故で、緊急消防援助隊大阪府隊（計 38 隊）として 4 月 25 日救急隊 1 隊 3 名が出場し救急活動を行った。
- ◇6 月 30 日 消防士長福島祐貴殉職、同日付消防司令補に昇進
- ◇関西インドネシア友好協会を通じ、インドネシア共和国ティムール・テンガラ・セラタン県へ救急自動車 1 台寄贈
- ◇消防ポンプ自動車 31 台・水槽付消防ポンプ自動車 6 台・はしご付消防ポンプ自動車 1 台・はしご付消防自動車 3 台・化学消防ポンプ自動車 3 台・小型動力ポンプ付水槽車 1 台・救助工作車 2 台・救急自動車(高規格救急自動車) 12 台・起震車 1 台
- ◇火災件数 140 件・救急件数 19,148 件

### 平成 18 年

- ◇消防長中村清退任、後任に次長兼予防課長菅野喜三郎就任、次長兼消防総務課長寺西平四郎退任、南消防署長阿草一郎次長兼予防課長に就任、後任に本郷進就任、参事兼消防総務課長に谷口伸夫就任
- ◇消防職員 条例定数 398 名、実員 398 名
- ◇消防吏員 10 名採用
- ◇消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇救助工作車 1 台増強
- ◇豊中市社会福祉協議会より高規格救急自動車の寄贈を受ける。
- ◇豊中防火安全協会より小型動力ポンプ積載車（ミニ消防車）の寄贈を受ける。
- ◇救急振興財団より救急普及啓発車の寄贈を受ける。

- ◇三國製薬工業株式会社より乗用車及び作業車、心肺蘇生訓練用人形（リトルアン）の寄贈を受ける。
- ◇洲到止会より消防ポンプ自動車（消防団用）の寄贈を受ける。
- ◇8 月 22 日 一時間あたりの降水量 110 ミリという集中豪雨により、市内で床上浸水 64 戸、床下浸水 186 戸、道路冠水 23 ヶ所の被害を受ける。
- ◇消防ポンプ自動車 32 台・水槽付消防ポンプ自動車 6 台・はしご付消防ポンプ自動車 1 台・はしご付消防自動車 3 台・化学消防ポンプ自動車 3 台・小型動力ポンプ付水槽車 1 台・救助工作車 3 台・救急自動車(高規格救急自動車) 13 台・起震車 1 台
- ◇火災件数 101 件・救急件数 19,143 件

### 平成 19 年

- ◇理事に阿草一郎就任、次長兼消防総務課長に谷口伸夫就任、北消防署長芝本眞児退任、後任に本郷進就任、南消防署長に梶山栄就任
- ◇消防職員 条例定数 398 名、実員 398 名
- ◇消防吏員 21 名採用（4 月採用 9 名（うち女性消防吏員 1 名採用）、10 月採用 12 名（うち女性消防吏員 1 名採用）、女性消防吏員合計 8 名（1 名退職））
- ◇消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇化学消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◇水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◇消防人員搬送車 1 台更新
- ◇小林正利氏より救急訓練用資機材（蘇生法教育簡易モデル 1 体等）の寄贈を受ける。
- ◇豊中ライオンズクラブより豊中市消防音楽隊発足 30 周年記念演奏会開催関係費用一式の寄付を受ける。
- ◇日本外交協会を通じコロンビア共和国へ消防ポンプ自動車 1 台無償譲渡  
（社）豊中青年会議所を通じタイ共和国へ救急自動車 1 台無償譲渡
- ◇第 51 回大阪府消防操法訓練大会 2 位（ポンプ車操法の部）
- ◇10 月 25 日 第 18 回全国女性消防操法大会で豊中市女性消防隊が優秀賞（銅メダル）、3 番員が優秀選手賞を獲得する。

- ◇11月9日 第10回消防広報コンクールで豊中市消防本部ホームページが入選する。
- ◇消防防災協力事業所登録制度発足（11月）地震などの大規模災害発生時において、現有消防力では対応できない場合に、事業所の自主的な判断により保有する資機材を活用し、人命救助活動などに協力していただく制度
- ◇消防ポンプ自動車 32台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 1台・はしご付消防自動車 3台・化学消防ポンプ自動車 3台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 3台・高規格救急自動車 13台・起震車 1台
- ◇火災件数 103件・救急件数 18,434件

### 平成20年

- ◇消防長 菅野喜三郎退任、後任に谷口伸夫就任、次長兼警防課長に岸田治雄就任、北消防署長本郷進退任、後任に梶山栄就任、南消防署長に小東史明就任。消防団長 西田勇退任、後任に関正継就任
- ◇消防職員 条例定数 392名、実員 400名
- ◇消防吏員 21名採用（4月採用 8名、10月採用 13名）
- ◇再任用制度開始 10名採用  
団塊の世代の大量退職に対応するため、退職者の再任用を実施する。
- ◇2月17日 消防音楽隊 30周年記念演奏会開催（市民会館大ホール）
- ◇3月7日 自治体消防制度 60周年記念式典に本郷署長、西田団長、鶴川副団長出席
- ◇消防ポンプ自動車 1台更新
- ◇化学消防ポンプ自動車 1台更新
- ◇水槽付ポンプ自動車 1台更新
- ◇消防司令車 1台更新
- ◇支援車 1台更新
- ◇消防ポンプ自動車 32台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 1台・はしご付消防自動車 2台・化学消防ポンプ自動車 3台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 3台・高規格救急自動車 13台
- ◇火災 103件・救急 17,383件

### 平成21年

- ◇理事 阿草一郎退任、後任に岸田治雄就任、次長兼消防総務課長に能島穂積就任、次長兼予防課長に岩間東二就任、北消防署長 梶山栄退任、後任に小東史明就任、南消防署長に荒木秀夫就任
- ◇消防職員 条例定数 392名、実員 402名
- ◇消防吏員 22名採用（4月採用 10名、10月採用 12名）
- ◇再任用職員 9名採用
- ◇2月25日 豊中市消防団が消防庁長官から消防団等地域活動表彰を受賞する。
- ◇10月1日 北消防署桜井谷出張所救助隊運用開始
- ◇豊中中央ライオンズクラブより北摂4市消防音楽隊合同演奏会開催にあたり協賛を受ける。
- ◇レンタカー会社と提携した、災害時におけるレンタカーによる救急搬送体制を確立
- ◇豊中千里ロータリークラブより CPR&AED パーソナルトレーニングキットの寄贈を受ける。
- ◇救助工作車（Ⅲ型）1台更新
- ◇はしご付消防自動車（35m）1台更新
- ◇高規格救急自動車 2台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）1台更新
- ◇予防広報車 1台更新
- ◇高度救助用資機材（地震警報器）1器購入
- ◇水槽付消防ポンプ自動車 1台更新
- ◇調査車 1台更新
- ◇消防ポンプ自動車 32台・水槽付消防ポンプ自動車 6台・はしご付消防ポンプ自動車 1台・はしご付消防自動車 2台・化学消防ポンプ自動車 3台・小型動力ポンプ付水槽車 1台・救助工作車 3台・高規格救急自動車 13台
- ◇火災 114件・救急 17,368件

### 平成22年

- ◇理事 岸田治雄退任、次長に向井次男就任、北消防署長 小東史明退任、後任に荒木秀夫就任、南消防署長に田中輝雄就任
- ◇消防職員 条例定数 390名、実員 403名
- ◇消防吏員 24名採用（4月採用 10名、10月採用 14名）
- ※再任用職員 15名採用

- ◇1月10日 豊中市長により「救命力世界一宣言」がなされる。
- ◇ジュニア救命サポーター制度発足（4月）  
市内の小学5年または6年生を対象に「命の大切さ」「心肺蘇生法やAEDなどの救命技術」を学んでいただき、学童期から救急手当の重要性と必要性を根付かせることで、「救命力」の向上につなげる制度
- ◇第39回消防救助技術近畿地区指導会において、「引揚救助」で第2位となり、全国大会に出場し入賞した。
- ◇9月5日 大阪府消防操法大会において豊中市消防団がポンプの部で優勝し、全国大会に出場した。
- ◇9月11日 豊中市民会館において「救命力世界一シンポジウム」を開催した。
- ◇豊中千里ロータリークラブより CPR&AED パーソナルトレーニングキットの寄贈を受ける。
- ◇日本消防協会 竿頭綬を受章
- ◇第54回大阪府消防操法大会優勝（ポンプ車操法の部）
- ◇はしご付消防自動車（35m）1台更新
- ◇高規格救急自動車1台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）1台更新
- ◇消防司令車1台更新
- ◇応急手当普及啓発車1台増強
- ◇消防ポンプ自動車（非常備）3台更新
- ◇小型動力ポンプ（常備）2台更新
- ◇消防ポンプ自動車32台・水槽付消防ポンプ自動車6台・はしご付消防自動車3台・化学消防ポンプ自動車3台・小型動力ポンプ付水槽車1台・救助工作車3台・高規格救急自動車13台・小型動力ポンプ39台
- ◇火災116件・救急18,551件

## 平成23年

- ◇次長 向井次男退任、次長に田中輝雄就任、北消防署長 荒木秀夫退任、後任に葭田勝康就任、南消防署長に上田弘昭就任
- ◇消防職員 条例定数383名、実員406名  
消防吏員11名採用（4月採用4名、10月採用7名）  
※再任用職員24名採用
- ◇4月1日 市の組織・機構改革により、消防総務課を消防総務室とし、消防総務室に

消防総務チーム及び消防企画チームを設置した。

また、北・南消防署の予防広報担当を予防広報課に、第1・2・3警備担当を第1・2・3警備課とした。

### ◇緊急消防援助隊として出場

3月11日14時46分、三陸沖の深さ24kmを震源として、我が国観測史上最大のマグニチュード9.0の地震が発生し、東北地方を中心とした広範な地域に甚大な被害をもたらした。本市からは、緊急消防援助隊大阪府隊（計105隊・403名）として、3月11日、消火隊4隊17名、救助隊2隊10名、救急隊4隊12名、後方支援隊2隊6名の計12隊、延べ45名が出場し、津波により甚大な被害を受けた岩手県大槌町において、人命検索・救助活動及び救急活動を行った。

◇3月26日～31日 大阪府食料物資班として、東北地方太平洋沖地震の被災地へ職員1名を派遣、自治体支援業務を実施した。

◇8月20日～24日 消防音楽隊が東日本大震災で被災した岩手県沿岸部の4市町（大槌町・陸前高田市・大船渡市・宮古市）の小・中学校を訪問し、「豊中市消防音楽隊東日本大震災応援きゃらばん隊」として演奏活動を行った。

◇10月15日 豊島公園において「救命力世界一」チャレンジ防災フェスタを開催し、救命講習に3,250名の市民が参加し、応急手当を学んだ。

◇豊中千里ロータリークラブより CPR&AED パーソナルトレーニングキットの寄贈を受ける。

◇豊中中央ライオンズクラブより、本市消防音楽隊の東日本大震災復興応援演奏会開催にあたり協賛を受ける。

◇救助工作車（小型水槽付）1台更新

◇高規格救急自動車1台更新

◇化学消防ポンプ自動車1台更新

◇消防ポンプ自動車（常備）2台更新

◇消防ポンプ自動車（非常備）3台更新

◇小型動力ポンプ（常備）2台更新

◇小型動力ポンプ（非常備）1台更新

◇消防ポンプ自動車32台・水槽付消防ポンプ自動車6台・はしご付消防自動車3台・

化学消防ポンプ自動車 3 台・小型動力ポンプ付水槽車 1 台・救助工作車 3 台・高規格救急自動車 13 台・小型動力ポンプ 39 台  
◇火災 110 件・救急 19,017 件

## 平成 24 年

- ◇次長 田中輝雄退任、次長兼消防総務室長に井ノ本学就任、北消防署長 葭田勝康退任、後任に瀬古博也就任、南消防署長 上田弘昭退任、後任に古山巖就任
- ◇消防職員 条例定数 383 名、実員 406 名 消防吏員 16 名採用（4 月採用 5 名、10 月採用 11 名）  
※再任用職員 23 名採用
- ◇2 月 9 日 岩手県大船渡市立第一中学校の生徒 25 名と教師 2 名、計 27 名が、平成 23 年に消防音楽隊が訪問演奏活動を行ったお礼に、消防本部を訪問し、音楽隊と交流活動を行った。
- ◇4 月 1 日 本市の中核市移行に合わせ、高度救助隊（愛称「HEAVY RESCUE TEAM（ヘビー・レスキュー・チーム）」が発隊した。
- ◇第 27 回「大阪の消防大賞」において、平成 23 年 11 月 9 日に吹田市で発生した火災において、危険をかえりみず室内にいた要救助者を救出した功績により、南消防署主幹野村俊之消防司令長が消防大賞を受賞
- ◇全国消防団員意見発表会 優良賞を受賞
- ◇豊中中央ライオンズクラブより、本市消防音楽隊の定期演奏会開催にあたり協賛を受ける。
- ◇9 月 19 日 株式会社タニモトから災害用組立式シャワー 1 基の寄贈を受ける。
- ◇11 月 9 日 市民（柳田満智子氏）より、ジュニア救命サポーター事業応急手当普及啓発指導モデル一式の寄贈を受ける。
- ◇豊中千里ロータリークラブより CPR&AED パーソナルトレーニングキットの寄贈を受ける。
- ◇神戸インドネシア友好協会を通じインドネシア共和国へ消防ポンプ自動車 1 台、救助工作車 1 台、救急自動車 1 台を有償譲渡
- ◇高規格救急自動車 2 台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）2 台更新

◇消防ポンプ自動車（非常備）3 台更新  
◇はしご付消防ポンプ自動車 1 台更新  
◇水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新  
◇予防広報車 1 台更新  
◇火災 109 件・救急 19,464 件

## 平成 25 年

- ◇消防職員 条例定数 381 名、実員 407 名 消防吏員 17 名採用（4 月採用 9 名、10 月採用 8 名）  
※再任用職員 26 名採用
- ◇4 月 1 日 ベテラン救急救命士で構成する「119 救命サポートチーム」が発足
- ◇消防庁長官表彰 竿頭綬を受賞
- ◇第 28 回「大阪の消防大賞」において、平成 22 年の「救命力世界一」宣言の所管課として、救命力世界一推進に係る一連の功績により、救急救命課が消防大賞を受賞
- ◇7 月 8 日 池田市と「豊中市と池田市における消防指令業務の共同運用に関する確認書」を取り交わす。
- ◇8 月 25 日 大雨により、市内で床上浸水 3 戸、床下浸水 121 戸、道路冠水 34 ヶ所の被害を受ける。
- ◇9 月 3 日 池田市消防本部、能勢町と「消防の広域連携に関する確認書」を取り交わす。
- ◇9 月 21 日 防災救急フェスタ 2013 が野田中央公園で実施され、約 1,500 人が参加した。
- ◇第 57 回大阪府消防操法大会 優勝（ポンプ車操法の部）
- ◇第 1 回大阪府下警防技術指導会 優秀賞を受賞
- ◇三栄源エフ・エフ・アイ株式会社から高規格救急自動車 1 台の寄贈を受ける。
- ◇豊中千里ロータリークラブより CPR&AED パーソナルトレーニングキットの寄贈を受ける。
- ◇高規格救急自動車 2 台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）1 台更新
- ◇消防ポンプ自動車（非常備）1 台更新
- ◇小型動力ポンプ（常備）3 台更新
- ◇小型動力ポンプ（非常備）2 台更新
- ◇火災 117 件・救急 20,175 件

## 平成26年

- ◇消防長 谷口伸夫退任、後任に井ノ本学就任、次長能島穂積退任、次長兼消防総務室長に中川和也就任、次長兼警防課長に竹本太吉就任、次長兼救急救命課長に濱西正吉就任、北消防署長 瀬古博也退任、後任に古山巖就任、南消防署長に下村義和就任。消防団長 関正継退任、後任に田中照浩就任
- ◇消防職員 条例定数 379 名、実員 407 名 消防吏員 35 名採用（4 月採用 7 名、10 月採用 28 名）  
※再任用職員 28 名採用
- ◇4 月 1 日新千里西町に移転改築した北消防署新千里出張所新庁舎の運用開始
- ◇4 月 1 日特別消火隊を発隊。「消火に関する特別な隊」という意味と、迅速な消火というスピード感から「FAST（ファスト：Fire Attack Special Team）」の愛称を付ける。
- ◇第 2 回大阪府下警防技術指導会 優秀賞を受賞
- ◇10 月 3 日 能勢町と「能勢町と豊中市との間における消防事務の委託に関する協議書」を締結
- ◇豊中千里ロータリークラブより乳児 CPR 学習キットミニベビーの寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊に楽器の寄贈を受ける。
- ◇能勢町に化学消防ポンプ自動車 1 台、高規格救急自動車 1 台、小型動力ポンプ付水槽車、小型動力ポンプ 2 台を無償譲渡する。
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）3 台更新
- ◇化学消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◇小型動力ポンプ付水槽車 1 台更新
- ◇予防広報車 1 台更新
- ◇小型動力ポンプ（常備）4 台更新
- ◇小型動力ポンプ（非常備）3 台更新
- ◇火災 110 件・救急 20,839 件

## 平成27年

- ◇次長兼警防課長竹本太吉退任、次長兼救急救命課長濱西正吉退任、次長に古山巖就任、次長兼指令情報課長に堀部純司就任、北消

防署長に下村義和就任、南消防署長に池尾浩就任

- ◇消防職員 条例定数 397 名、実員 430 名 消防吏員 14 名採用（4 月採用 9 名、10 月採用 5 名）  
※再任用職員 34 名採用
- ◇2 月 23 日 池田市と「豊中市・池田市消防指令業務共同運用に係る消防応援協定」を締結
- ◇4 月 1 日 「能勢町と豊中市との間における消防事務の委託に関する協定」を締結し、能勢町の消防業務を開始、豊中市北消防署能勢町分署を開設
- ◇4 月 1 日 豊中市・池田市消防指令業務の運用開始
- ◇4 月 1 日 広域的な業務を開始したことを契機に、消防組織の名称を「豊中市消防局」に変更
- ◇4 月 1 日 池田市、箕面市、豊能町及び能勢町と「大阪府豊能地域広域消防相互応援協定」を締結
- ◇4 月 1 日 京都中部広域消防組合、能勢町及び亀岡市と「京都中部広域消防組合・能勢町・亀岡市・豊中市消防相互応援協定書」を締結
- ◇4 月 1 日 川西市及び能勢町と「豊中市・川西市・能勢町消防相互応援協定」を締結
- ◇4 月 1 日 能勢町及び猪名川町と「能勢町・猪名川町・豊中市消防相互応援協定」を締結
- ◇4 月 1 日 篠山市及び能勢町と「篠山市・能勢町・豊中市消防相互応援協定」を締結
- ◇7 月 4 日 第 30 回「大阪の消防大賞」において、平成 26 年 12 月に吹田市で発生した救急事案において、他のバイスタンダーと連携して応急処置を実施し、傷病者を社会復帰に導いた功績により、北消防署主事 中島慶太消防士長が消防大賞を受賞
- ◇第 44 回消防救助技術近畿地区指導会（7 月 19 日）において、「障害突破」で第 2 位となり、全国大会（8 月 29 日）に出場し入賞した。
- ◇11 月 25 日 第 3 回大阪府下警防技術指導会で最優秀賞を受賞
- ◇豊中千里ロータリークラブより乳児 CPR 学習キットミニベビーの寄贈を受ける。

- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊に楽器の寄贈を受ける。
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）1 台更新
- ◇小型動力ポンプ（台車付）（常備）4 台更新
- ◇火災 94 件・救急 22,094 件

## 平成 28 年

- ◇次長古山巖退任、次長兼指令情報課長堀部純司退任、次長に井上誠就任、次長に下村義和就任、北消防署長に池尾浩就任、南消防署長に野村俊之就任
- ◇消防職員 条例定数 403 名、実員 426 名  
消防吏員 11 名採用（4 月採用 6 名、10 月採用 5 名）  
※再任用職員 26 名採用
- ◇4 月 1 日 消防・救急救命体制の充実強化を図る事業に活用するため、「消防・防災救命基金」を設置し、基金の愛称を「“守る力” 救命力世界一基金」とした。
- ◇緊急消防援助隊として出場  
4 月に熊本県熊本地方で発生した地震は、14 日と 16 日の 2 回震度 7 を記録する前例のない災害になった。本市からは、緊急消防援助隊大阪府隊として、4 月 16 日から、救助隊 2 隊 10 名、救急隊 6 隊 18 名、後方支援隊 2 隊 6 名の計 10 隊、延べ 34 名が出場し、甚大な被害を受けた熊本県阿蘇郡南阿蘇村において、人命検索・救助活動及び救急活動を行った。
- ◇尾西良一氏から軽消防自動車 9 台の寄贈を受ける。
- ◇豊中防火安全協会から「マチカネくん」消防バージョンの着ぐるみ及び自動火災報知設備演習用パネルの寄贈をうける。
- ◇豊中千里ロータリークラブから小児 CPR トレーニング用マネキンの寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊に音楽隊演奏服の寄贈を受ける。
- ◇第 60 回大阪府消防操法訓練大会 2 位（ポンプ車操法の部）
- ◇高規格救急自動車 2 台更新
- ◇原付バイク 3 台更新

- ◇能勢町に軽トラック（小型動力ポンプ積載可能）1 台購入
- ◇火災 92 件・救急 22,673 件

## 平成 29 年

- ◇次長下村義和退任、次長兼消防総務課長に小倉博就任
- ◇消防職員 条例定数 401 名、実員 430 名  
消防吏員 8 名採用（4 月採用 4 名、10 月採用 4 名）※再任用職員 30 名採用
- ◇全国消防音楽隊フェスティバルの開催  
豊中市制 80 周年記念事業の一環として、「安全で安心して暮らしができるまちづくり」の推進と「音楽あふれるまちとよなか」全国に発信することを目的として、「つながる ひろがる とよなか ～響かせよう防火・防災の輪～」をテーマに 3 月 18 日、19 日の 2 日間にわたり開催した。
- ◇国際消防救助隊（IRT-JF）への隊員派遣  
平成 29 年 9 月 20 日 3 時 14 分頃（日本時間）に発生したメキシコ地震災害に対して、日本政府が派遣した国際緊急援助隊・救助チーム（総員 72 名）の一員として、本市は国際消防救助（IRT-JF）に登録している救助隊員 1 名を派遣した。メキシコに派遣された国際消防救助隊は東京消防庁のほか 7 消防本部の救助隊員 17 名で構成され、9 月 21 日（日本時間）に出発し、現地に到着した後、直ちに活動を始め、同月 26 日に活動を終了するまで、首都メキシコシティー中心部の被災地 3 箇所において、検索・救助活動を実施した。
- ◇豊中市社会福祉協議会より高規格救急自動車の寄贈を受ける。
- ◇豊中千里ロータリークラブから乳児 CPR トレーニング用マネキンの寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊にテナーサクソフォン及び P A ミキサー一式の寄贈を受ける
- ◇能勢町の高規格救急自動車 1 台更新
- ◇消防ポンプ自動車（常備）1 台更新
- ◇小型動力ポンプ（台車付）（常備）1 台更新
- ◇原付バイク 3 台更新

◇火災 95 件・救急 23,827 件

### 平成30年

◇次長井上誠退任、次長に池尾浩就任、北消防署長に野村俊之就任、南消防署長に片岡邦恭就任

◇消防職員 条例定数 402 名、実員 426 名  
消防吏員 14 名採用（4 月採用 6 名、10 月採用 8 名）※再任用職員 28 名採用

◇大阪府北部を震源とする地震発生

6 月 18 日午前 7 時 58 分頃、大阪府北部において震度 6 弱、マグニチュード 6.1 という大規模な地震が発生、本市でも震度 5 強を観測し、災害対策本部を設置した。

(市内の被害状況(令和元年 6 月 11 日時点))

- ・負傷者 39 名
- ・全壊 3 件
- ・大規模半壊 1 件
- ・半壊 30 件
- ・一部損壊 2,711 件

◇緊急消防援助隊として出場

「平成 30 年 7 月豪雨」の被災地・広島県に緊急消防援助隊大阪府大隊として、7 月 6 日から 8 月 1 日までの間、本市から、18 隊、延べ 69 名が出場し、救急、救助及び後方支援活動を行った。

◇台風 21 号

9 月 4 日に 25 年ぶりに「非常に強い」勢力で日本に上陸し、近畿地方を中心に甚大な被害を出し、本市でも災害対策本部を設置した。

(市内の被害状況(令和元年 6 月 11 日現在))

- ・死者 1 名
- ・負傷者 13 名
- ・全壊 1 棟
- ・大規模半壊 1 棟
- ・半壊 43 棟
- ・一部破損 3,125 棟

◇豊中千里ロータリークラブから SAM ターニケット（止血帯） - EMS 用の寄贈を受ける。

◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊にクラリネット及びバスドラム一式の寄贈を受ける。

◇高規格救急自動車 1 台更新

◇消防ポンプ自動車（常備）1 台更新

◇火災 74 件・救急件数 24,808 件

### 令和元年

◇消防局長 井ノ本学退任、後任に小倉博就任、次長中川和也退任、次長兼消防指令センター長に池尾浩就任、次長兼消防総務課長に片岡邦恭就任、次長兼警防課長に入佐桂司就任、北消防署長 野村俊之退任、後任に乾文雄就任、南消防署長に中井正平就任、新千里消防署長に常松幸雄就任。

◇消防職員 条例定数 408 名、実員 426 名  
消防吏員 11 名採用（4 月採用 9 名、10 月採用 2 名）※再任用職員 17 名採用

◇2 月 27 日 豊中防火安全協会・福盛康友会長が一日消防局長を実施。

◇4 月 1 日 新千里消防署を設置  
北消防署新千里出張所を新千里消防署とし、北消防署の管轄であった東泉丘出張所と桜井谷出張所を新千里消防署の管轄とした。

◇4 月 1 日 指揮調査隊の発足  
北・南消防署に各 1 隊配置の指揮隊と消防局警防課に配置の調査隊を「指揮調査隊」に一局化した。

◇4 月 1 日 特別消火隊の再編成  
北・南消防署に各 1 隊配置されていた特別消火隊を北消防署本署の 1 隊に再配置した。

◇4 月 1 日 「指令情報課」から「消防指令センター」に名称を変更する。

◇4 月 1 日 特殊災害対策専門班の再編成  
新千里消防署開設に伴い、市内全ての消防出張所で担当していたそれぞれの専門班を 3 管轄署所での担当とした。

◇6 月 28 日・29 日に G20 大阪サミットが大阪市内で開催されたことに伴い、6 月 24 日から 6 月 30 日までの間、本市職員 73 名を合



- む約 450 人の体制で、主に大阪国際空港と高速道路の警備及び予防にあたった。
- ◇第 48 回消防救助技術近畿地区指導会(7 月 20 日)において、「障害突破」で第 2 位となり、全国大会に出場し入賞した。
- ◇第 63 回大阪府消防操法大会 2 位(ポンプ車操法の部)
- ◇豊中防火安全協会から消防署旗等の寄贈を受ける。
- ◇豊中千里ロータリークラブから救急訓練用 AED の寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊にトランペットの寄贈を受ける。
- ◇高規格救急自動車 2 台更新
- ◇消防ポンプ自動車(常備) 1 台更新
- ◇火災 71 件・救急件数 25,025 件

## 令和 2 年

- ◇次長兼消防指令センター長 池尾浩退任、消防指令センター長に田中慎也就任、南消防署長 中井正平退任、後任に山本政明就任。
- ◇消防職員 条例定数 411 名、実員 424 名 消防吏員 7 名採用(4 月採用 6 名、10 月採用 1 名) ※再任用職員 18 名採用
- ◇1 月 29 日 新型コロナウイルス感染症に係る「豊中市危機管理対策本部」設置
- ◇4 月 7 日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言(同年 5 月 21 日まで)
- ◇4 月 7 日 「豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部」設置
- ◇第 49 回全国消防救助技術大会及び第 49 回消防救助技術近畿地区指導会が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴い延期となる。
- ◇12 月 4 日 新型コロナウイルス感染状況により、大阪府「レッドステージ(非常事態)」に移行
- ◇3 月 2 日 株式会社ミズノマリンから水難救助用ボート 2 艇の寄贈を受ける。
- ◇5 月 15 日 豊中防火安全協会から不織布マスク 1 万枚の寄贈を受ける。

- ◇5 月 26 日 豊建商事株式会社から創業 90 周年事業として、応急手当普及啓発車 1 台の寄贈を受ける。
- ◇6 月 26 日 市民から 1 千万円の寄附を受け、高規格救急自動車購入資金に充てる。
- ◇8 月 19 日 大塚製薬株式会社から熱中症予防ステッカーの寄贈を受ける。
- ◇豊中千里ロータリークラブから点滴静注シミュレータの寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊にテナーバストロンボーン及びフルートの寄贈を受ける。
- ◇救助工作車 1 台更新
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇消防ポンプ自動車(常備) 1 台更新
- ◇小型動力ポンプ(台車付)(非常備) 1 台更新
- ◇火災 83 件・救急 22,659 件
- ◇35 年ぶりに火災による死者が 0 人となる。

## 令和 3 年

- ◇北消防署長 乾文雄退任、後任に末次博之就任、南消防署 山本政明退任、後任に三好秀也就任。
- ◇消防職員 条例定数 411 名、実員 424 名 消防職員 7 名採用(4 月採用 4 名、10 月採用 3 名) ※再任用職員 23 名採用
- ◇2 月 1 日 豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会設置
- ◇4 月 1 日 北消防署能勢町分署新庁舎の運用開始
- ◇7 月 3 日 大雨で増水した川の激流から要救助者を救助した功績により北消防署第 2 救助係が第 36 回「大阪の消防大賞」を受賞した。
- ◇第 49 回全国消防技術大会及び第 49 回消防救助技術近畿地区指導会が新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となる。
- ◇1 月 1 日 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染状況により、大阪府「レッドステージ(非常事態)」継続
- ◇7 月 28 日 市民から 4 千万円の寄附を受け、高規格救急自動車購入資金に充てる。

- ◇豊中千里ロータリークラブから CPR トレーニング用マネキン(乳児用、小児用)の寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊にピッコロ及びトロンボーンの寄贈を受ける。
- ◇高規格救急自動車 1 台更新
- ◇小型動力ポンプ(台車付)(非常備)2 台更新
- ◇火災 82 件・救急 22, 509 件

#### 令和 4 年

- ◇北消防署長 末次博之退任、後任に常松幸雄就任、新千里消防署 田中慎也就任。
- ◇消防職員 条例定数 411 名、実員 424 名  
消防職員 6 名採用(4 月採用 5 名、10 月採用 1 名) ※再任用職員 21 名採用
- ◇7 月 28 日 「豊中市消防局新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアル」に基づき、人員計画を発動
- ◇9 月 20 日 上記人員計画の解除
- ◇10 月 27 日 花王グループマーケティング株式会社と連携した感染症予防啓発ステッカーによる広報開始
- ◇3 月 12 日 本市消防音楽隊の発隊 45 周年記念及び春の火災予防運動の一環として、「音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル～豊中市消防音楽隊 45 周年記念演奏会～」を開催する。
- ◇第 50 回全国消防救助技術大会及び第 50 回消防救助技術近畿地区指導会が 3 年ぶりに開催される。
- ◇豊中千里ロータリークラブからショルダータイプ噴霧器の寄贈を受ける。
- ◇豊中中央ライオンズクラブから本市消防音楽隊にグロッケンシュピールの寄贈を受ける。
- ◇高規格救急自動車 3 台更新(内、能勢町 1 台)
- ◇災害対応特殊化学車 1 台更新
- ◇機材搬送車 1 台更新
- ◇小型動力ポンプ(常備) 2 台更新
- ◇小型動力ポンプ積載車(非常備) 1 台更新
- ◇火災 80 件・救急 27, 493 件

## 消 防 年 報

令和 4 年（2022 年）版  
令和 5 年（2023 年）7 月

編集・作成 豊中市消防局 消防総務課  
TEL 06-6846-8475 FAX 06-6843-0119

[shosoumu@city.toyonaka.osaka.jp](mailto:shosoumu@city.toyonaka.osaka.jp)